学修の手引き

第 1 学 年
（ Segment 1 ）

令和 7（2025）年度

東京女子医科大学
医 学 部

目　　次

東京女子医科大学設立の精神 …… 1
東京女醫學校設立主意 …… 2
序　言 …… 3
東京女子医科大学の目的 …… 4
東京女子医科大学医学部における４つのポリシー …… 5
MD プログラム 2011 改訂版について …… 9
　学部教育を通じて達成する医師としての実践力 …… 10
　医の実践力_アウトカム・ロードマップ …… 12
　慈しむ心の姿勢_アウトカム・ロードマップ …… 15
　カリキュラムツリー …… 17
　カリキュラムの構造・週間の授業予定 …… 18

セグメント１
Ⅰ　学修内容 …… 20

Ⅱ　到達目標
　A. 包括的到達目標 …… 21
　B. 科目別シラバス
　・基幹科目
　　「人体の成り立ち」 …… 23
　　「細胞の成り立ち」 …… 38
　　「人体を構成する物質」 …… 55
　　「体液と生体の恒常性」 …… 74
　　「細胞の基本機能」 …… 85
　・選択必修科目 …… 98
　　「ベーシック物理」 …… 99
　　「ベーシック化学」 …… 107
　　「ベーシック生物」 …… 115
　・縦断教育科目
　　「AI・データサイエンスと医療」 …… 124
　　「国際コミュニケーション」 …… 133
　　「基本的・医学的表現技術」 …… 192
　　「『至誠と愛』の実践学修」 …… 202

Ⅲ　試験科目表・試験日程表……242

Ⅳ　テュートリアル・ＴＢＬ学修
　１　テュートリアル・ＴＢＬについて……244
　２　テュートリアル・ＴＢＬ課題一覧表……247
　３　テューター一覧……248
　４　リソースパースン一覧表……249

Ⅴ　Ｓ１教育委員会・学生アドバイザー・学生委員……251

Ⅵ　選択科目……253

Ⅶ　講義・実習時間割表……256

東京女子医科大学設立の精神

Ⅰ．　建学の精神

東京女子医科大学は、1900 年（明治 33 年）に創立された東京女醫學校を母体として設立された。東京女子医科大学の創立者である吉岡彌生は、1952 年（昭和 27 年）新制大学設立に際し、東京女醫學校創立の主意をもって建学の精神とした。その主旨は、高い知識・技能と病者を癒す心を持った医師の育成を通じて、精神的・経済的に自立し社会に貢献する女性を輩出することであった。新制大学設立時の学則には「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する。」と記されている。

建学の精神に基づく医療人育成の場として、1998 年（平成 10 年）度より新たに看護学部が新設された。医療を行うものが学ぶ学府として、現在の東京女子医科大学の使命は、最良の医療を実践する知識・技能を修め高い人格を陶冶した医療人および医学・看護学研究者を育成する教育を行うことである。大学建学の精神に基づき、大学教育では社会に貢献する女性の医療人を育成する。

Ⅱ．　大学の理念

東京女子医科大学の使命を達成するための教育・研究・診療の基盤となる理念は、「至誠と愛」である。至誠は、「常住不断私が患者に接するときの根本的な心構えを短い二つの文字のなかに言い現したもの（吉岡彌生傳）」という創立者吉岡彌生の座右の銘であり、「きわめて誠実であること」「慈しむ心（愛）」は教育・研究・診療の総ての場において求められる。大学およびそこに学び働くものは本学の理念である「至誠と愛」に従って活動しなくてはならない。

東京女醫學校

○設立主意

世界ノ文化ハ日一日ト其歩ヲ進メ我日本モ泰西ノ制度文物輸入以來女子ノ教育ハ長足ノ進歩ヲ成シ今ヤ普通教育ニ至リテハ殆ンド間然スル所ナシ豈吾人女子ノ至幸之レニ比スルモノアランヤ蓋シ一歩ヲ進メテ益々其必要ヲ感ズルハ女子ノ專門學ニアリ由來女子ノ專門學ナルモノハ歐米ニ於テハ業ニ既ニ數十年以前ヨリ實施サレ其職ヲ或ハ政治界ニ或ハ新聞記者ニ或ハ醫業ニ或ハ教育界ニ或ハ銀行會社ニ奉ジツ、其資格毫モ男子ト軒輊スル處ナシ我邦モ條約實施以來對等ノ地位ヲ以テ列國ト交際スルニ至リタレバ女子ノ品位モ彼我又對等ナラザルヲ得ズ此際ニ當リテ社會ノ人心皆茲ニ意ヲ注クト雖モ其意ヲ滿タスノ設備不完全ナルヲ如何セン思フニ女子ノ專門學校トシテハ女子師範學校、音楽學校、美術學校等ノ設ケアリテ各自其志望ヲ達セシムルト雖モ獨リ女醫學校ニ至リテハ未タ日本全國否日本ノ首府タル東京ニ於テ其設立アルヲ見ズ聞説ク將ニ設立セラレントスル女子大學ニ於テモ文學科家政科等アル而已ト余ノ考フル處ニ依レバ女子ノ本性ニ最モ適シ且ツ女子ノ品位ヲ高尚ナラシムル業務ハ醫學ヲ以テ唯一ノ專門學トス随テ斯學ニ志スノ女子又少シト云フ可ラス然ルニ是等ノ姉妹ニ其志ヲ遂ゲシムル學校ナキハ我邦學校設備ノ缺點ニシテ幾多ノ高尚ナル思想アル姉妹ヲシテ岐路ニ迷ハシム是千歳ノ恨事ニアラズヤ已レ女醫ノ業ニ従事スル茲ニ九年塾ラ々々女醫教育ノ不完全ト女子ノ醫學研究ノ困難トヲ見滿腔ノ同情ハ傍觀座視スルニ忍ビス浅學不才ヲ顧ミズ決然起テ女醫學校ヲ設立スル所以ナリ

明治三十三年十一月　　東京女醫學校主　鷲山彌生　識

序　　言

学　長

東京女子医科大学は、社会的に自立する女性医療者の育成を建学の精神として、「至誠と愛」を理念に創立され、100 年以上に渡り医学生を育ててきた。良い医師を育てるために、質の高い教育を行い、優れた医療を提供し、医学に係わる高い水準の研究を推進してきた。本学は医学生が学ぶために最良の環境と教育プログラムを用意している。学生にはこの環境とプログラムを最も有効に活用して学んでもらいたい。

本学の最新の教育プログラムは 2017 年度に改訂された MD プログラム 2011（2011 年度 1 年生より導入）であるが、その原形は 1990 年に日本で初めてのテュートリアル教育、インタビュー教育（その後、『ヒューマンリレーションズ』、『人間関係教育』、そして 2018 年度には『「至誠と愛」の実践学修』に発展）、そして関連領域全体を理解して学ぶ統合カリキュラムである。

MD プログラム 2011 では、学生が学ぶ目標、すなわち自分が卒業するときに達成すべき知識・技能・態度の専門的実践力をアウトカム、アウトカムに到る途中の目標をロードマップで示した教育プログラムが導入された。2017 年度の改訂では、医師としての実践力の基本を学部卒業時に達成するための臨床教育の改善が行われた。2018 年度には、医師の態度、振る舞い、倫理、コミュニケーション力、女性医師キャリアなどを、創立者が臨床で常に実践した信念である「至誠と愛」の理念のもと、現代の医療を実践するカリキュラムとして、従来の『人間関係教育カリキュラム』を改訂し『「至誠と愛」の実践学修』と改称した。本学の教育は、至誠と愛を実践する良い医師となるための教育であるが、学生は本学で学ぶその意義を認識し、本学の卒業生としてこの理念を継承する自覚を持って学修してもらいたい。

どのように学修するかが示されているのが、この「学修の手引き」である。学生、教員がともに学修の目標、方法、内容、評価を共通に理解することが、良い教育が行われる一つの条件である。この手引きが有効に活用されることを望む。

東京女子医科大学の目的

本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、女子に医学の理論と実際を教授し、創造的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献する医人を育成するとともに、深く学術を研究し、広く文化の発展に寄与することを目的とする。『学則第１条』

医学部の教育目標

将来医師が活躍しうる様々な分野で必要な基本的知識、技能および態度を身に体し、生涯にわたって学修しうる基礎を固める。

すなわち、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する態度を開発する。さらに、医学・医療・健康に関する諸問題に取り組むにあたっては、自然科学にとどまらず、心理的、社会的、論理的問題等も含め、包括的にかつ創造的に論理を展開でき、様々な人々と対応できる全人的医人としての素養を涵養する。

東京女子医科大学医学部における
人材の養成に関する目的・その他の教育上の目的

(趣旨)

第１条　本内規は、東京女子医科大学学則第１条第２項及び東京女子医科大学院学則第１条に基づき、人材の養成に関する目的、その他の教育研究上の目的に関して必要な事項を定める。

(医学部の目的)

第２条　医学部における人材の養成に関する目的は次のとおりとする。

(1)「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者を育成すること。

(2)　社会を先導する医療人、そして多様なキャリア形成とライフサイクルの中で、自分を磨き続けることのできる女性医師あるいは女性研究者を育成すること。

2　医学部におけるその他教育研究上の目的は次のとおりとする。

(1)　将来医師として自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得し、生涯にわたって学習を継続しうる基礎的能力を獲得すること。

(2)　患者一人ひとりに向き合い、それぞれの悩みを解決でき、かつ医療を実践する過程で、様々な人々と協働できる素地を獲得すること。

東京女子医科大学医学部における4つのポリシー

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

卒業時には定められた授業科目を修了し、学修成果（アウトカム）に示す「医の実践力」と「慈しむ心の姿勢」を修得して以下の能力を備えることが求められます。

1. 医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。
2. 自ら問題を発見し解決する能力を持つ。
3. 医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学的および臨床的思考力を持つ。
4. 安全な医療を行える能力を有する。
5. 生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。

要件を満たした者には卒業を認め、学士（医学）を授与します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

卒業時に達成すべき医師として必要な基本知識、技能および態度を「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」として示した学修成果（アウトカム）を達成し、建学の精神に沿って自立して社会に貢献する医療者となる基礎を体得し、大学の理念である「至誠と愛」を生涯に亘り実践するカリキュラムが構築されています。アウトカムを達成するための段階的な目標はロードマップとして示され、様々なカリキュラム、学修法によりロードマップとアウトカムを達成します。

「医の実践力」の学修は、1 年次から 6 年次まで関連した専門領域が統合（水平的統合）されたセグメントとして 10 に区分されたカリキュラム、および縦断的カリキュラムとして「情報処理・統計」、「国際コミュニケーション」および「基本的・医学的表現技術」を 6 学年通して統合（垂直的統合）し学修します。「医の実践力」に含まれる、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する力を、テュートリアル、チーム基盤型学修、研究プロジェクト等の能動学修プログラムおよび各セグメントにおける実習を通じて学びます。

「慈しむ心の姿勢」の学修は、専門職としての使命感、倫理感、態度、女性医師としての特徴、キャリア、リーダーシップとパートナーシップ、コミュニケーション、医療安全、チーム医療等を体得する「『至誠と愛』の実践学修」が水平的ならびに垂直的に統合され 6 年間を通して学びます。一部は、セグメント科目やテュートリアルでも学びます。

医師となる訓練として、1 年次から段階的に患者さんと接する実践の場やシミュレーション

等で学ぶ機会が設けられ、4 年次修了までに「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」の学修を含め、医師としての基本的知識、技能、態度の修得が求められ、さらに 5 年次から 6 年次では指導者の下で診療に参画して学修する診療参加型臨床実習を行い、卒業までに医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動できるように学修します。

医師としての素養、国際的医療実践、組織・社会の先導力を涵養するために、選択科目、国外での臨床実習、リーダーシップ学修の機会が提供され、学生が自分の個性を伸ばすため、医療者の新しい役割を認識するために活用できます。

セグメント、縦断的カリキュラム、テュートリアル、チーム基盤型学修、「『至誠と愛』の実践学修」の学修成果は、それぞれの学修目標に照らして、筆記試験、レポート、技能試験、態度・姿勢の観察評価により総合的に評価され、学年毎に定められた科目・単位の修了により、次学年に進級します。また、各科目の評価を GPA (Grade Point Average)として評価し進級の要件とします。さらに、共用試験として行われる 4 年次の CBT (Computer Based Testing)、OSCE (Objective Structured Clinical Examination)、P-SAT(Problem-solving Ability Test)、ならびに 6 年次の Post-CC (Clinical Clerkship) OSCE は、進級の要件となります。進級の認定が得られなかった場合は、翌年に限り同一学年の全必修科目を再履修し、再度評価を受けます。

アウトカム・ロードマップの評価は、それぞれの科目試験、「『至誠と愛』の実践学修」評価、テュートリアル・チーム基盤型学修および実習の評価、臨床実習のポートフォリオ評価等から、関係する評価を統合して学修成果（アウトカム）に沿って評価を行います。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得して自立し、「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者となるために、学修者自身が問題意識をもち、自らの力で知識と技能を発展させていく教育を行います。

医師を生涯続ける意志を持ち、幅広い視野を身につけ、自ら能力を高め、問題を解決していこうとする意欲に燃えた向学者で、以下のような人材を求めます。

医学部が求める入学者像

1. きわめて誠実で慈しむ心を持つ人
2. 礼節をわきまえ、情操豊かな人
3. 独立心に富み、自ら医師となる堅い決意を持つ人
4. 医師として活動するために適した能力を有する人

本学で学修しようとする者には、本学の建学の精神と大学の理念を理解して学ぶことを求めます。その上で、本学のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に沿って学修して、学修成果（アウトカム）を達成し、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を満たし、生涯に亘り医師として、女性医療者として自立して多方面で活躍する人材を、多様な方法により選抜します。

一般選抜においては、高等学校等における学修成果の評価を筆記試験で、また医師となる適性、使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして「至誠と愛」の理念の下に本学で学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小論文、適性試験により評価します。

学校推薦型選抜（一般推薦）では、高等学校等における知識・技能・態度の学修成果や医師となる適性を高等学校の推薦書等に基づき評価し、さらに医師としての使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして問題を発見し、学修し、解決する自ら学ぶ力、「至誠と愛」の理念とカリキュラム・ポリシーを理解して学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小グループ討論、小論文、思考力試験により評価します。

学校推薦型選抜（「卒業生子女」推薦）では、本学の建学の精神、大学の理念を継承し、生涯医療者として社会に貢献する意志をもつ優秀な者を受け入れるため、3 親等以内の親族に本学医学部の卒業生（前身の東京女子医学専門学校も含む）がおり、併せて高等学校等の推薦を受けた者を対象として、面接、小グループ討論、受験生の建学の精神についての理解を問う小論文、思考力試験により評価します。

入学までに期待する学修項目は、社会、医療を先導する女性医療者となる確固たる意思の醸成、専門職に求められる自らの学修を振り返りながら新たな課題を発見し問題解決する学び方、考え方の学修、ひと、特に病めるひとに相対する医療者が持つべき態度、心配り、倫理観を学ぶ基盤となる、人と交わる力の醸成です。

アセスメントポリシー

入学時にはアドミッション・ポリシーを満たす人材か、在学中はカリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているか、卒業時はディプロマ・ポリシーを満たす人材となったかを以下の基準で評価します。

	入学時	在学中	卒業時
大学 （機関レベル）	入学者選抜 入学時調査	休学率・退学率・学生調査・課外活動状況	学士授与(卒業)率・国家試験合格率・大学院進学率・就職率・学生調査・アンケート調査
医学部 （課程レベル）	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率 退学率・試験結果 GPA・ポートフォリオ・共用試験 CBT・共用試験 OSCE・Mini-CEX・実習評価・学生調査・課外活動状況	卒業試験・Post CC-OSCE・学士授与（卒業）率・国家試験合格率・ストレート卒業率・大学院進学率・就職率・アンケート調査
学部科目レベル	入学者選抜	単位認定・定期試験・レポート評価・実習評価・小テスト	

		出席率・至誠と愛の体得度・ポートフォリオ・授業評価アンケート	
大学院医学研究科（課程レベル）	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率・退学率・単位認定・レポート評価・研究計画書・研究指導状況報告書・中間発表会評価	学位授与率・修了率・学位論文の IF・就職率・学生調査・アンケート調査
大学院科目レベル	入学者選抜	単位認定・レポート評価・研究計画書・研究指導状況報告書・中間発表会評価	

学部学生では、科目等では合格基準として詳細は学修の手引きに示し、進級については、及落判定基準として学生便覧に示します。大学院生に関しては大学院便覧に示します。継続的に形成的評価を行い、学生への指導に使用します。また、その結果の学修成果（達成度）を評価するために、決まった時期と数の総括的評価を実施します。これらの評価は、統合教育学修センターでの解析等によって評価そのものの事後評価を行い、信頼性と妥当性を最大化します。

MD プログラム 2011 改訂版について

東京女子医科大学医学部で医学を学ぶことは、大学の理念を受け継ぎ、社会に貢献する力を持った医師を目指して学修することである。医学部は 110 年を超える歴史の中で女性医師を育てるための教育に力を入れてきたが、平成 29 年度新入生から新たなカリキュラムを導入した。新カリキュラムは、それまでのカリキュラム MD プログラム 2011 の良い点を踏襲しつつ、現代社会のニーズあるいは日本と世界で求められる、医師像を「至誠と愛」の理念のもとに達成することを目指す。

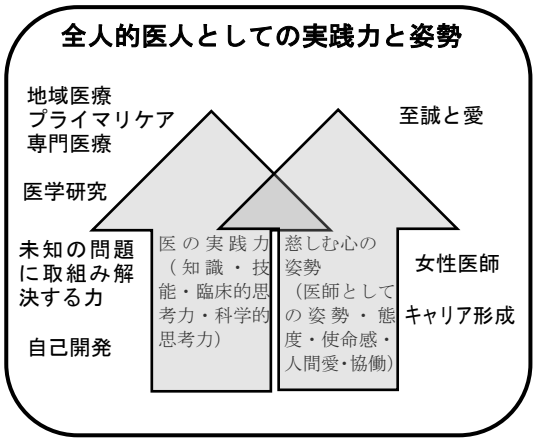
MD プログラム 2011 改訂版は 4 個の包括的目標を持つ。

1) 卒業時に基本的知識を持ち、医師として考え行動し、振る舞うことができる実践力を持つこと。
2) 学生が自分の目標を知り、自ら実践力を高められる教育となること。
3) 科学的思考力と臨床的思考力を持つこと。
4) 女性医師としての特徴をもち、基本的診療能力を備え、地域や国際を含めた現代の医療および医療ニーズに即した実践力を獲得すること。

MD プログラム 2011 改訂版は、以下の特徴を持つ。

1) 知識だけでなく技能と態度を備えた実践力の最終目標をアウトカム、途中の目標をロードマップとして具体的に示し、学生が入学時から最終目標に向けてどのように自己開発をしたらよいかを明示し、またその達成度を評価する事により学生が長い学修期間の中で目標と動機を失わないようにする。
2) 臨床的能力を高めるため、高学年の臨床実習開始前に臨床的思考力、技能、態度の学修を充実させ、実践的臨床実習を行う。
3) 基礎と臨床、知識と技能を統合して学ぶ統合カリキュラムを前カリキュラムから引き継ぎ、自ら問題を見つけ、科学的・医学的に且つ人間性を持ち、問題解決のための思考力を講義・実習・テュートリアル・ＴＢＬ教育を通じて学ぶ。
4) 医師としての人間性・倫理・使命感・態度を育成する「至誠と愛」の実践学修を行う。
5) 医の実践力の一部となる基本的・医学的表現技術、情報処理・統計、国際コミュニケーションを 4 ないし 6 年間継続して積み上げる縦断教育を行う。
6) 医療を支える科学に自ら触れる機会を通じて、研究の面白さを知るとともに医師が持つべき研究的視点を学ぶ。
7) 女性の特性を意識した医療者となるための学修を行う。

学部教育を通じて達成する医師としての実践力



医学部の学修を通じて修得する実践力は、**医の実践力と慈しむ心の姿勢**に分かれる。医の実践力は主として知識・技術とその応用に関する 6 個の中項目、慈しむ心の姿勢は医人としての態度・情報と意志を疎通する能力・使命感・倫理感・専門職意識などに関する 5 個の中項目に分かれ、それぞれに数個のアウトカムが定められている。アウトカムは卒業時までに達成すべき目標の包括的目標であるが、低学年（1/2 年）、中学年（3/4 年）、高学年（5/6 年）で達成すべき具体的目標をロードマップとして表してある。

アウトカム・ロードマップは各教科の目標ではなく、学修の積み重ねにより修得すべき実際に自分でできる力、実践力、を示したものである。学生は、最終目標を見据えて学修段階に応じた目標を持ち、教員はそれぞれ担当する教育の中で、全体像のどの段階を学生が学ぶべきかを理解して教育にあたるために全体が示されている。学生の評価も、科目として受ける試験などによる評価と共に、様々な評価情報を組み合わせたロードマップ評価を行い、学生の到達度を認識できるようになる。

以下にアウトカムを示す。

Ⅰ　医の実践力

1.　知識と技能を正しく使う力

A.　医学的知識を医療に活用できる。

B.　診断・治療・予防を実践できる。

C.　基本的技能を実践できる。

2.　問題を見つけ追求する力

A.　解決すべき問題を発見できる。

B.　問題を深く追求できる。

C.　未知の問題に取り組むことができる。

3.　問題解決に向け考え実行する力

A.　適切な情報を集め有効に活用できる。

B.　解決方法を選び実行できる。

C.　結果を評価できる。

4.　情報を伝える力

A.　患者に情報を伝えることができる。

B.　医療情報を記録できる。

C.　医療者と情報交換ができる。

5. 根拠に基づいた判断を行う力

A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。

B. 根拠に基づいて診療を行える。

6. 法と倫理に基づいて医療を行う力

A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。

B. 医療倫理を理解し実践できる。

C. 研究倫理を理解し実践できる。

D. 社会の制度に沿った診療を行える。

Ⅱ 慈しむ心の姿勢

1. 患者を理解し支持する姿勢

A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。

B. 家族・患者周囲に配慮できる。

C. 社会の患者支援機構を活用できる。

2. 生涯を通じて研鑽する姿勢

A. 目標を設定し達成するために行動できる。

B. 社会のニーズに応えて研鑽できる。

C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。

D. 自分の特性を活かした医療を行うために研鑽する。

E. 専門職として目標を持つ

3. 社会に奉仕する姿勢

A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。

B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。

4. 先導と協働する姿勢

A. 自分の判断を説明できる。

B. グループを先導できる。

C. 医療チームのなかで協働できる。

5. ひとの人生へ貢献する姿勢

A. 患者に希望を与えられる。

B. 後輩を育てることができる。

次にそれぞれのアウトカムを達成するためのロードマップ（中間目標）を示す。

Ⅰ 医の実践力―アウトカム/ロードマップ

	1. 知識と技能を正しく使う力			2. 問題を見つけ追求する力		
アウトカム	A. 医学的知識を医療に活用できる。	B. 診断・治療・予防を実践できる。	C. 基本的技能を実践できる。	A. 解決すべき問題を発見できる。	B. 問題を深く追求できる。	C. 未知の問題に取り組むことができる。
1、2年 ロードマップ	① 人体の正常な構造と機能を説明できる。Ⅰ-1-A-(1-2)-① ② 人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。Ⅰ-1-A-(1-2)-② ③ 受精から出生の正常と異常を説明できる。Ⅰ-1-A-(1-2)-③ ④ 世界の保険・医療問題、国際保健に関わる組織・計画・リソースについて概説できる。Ⅰ-1-A-(1-2)-④	① データを読み解釈できる。Ⅰ-1-B-(1-2)-①	① 実習に必要な技術を実践できる。Ⅰ-1-C-(1-2)-① ② 安全に配慮して実習・研修を行える。Ⅰ-1-C-(1-2)-②	① 現象・事例から学ぶべきことを発見できる。Ⅰ-2-A-(1-2)-①	① 仮説を導くことができる。Ⅰ-2-B-(1-2)-① ② 事象、現象、観察などからその原因について考えられる。Ⅰ-2-B-(1-2)-②	① 既知と未知の問題を明らかにできる。Ⅰ-2-C-(1-2)-① ② 医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる。Ⅰ-2-C-(1-2)-②
3、4年 ロードマップ	① 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-① ② 全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-② ③ 受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-③ ④ 疾患、症候の病態を説明できる。Ⅰ-1-A-(3-4)-④	① 診断の過程を説明し実践できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-① ② 適切な治療法とその根拠を説明できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-② ③ 疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。Ⅰ-1-B-(3-4)-③	① 基本的医療技能を示すことができる。Ⅰ-1-C-(3-4)-① ② 医療安全に必要な配慮を示すことができる。Ⅰ-1-C-(3-4)-②	① 問題の優先度および重要度を判断できる。Ⅰ-2-A-(3-4)-① ② 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。Ⅰ-2-A-(3-4)-②	① 問題の科学的重要性を評価できる。Ⅰ-2-B-(3-4)-① ② 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。Ⅰ-2-B-(3-4)-②	① 事例から自分の知らないことを発見できる。Ⅰ-2-C-(3-4)-① ② 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。Ⅰ-2-C-(3-4)-②
5、6年 ロードマップ	① 患者の抱える異常とその病態を説明できる。Ⅰ-1-A-(5-6)-①	① 臨床推論を実践できる。Ⅰ-1-B-(5-6)-① ② 患者にあわせた診断・治療の判断ができる。Ⅰ-1-B-(5-6)-② ③ 患者に合わせた診療計画・経過観察計画を立てられる。Ⅰ-1-B-(5-6)-③	① 基本的医療技能を実践できる。Ⅰ-1-C-(5-6)-① ② 安全に配慮して、医療を実践できる。Ⅰ-1-C-(5-6)-②	① 患者・家族が抱える心理的・社会的問題・不安を明らかにできる。Ⅰ-2-A-(5-6)-① ② 患者の診療上の問題を明らかにできる。Ⅰ-2-A-(5-6)-②	① 患者の病態の原因を検索できる。Ⅰ-2-B-(5-6)-① ② 患者の苦痛の原因を人体の構造と機能、および「こころ」から説明できる。Ⅰ-2-B-(5-6)-②	① 患者から新しいことを学べる。Ⅰ-2-C-(5-6)-① ② 患者から自分の知らないことを発見できる。Ⅰ-2-C-(5-6)-② ③ 自分の能力では解決できない問題を判断できる。Ⅰ-2-C-(5-6)-③

	3.　根拠に基づいた判断を行う力			4.　情報を伝える力		
アウトカム	A. 適切な情報を集め有効に活用できる。	B. 解決方法を選び実行できる。	C. 結果を評価できる。	A. 患者に情報を伝えることができる。	B. 医療情報を記録できる。	C. 医療者と情報交換ができる。
1、2 年 ロードマップ	① 問題解決のための情報収集ができる。 Ⅰ-3-A-(1-2)-① ② 仮説を証明する手順を説明できる。 Ⅰ-3-A-(1-2)-②	① 情報に即して適切な解決方法を導くことができる。Ⅰ-3-B-(1-2)-① ② 複数の問題解決法を考えることができる。 Ⅰ-3-B-(1-2)-②	① 問題解決結果の妥当性を評価できる。Ⅰ-3-C-(1-2)-① ② 結果に予想される誤差を考えられる。Ⅰ-3-C-(1-2)-②	① 自分の考えを他者に伝えることができる。 Ⅰ-4-A-(1-2)-①	① 結論とその根拠が明確な文書を作成できる。 Ⅰ-4-B-(1-2)-① ② 研究・実習の報告書が作成できる。Ⅰ-4-B-(1-2)-② ③ 文書の要約を作成できる。 Ⅰ-4-B-(1-2)-③	① 簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。Ⅰ-4-C-(1-2)-① ② 相手の理解に合わせて、説明できる。Ⅰ-4-C-(1-2)-② ③ 自己学習の結果を適切に伝えられる。Ⅰ-4-C-(1-2)-③
3、4 年 ロードマップ	① 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 Ⅰ-3-A-(3-4)-① ② 適切な診療ガイドラインを選択できる。 Ⅰ-3-A-(3-4)-②	① 病態を明らかにする方法を挙げることができる。 Ⅰ-3-B-(3-4)-① ② 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 Ⅰ-3-B-(3-4)-②	① 適切な問題解決を行ったか検証できる。 Ⅰ-3-C-(3-4)-① ② 結果の客観的評価ができる。Ⅰ-3-C-(3-4)-② ③ 結果の解釈の限界を明らかにできる。 Ⅰ-3-C-(3-4)-③	① 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 Ⅰ-4-A-(3-4)-① ② 患者に分かる言葉を選択できる。Ⅰ-4-A-(3-4)-②	① 研究・実習・症例などの要約が作成できる。Ⅰ-4-B-(3-4)-① ② POMR に基づく診療情報記録方法を説明できる。 Ⅰ-4-B-(3-4)-②	① 研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。Ⅰ-4-C-(3-4)-① ② 医療チームでの情報共有について説明できる。Ⅰ-4-C-(3-4)-②
5、6 年 ロードマップ	① 適切な診療ガイドラインを選択できる。 Ⅰ-3-A-(5-6)-① ② 診療上の問題解決のために分析すべきことを明らかにできる。Ⅰ-3-A-(5-6)-② ③ 診療上の問題解決のための情報検索ができる。 Ⅰ-3-A-(5-6)-③ ④ 異なる問題解決の方法を提示し、比較できる。 Ⅰ-3-A-(5-6)-④	① 診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。Ⅰ-3-B-(5-6)-① ② 情報を活用し適切な解決方法を判断できる。 Ⅰ-3-B-(5-6)-②	① 診療で得られた情報の信頼性を評価できる。 Ⅰ-3-C-(5-6)-① ② 診療過程で予測される問題点を示せる。 Ⅰ-3-C-(5-6)-② ③ 予想と異なる結果について原因を考察できる。 Ⅰ-3-C-(5-6)-③	① 病状を患者が理解できるように伝えられる。 Ⅰ-4-A-(5-6)-① ② 診療に関する情報を患者が理解できるように伝えられる。 Ⅰ-4-A-(5-6)-②	① 診療録を適切に記載できる。 Ⅰ-4-B-(5-6)-① ② 処方箋を適切に発行できる。 Ⅰ-4-B-(5-6)-② ③ 症例要約を作成できる。 Ⅰ-4-B-(5-6)-③ ④ 死亡診断書記入法を説明できる。Ⅰ-4-B-(5-6)-④	① 口頭で症例提示ができる。 Ⅰ-4-C-(5-6)-① ② 患者の問題点を指導医に報告できる。Ⅰ-4-C-(5-6)-② ③ 必要な患者情報を要約して説明できる。Ⅰ-4-C-(5-6)-③ ④ 専門の異なる医療者に対して適切な情報交換を行える。 Ⅰ-4-C-(5-6)-④

	5.　根拠に基づいた判断を行う力		6.　法と倫理に基づいて医療を行う力			
アウトカム	**A. 臨床･基礎医学の根拠を発見できる。**	**B. 根拠に基づいて診療を行える。**	**A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。**	**B. 医療倫理を理解し実践できる。**	**C. 研究倫理を理解し実践できる。**	**D. 社会の制度に沿った診療を行える。**
1､2 年 ロードマップ	①　現象の原因・機序を検索できる。Ⅰ-5-A-(1-2)-① ②　実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。Ⅰ-5-A-(1-2)-② ③　情報の信頼度を評価できる。Ⅰ-5-A-(1-2)-③	①　根拠に基づいて解決法を判断できる。Ⅰ-5-B-(1-2)-① ②　問題解決の適切性を評価できる。Ⅰ-5-B-(1-2)-②	①　社会的規範を守った生活ができる。Ⅰ-6-A-(1-2)-① ②　学則を守った学生生活ができる。Ⅰ-6-A-(1-2)-②	①　個人情報保護について説明できる。Ⅰ-6-B-(1-2)-① ②　倫理の概念について説明することができる。Ⅰ-6-B-(1-2)-②	①　研究倫理の概念について述べることができる。Ⅰ-6-C-(1-2)-① ②　研究倫理に配慮して実験・実習の結果報告書を作成できる。Ⅰ-6-C-(1-2)-②	
3､4 年 ロードマップ	①　データ・結果の根拠を批判的に説明できる。Ⅰ-5-A-(3-4)-① ②　結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。Ⅰ-5-A-(3-4)-② ③　根拠となる文献を検索できる。Ⅰ-5-A-(3-4)-③	①　診療上のエビデンスを選ぶことができる。Ⅰ-5-B-(3-4)-①	①　医学生の医行為水準を説明できる。Ⅰ-6-A-(3-4)-① ②　医師法･医療法の概要を説明できる。Ⅰ-6-A-(3-4)-②	①　医学における倫理の概念を説明できる。Ⅰ-6-B-(3-4)-① ②　倫理的問題を明らかにできる。Ⅰ-6-B-(3-4)-② ③　患者情報が含まれる文書･電子媒体を適切に使用できる。Ⅰ-6-B-(3-4)-③	①　基礎研究における倫理指針を概説できる。Ⅰ-6-C-(3-4)-① ②　利益相反(Conflict of interest)について説明できる。Ⅰ-6-C-(3-4)-②	①　社会保障を概説できる。Ⅰ-6-D-(3-4)-① ②　医療に関する保証制度を概説できる。Ⅰ-6-D-(3-4)-②
5､6 年 ロードマップ	①　基礎的・臨床的観察を通じて新たな発見ができる。Ⅰ-5-A-(5-6)-① ②　問題点に関わる臨床医学文献を検索できる。Ⅰ-5-A-(5-6)-② ③　検索した医学的情報の確かさを評価できる。Ⅰ-5-A-(5-6)-③	①　患者に合わせた診療上のエビデンスを選ぶことができる。Ⅰ-5-B-(5-6)-①	①　病院の規則に従って診療に関われる。Ⅰ-6-A-(5-6)-①	①　患者情報の守秘を励行して医療を行える。Ⅰ-6-B-(5-6)-① ②　臨床倫理を実践できる。Ⅰ-6-B-(5-6)-② ③　立場の違いによる倫理観の違いを理解しながら倫理判断ができる。Ⅰ-6-B-(5-6)-③	①　臨床研究の倫理指針を概説できる。Ⅰ-6-C-(5-6)-①	①　患者に合わせて医療保険､医療補助制度を説明できる。Ⅰ-6-D-(5-6)-①

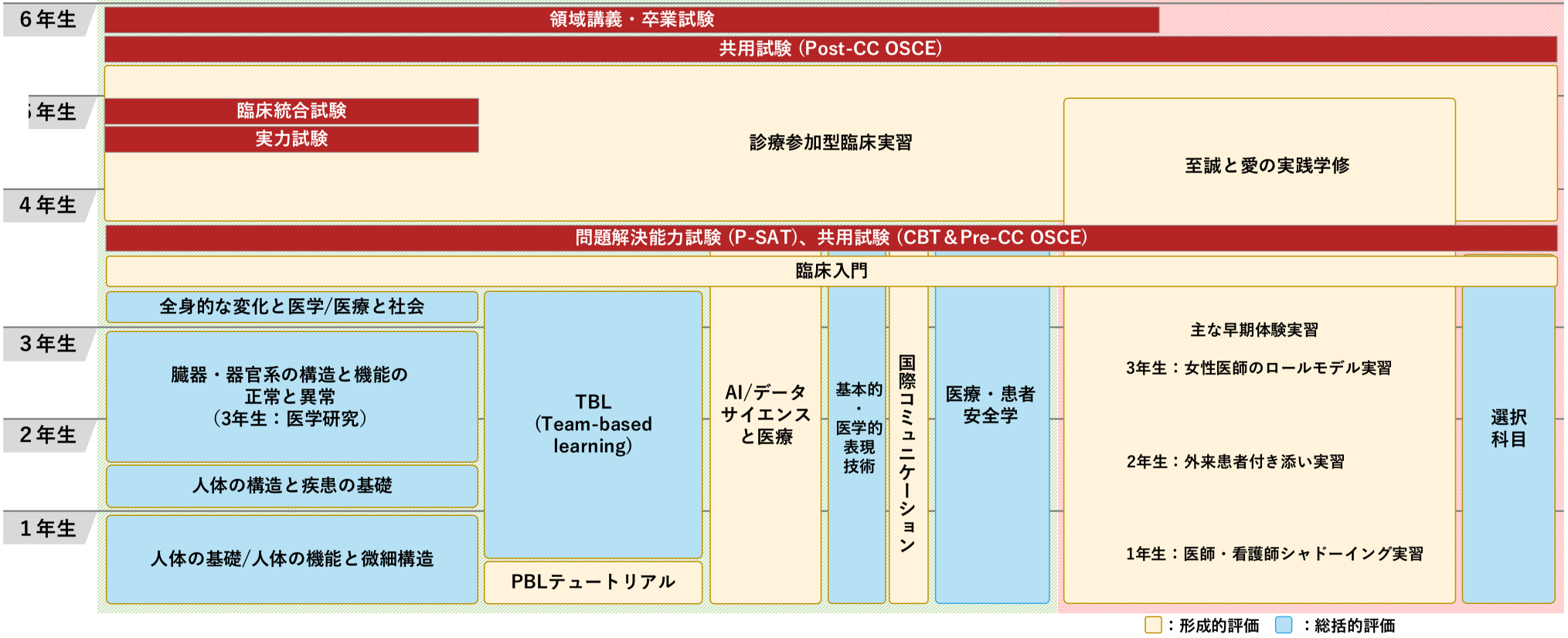
Ⅱ 慈しむ心の姿勢―アウトカム/ロードマップ

	1. 患者を理解し支持する姿勢			2. 生涯を通じて研鑽する姿勢				
アウトカム	**A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。**	**B. 家族・患者周囲に配慮できる。**	**C. 社会の患者支援機構を活用できる。**	**A. 目標を設定し達成するために行動できる。**	**B. 社会のニーズに応えて研鑽できる。**	**C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。**	**D. 自分の特性を生かした医療を行うために研鑽する。**	**E. 専門職として目標を持つ。**
1、2 年 ロードマップ	① 他者の意志を聞き出すことができる。 Ⅱ-1-A-(1-2)-① ② 他者を尊重して対話ができる。 Ⅱ-1-A-(1-2)-② ③ 他者の自己決定を理解できる。 Ⅱ-1-A-(1-2)-③	① 様々な年齢の他者と意志を交わすことができる。 Ⅱ-1-B-(1-2)-①	① 社会支援制度を説明できる。 Ⅱ-1-C-(1-2)-①	① 学習上の目標を設定することができる。 Ⅱ-2-A-(1-2)-① ② 目標達成の手段を明らかにできる。 Ⅱ-2-A-(1-2)-② ③ 省察（振り返り）を実践できる。 Ⅱ-2-A-(1-2)-③ ④ 卒業までに学ぶべきことの概要を理解できる。 Ⅱ-2-A-(1-2)-④	① 社会が期待する医師像を説明できる。 Ⅱ-2-B-(1-2)-①	① 社会で活躍する女性の特性を述べられる。 Ⅱ-2-C-(1-2)-① ② 学習のための時間を適切に自己管理できる。 Ⅱ-2-C-(1-2)-②	① 自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。 Ⅱ-2-D-(1-2)-① ② 真摯に学びを励行できる。 Ⅱ-2-D-(1-2)-②	① 自分の目標となる人物像を説明できる。 Ⅱ-2-E-(1-2)-①
3、4 年 ロードマップ	① 傾聴できる。 Ⅱ-1-A-(3-4)-① ② 患者の人権・尊厳を説明できる。 Ⅱ-1-A-(3-4)-②	① 他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 Ⅱ-1-B-(3-4)-① ② 患者・家族の心理を説明できる。 Ⅱ-1-B-(3-4)-②	① 社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。 Ⅱ-1-C-(3-4)-①	① 卒業までの学習目標を立て、自分の達成度を評価できる。 Ⅱ-2-A-(3-4)-① ② 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。 Ⅱ-2-A-(3-4)-②	① 地域社会の医療ニーズを説明できる。 Ⅱ-2-B-(3-4)-①	① 学習目標を達成するための自己学習を計画的に行える。 Ⅱ-2-C-(3-4)-① ② 女性のライフサイクルを説明できる。 Ⅱ-2-C-(3-4)-② ③ キャリア継続の意思を持つ。 Ⅱ-2-C-(3-4)-③	① 自分の特性を活かして学習できる。 Ⅱ-2-D-(3-4)-① ② 学習の中で興味を持ったことを自ら学べる。 Ⅱ-2-D-(3-4)-②	① 自分のモデルとなる先輩を示すことができる。 Ⅱ-2-E-(3-4)-①
5、6 年 ロードマップ	① 患者の自己決定を支援し、必要な情報が提供できる。 Ⅱ-1-A-(5-6)-① ② 患者の意志を聞き出すことができる。 Ⅱ-1-A-(5-6)-② ③ 患者の尊厳に配慮した診察が行える。 Ⅱ-1-A-(5-6)-③	① 患者・家族の解釈を理解し、対応できる。 Ⅱ-1-B-(5-6)-① ② 患者・家族の信頼を得る振る舞いができる。 Ⅱ-1-B-(5-6)-② ③ 患者・家族への説明の場に配慮できる。 Ⅱ-1-B-(5-6)-③	① 患者支援制度を検索し利用法を説明できる。 Ⅱ-1-C-(5-6)-①	① 診察能力・技能を振り返り、目標を設定し、修得のための方法を明らかにできる。 Ⅱ-2-A-(5-6)-①	① 研修（実習）する地域社会での医療ニーズから、学ぶべきことを明らかにできる。 Ⅱ-2-B-(5-6)-①	① ライフサイクルを理解し、その中でキャリア継続のための計画を立てられる。 Ⅱ-2-C-(5-6)-①	① 自分の目指す医師像を達成するための計画を示せる。 Ⅱ-2-D-(5-6)-①	① 自分の特性を活かしてどのような医師を目指すかを述べることができる。 Ⅱ-2-E-(5-6)-①

	3.　社会に奉仕する姿勢		4.　先導と協働する姿勢			5.　ひとの人生へ貢献する姿勢	
アウトカム	A.　社会・地域で求められる医療を実践できる。	B.　医学研究を通じた社会貢献ができる。	A.　自分の判断を説明できる。	B.　グループを先導できる。	C.　医療チームのなかで協働できる。	A.患者に希望を与えられる。	B.　後輩を育てることができる。
1、2 年ロードマップ	①　社会・地域に奉仕する姿勢を持つ。 Ⅱ-3-A-(1-2)-①	①　医学研究の重要性について概説できる。 Ⅱ-3-B-(1-2)-①	①　自分の考えの根拠を説明できる。 Ⅱ-4-A-(1-2)-①	①　共通の目標を設定できる。Ⅱ-4-B-(1-2)-① ②　活動向上のための評価ができる。 Ⅱ-4-B-(1-2)-② ③　意見の異なる他者の意見を尊重し対処できる。Ⅱ-4-B-(1-2)-③	①　他者の話を聴くことができる。Ⅱ-4-C-(1-2)-① ②　対話の中で相手の述べることを要約できる。 Ⅱ-4-C-(1-2)-② ③　役割分担を確実に実践できる。Ⅱ-4-C-(1-2)-③	①　医学の進歩が人に希望を与えることを説明できる。Ⅱ-5-A-(1-2)-① ②　困難な状況にあっても、希望を見いだすことができる。Ⅱ-5-A-(1-2)-②	①　学生として適切な振る舞いで行動できる。 Ⅱ-5-B-(1-2)-① ②　学んだことを他者に説明できる。 Ⅱ-5-B-(1-2)-②
3、4 年ロードマップ	①　医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。Ⅱ-3-A-(3-4)-①	①　基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。Ⅱ-3-B-(3-4)-① ②　医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。Ⅱ-3-B-(3-4)-② ③　臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。 Ⅱ-3-B-(3-4)-③	①　自分の選択・判断の根拠を説明できる。 Ⅱ-4-A-(3-4)-① ②　他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。 Ⅱ-4-A-(3-4)-②	①　討論・話し合いを促せる。Ⅱ-4-B-(3-4)-① ②　自分の方針を説明し同意を得ることができる。Ⅱ-4-B-(3-4)-② ③　活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 Ⅱ-4-B-(3-4)-③	①　グループ目標達成のために行動できる。 Ⅱ-4-C-(3-4)-① ②　講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。 Ⅱ-4-C-(3-4)-②	①　学習する事例について医学の貢献を説明できる。 Ⅱ-5-A-(3-4)-① ②　問題を解決できたときの状況を考え説明できる。 Ⅱ-5-A-(3-4)-②	①　自分が目標をどのように達成したかを他者に説明できる。 Ⅱ-5-B-(3-4)-① ②　相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。 Ⅱ-5-B-(3-4)-②
5、6 年ロードマップ	①　臨床実習の中で医療に参加し社会・地域に貢献する。 Ⅱ-3-A-(5-6)-①	①　診療のなかで医学研究の課題を見つけることができる。 Ⅱ-3-B-(5-6)-①	①　診療上の判断を他者に分かるように説明できる。 Ⅱ-4-A-(5-6)-①	①　講成員の特性に合わせて個人と全体の活動を統括できる。 Ⅱ-4-B-(5-6)-①	①　自分が所属する医療チーム構成者の役割を説明できる。Ⅱ-4-C-(5-6)-① ②　与えられた医療の役割について責任を持ち確実に実施できる。 Ⅱ-4-C-(5-6)-①	①　医療の限界のなかで可能なことを説明できる。 Ⅱ-5-A-(5-6)-① ②　患者に医療が行うことのできる望ましい結果を説明できる。 Ⅱ-5-A-(5-6)-②	①　適切な振る舞いで診療に参加できる。 Ⅱ-5-B-(5-6)-① ②　他者の疑問を共に解決することができる。 Ⅱ-5-B-(5-6)-② ③　医療の中で他者に教えることを実践できる。 Ⅱ-5-B-(5-6)-③

卒業時	ディプロマ・ポリシー		
		DP5	生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。
		DP4	安全な医療を行える能力を有する。
		DP3	医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学的および臨床的思考力を持つ。
		DP2	自ら問題を発見し解決する能力を持つ
		DP1	医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。

アウトカム	医の実践力						慈しむ心の姿勢				
	知識と技能を正しく使う力	問題を見つけ追及する力	問題解決に向け考え実行する力	根拠に基づいた判断を行う力	情報を伝える力	法と倫理に基づいて医療を行う力	患者を理解し支援する姿勢	ひとの人生へ貢献する姿勢	社会に奉仕する姿勢	先導と協働する姿勢	生涯を通じて研鑽する姿勢



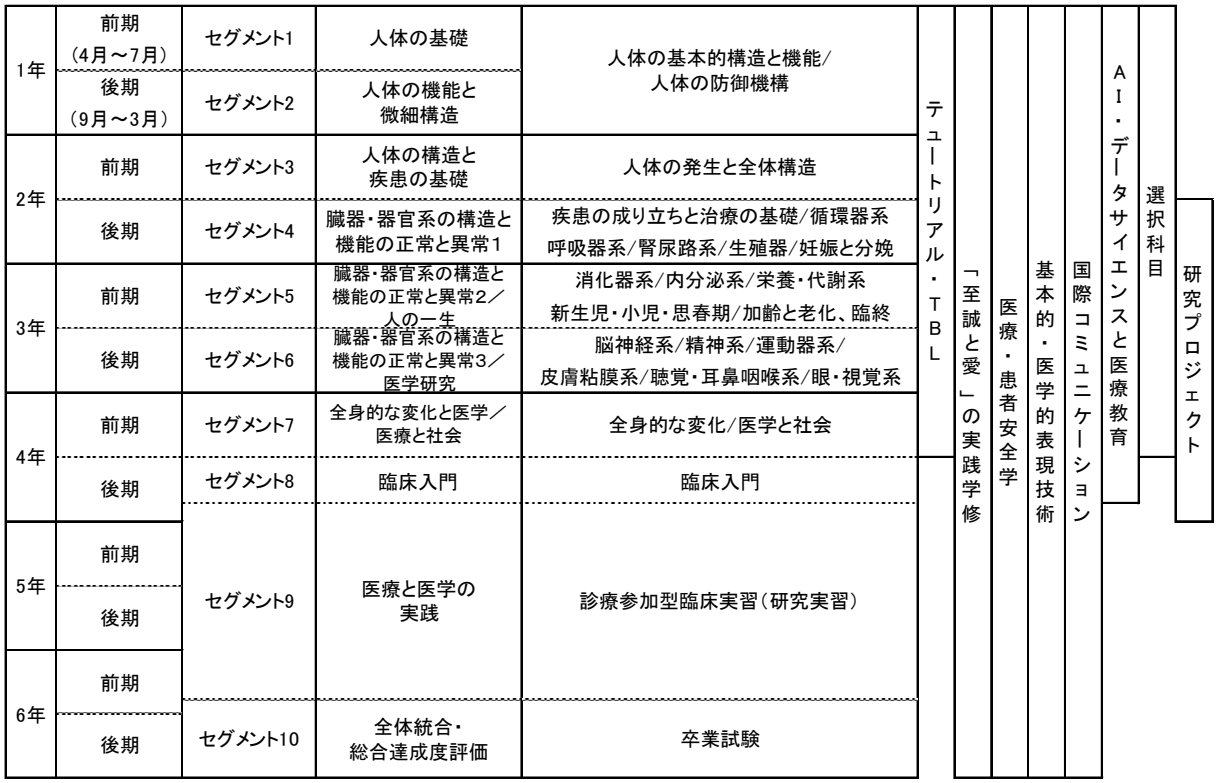
カリキュラムの構造

カリキュラム（教育計画）は、学生が実践力を持つ医師になるために限られた時間のなかで最大の学修を得られるように構築されている。学生には、全てのカリキュラムに参加して最終目標を達成することが求められる。

医学部カリキュラムの全体構造は、初めに人体の基本構造と機能を 2 年前期までに学び、次に医療を行うために必要な臓器・器官系の正常と異常、臓器系をまたいでおこる全身的異常、人の発生・出産・出生・成長・発育・成熟・加齢の正常と異常を 3 年後期までに学ぶ。4 年前期は、全身的な変化と、社会・法律・衛生・公衆衛生と医学の関わり、臨床推論の進め方などの臨床的思考力、麻酔・救急などの全身管理に係わる医学を学び、医療を取り巻く環境を理解する。そして 4 年後期は、臨床実習に備えた臨床入門を学ぶ。臨床入門は、基本的臨床技能を学ぶだけでなく、画像・検査などの臨床的理解を学び、4 年後半から医療の中に入って臨床実習を行えるようになるための仕上げとなる。臨床実習への準備は、総合試験（共用試験 CBT および問題解決能力試験）、共用試験 OSCE などで評価される。4 年後半から 6 年前半の臨床実習では、見学するのではなく参加する意識で実習を行って欲しい。臨床実習では、地域医療・プライマリケアなど現代の日本の医療に求められる領域、国外留学など国際的医療に係わる機会、基礎医学を学ぶ機会などが設けられ、且つ学生が自分のキャリアを考えて学修の場を選べるようになっている。6 年後期は、6 年間の学修の総括と卒業認定のための評価に充てられる。

学年毎に進むカリキュラムとは別に縦断的カリキュラムがある。これは、学生が 4 もしくは 6 年間で継続して自己開発する必要のある科目で、縦断教育科目と呼ぶ。

６年間のカリキュラム全体図



週間の授業予定

学生は全ての授業に出席し能動的に学ぶ事が求められる。

医学部の時間割の特徴は、テュートリアル・TBL を中心に十分な自己学修の時間が確保されていることである。自ら目標を定め能動的に学ぶことで医師となっても使い続けることのできる知識の活用を修得するように、授業・実習のない学修時間が確保されている。

セグメント１

「人体の基礎」

令和７年４月１１日~令和７年７月１８日

Ⅰ　学修内容

「人体の基礎」をメインテーマとして、人体、細胞、物質レベルで生命現象の基本的知識と捉え方を学ぶ。５つの基幹科目を設定し、「人体の成り立ち」では人体が内部構造と外部との関連で成り立っていることを、「細胞の成り立ち」では細胞（生命の最小単位）がオルガネラと呼ばれる内部構造の役割で成り立っていることを、「人体を構成する物質」ではそれらの生命現象を分子レベルで捉えることを主眼とする。また、「体液と生体の恒常性」では、生体が生存のために一定の状態に保つ必要のなる体内環境をとりあげ、その調節機構を学ぶ。特に、体液の恒常性について、それが細胞の機能維持において重要な点を学ぶ。「細胞の基本機能」では、生命の単位である細胞が生きる上でどうしても必要な機能や生命現象を取り上げ、その意義やメカニズムを学ぶ。

学修方法としては、テュートリアル学修を通じて問題発見・解決に努め、講義により基本的知識と捉え方を学び、実習により基本的技術を修得するとともに現象の正確な観察力と洞察力を養う。

学年を縦断する科目として「「至誠と愛」の実践学修」「AI・データサイエンスと医療」「基本的・医学的表現技術」「国際コミュニケーション」「医学の学び方・考え方」「医療・患者安全学」を設定し、それぞれの目的に応じて学修する。縦断科目によって、医師としての基本的な姿勢を体験する。正解がある基幹科目での知識・理解だけでなく、多様な考え方や価値観があることを経験することで豊かな人間性を醸成する。

このほか、選択科目として「ベーシック物理・ベーシック化学・ベーシック生物」の中からいずれかを必修とし、第１－４学年に渡る選択科目として自然科学系、語学系、人文科学系、社会科学系科目が開講され、「体育実技」も選択できる。なお、第２－４学年では指定する早稲田大学のオープン科目を選択受講することができる。

＜セグメント1（人体の基礎）の学修過程＞

［基幹科目］
・人体の成り立ち
・細胞の成り立ち
・人体を構成する物質
・体液と生体の恒常性
・細胞の基本機能

［選択必修科目］
・ベーシック物理
・ベーシック化学
・ベーシック生物

［学年縦断科目］
・「至誠と愛」の実践学修
・AI・データサイエンスと医療
・基本的・医学的表現技術
・国際コミュニケーション
・医学の学び方・考え方
・医療・患者安全学

［選択科目］
・全２３科目

Ⅱ　到達目標

A　包括的到達目標（基幹科目）

1 生命現象を人体、細胞、物質レベルで捉え、基本的概念を説明できる。

2 「人体の成り立ち」について理解し、概説できる。
1）人の健康と寿命、多様性、進化と退化、健康と病気について概説できる。
2）人体を構成する器官の名称、基本構造、基本機能を概説できる。
a）吸収系　b）循環系　c）排泄系　d）伝達調節系　e）運動系
3）人体と外部の関連に認識を持ち、その意義を説明できる。
a）人と他の生物　b）人と環境　c）人とエネルギー　d）人と食品　e）人と社会
4）人体に関する医学・医療・研究に関心をもつことができる。

3 「細胞の成り立ち」について理解し、概説できる。
1）細胞と生命、真核細胞と原核細胞について概説できる。
2）細胞を構成する小器官の名称、基本構造、基本的機能を概説できる。
a）細胞膜　b）核　c）リボソーム
d）小胞体・ゴルジ体・ライソゾーム・ペルオキシゾーム　e）ミトコンドリア
f）細胞骨格　g）染色体
3）細胞に関する医学・医療・研究に関心をもつことができる。

4 「人体を構成する物質」について理解し、生命現象との関わりを説明できる。
1）分子、栄養素について基本的認識がもてる。
2）人体を構成する分子の種類、構造、性質、機能、反応を説明できる。
a）タンパク質　b）糖質　c）脂質　d）ヌクレオチド・核酸　e）ビタミン
f）無機イオン・微量元素
3）分子に関する医学・医療・研究に関心をもつことができる。

5　生体における恒常性の維持についてその具体例を列挙できる。ネガティブフィードバック等の恒常性に関わる調節機構を説明できる。維持される具体例のお互いの関係を概説できる。
1）細胞内液・外液のイオン組成と調節
2）浸透圧と膜電位
3）体液pH と緩衝系
4）体温の調節

6　生体の構成単位としての細胞の機能を列挙し、生細胞に共通して観察される基本的生命現象の種類と意義を説明できることを目標とする。
1）膜輸送
2）細胞骨格と細胞運動
3）物質の運搬と貯蔵
4）細胞機能研究法
5）細胞構成物質の品質管理と分解・再利用
6）幹細胞の性質

B.　科目別シラバス

科目名
人体の成り立ち
科目責任者(所属)
藤枝　弘樹

到達目標	
人体の構造と機能は、内部の組織・器官が協調してそれぞれの役割を担うとともに、外部環境との相互作用や適応で維持されている。これらの事象を科学的に捉えることは、医学生として生命現象を理解する上で大切な第一歩である。講義（19回）と実習（2 回）では人体の内部構造の基礎を学修するとともに、外部環境との関連について基本的医学用語を理解するとともに、生活習慣や生活環境の重要性を学修する。なお、本科目は、生命現象を細胞レベル、分子レベルで理解する科目「細胞の成り立ち」「人体を構成する物質」とも密接に関連する。人体の成り立ちに関わる生命現象や影響する環境要因に興味をもち、積極的に学修することを目標とする。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
人体の正常な構造と機能を説明できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-①
安全に配慮して実習・研修を行える。	Ⅰ-1-C-(1-2)-②
結論とその根拠が明確な文書を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-①

学修（教育）方法
講義・実習

評価方法 (1)総括的評価の対象
定期試験（筆記試験）点数を90%、実習（ラットの解剖）レポート点数を10%とし、本科目の評価点とする。ただし、当該科目の授業に3分の2以上出席し、かつ実習出席と実習レポート提出が定期試験の受験資格として必要である。定期試験（筆記試験）は、講義内容および配布資料から出題する。

評価方法 (2)評価項目	
平均寿命、健康寿命を説明できる。	SO-02-01-02
生物種とその系統関係を概説できる。	PS-01-01-13
眼・視覚系で行う検査方法について基本的事項を理解している。	PS-02-15-03
耳鼻・咽喉・口腔系で行う検査方法について基本的事項を理解している。	PS-02-16-03
内部被ばくと外部被ばくについて、線量評価やその病態、症候、診断と治療を説明できる。	PS-03-06-02
放射線及び電磁波の人体（胎児を含む）への影響（急性影響と晩発影響）を説明できる。	PS-03-06-03
種々の正常組織の放射線の透過性や放射線感受性の違いを説明できる。	PS-03-06-04
主な医療機器の種類と原理について概要を理解している。	CS-02-04-36
運動器（筋骨格）系の構造と機能について基本的事項を理解している。	PS-02-05-01
健康寿命を延ばすために働きかけを行うことができる。	SO-04-01-01
老化に伴う臓器や身体機能の変化、それに伴う生理的変化、老化機構について理解している。	GE-03-05-01

食中毒、ガス中毒（一酸化炭素中毒、硫化水素、青酸ガス）、農薬（有機リン・有機塩素）、アルコール、薬物（睡眠薬・向精神薬・解熱鎮痛薬・麻薬・覚醒剤）による中毒の病因（発生機序）、症候、診断と治療について理解している。	PS-03-05-08
健康危機管理（感染症、放射線事故、災害等の有事）に関連する基本的な制度や法律を理解している。	SO-01-05-02
何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。	RE-01-01-02
喫煙や飲酒に関して、喫煙や飲酒による健康影響の知識や統計情報をもとに、本人や家族の生活や価値観を踏まえた評価や支援を計画できる。	GE-04-01-06
呼吸器系でみられる症候について理解している。	PS-02-07-02
気圧、振動、騒音による障害の症候、主な検査・診断、治療法について概要を理解している。	PS-03-05-11
ライフステージやライフイベントの視点で、健康管理と環境・生活習慣改善を検討できる。	GE-03-01-02
労働災害及び職業性疾病とのその対策を理解している。	SO-01-04-03

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）A. 良く理解している（80%以上90%未満）B. 平均的に理解している（70%以上80%未満）C. 最低限は理解している（60%以上70%未満）D. 理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

教科書は指定しない。以下に記載する書籍は、参考図書として利用されたい。その他、各自が興味あるテーマに関する書籍を参考にすることを勧める。形成的評価（最終成績には使用しないが、フィードバックする）は、実習態度および実習レポートにより行うので学修に活かして欲しい。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録 改訂版（図書館所蔵あり）』	鈴木孝仁監修	数研出版 2014	978-4410281655
2.	『ヒトのからだ（図書館所蔵あり）』	三木成夫著	うぶすな書院 1997	978-4900470095
3.	『内蔵とこころ（図書館所蔵あり）』	三木成夫著	河出書房新社 2013	978-4309412054
4.	『国民衛生の動向（図書館所蔵あり）』	厚生労働統計協会編集	厚生労働統計協会 年刊	
5.	『NEW予防医学・公衆衛生学 改訂第4版（図書館所蔵あり）』	岸玲子監修・小泉昭夫/馬場園明/今中雄一/武林亨編集	南江堂 2018	978-4-524-25116-2
6.	『健康長寿のための医学（図書館所蔵あり）』	井村裕夫著	岩波新書 2016	978-4-00-431588-9

7.	『放射線医科学 ―生体と放射線・電磁波・超音波（図書館所蔵あり）』	大西・松本監修	医療科学社 2016	978-4860034818
8.	『低線量放射線と健康影響―先生、放射線を浴びても大丈夫? と聞かれたら（図書館所蔵あり）』	放射線医学研究所編著	医療科学社 2012	978-4860034283
9.	『放射線被ばくによる健康影響とリスク評価（図書館所蔵あり）』	欧州放射線リスク委員会（ECRR）編集	明石書店 2011	978-4750334974
10.	『放射線 必須データ32 被ばく影響の根拠（図書館所蔵あり）』	田中・角山・中島・坂東編集	創元社 2016	978-4422410906
11.	『本当のところ教えて! 放射線のリスク―放射線影響研究者からのメッセージ（図書館所蔵あり）』	日本放射線影響学会編集	医療科学社 2015	978-4860034542
12.	『放射線基礎医学（図書館所蔵あり）』	青山・丹羽編著	金芳堂 2013	978-4765315593
13.	『放射線と健康（図書館所蔵あり）』	舘野之男著	岩波新書 2001	978-4004307457
14.	『環境微生物学―地球環境を守る微生物の役割と応用（図書館所蔵あり）』	久保・森崎・久保田・今中著	化学同人 2011	978-4759814620
15.	『医療系のための物理学入門（図書館所蔵あり）』	木下順二著	講談社 2017	978-4061563254
16.	『聴覚検査の実際（図書館所蔵あり）』	日本聴覚医学会編集	南山堂 2017	978-4525370442
17.	『屈折異常と眼鏡矯正（図書館所蔵あり）』	大鹿哲郎編集	中山書店 2010	978-4521733227

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/04/17 (木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	総論（１）　科目の概要、人の健康と寿命			
	担当者（所属）	蒋池　勇太 藤枝　弘樹			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	SO-02-01-02, SO-04-01-01, GE-03-05-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/04/18(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	総論（２） 人の多様性			
	担当者（所属）	廣田 恵子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-04-03, GE-04-01-01,GE-04-01-06, GE-04-02-02, GE-04-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/04/21(月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	総論（３） 人の進化と退化			
	担当者（所属）	北原 秀治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-20			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/04/22(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	人体の内部構造（１） 運動系			
	担当者（所属）	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-05-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				4

5.	2025/04/23 (水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	人体の内部構造（２） 神経系			
	担当者（所属）	藤枝 弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/04/24 (木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	人体の内部構造（３） 吸収系			
	担当者（所属）	北原 秀治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-07-01,PS-02-08-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/04/25 (金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	人体の内部構造（４） 排泄系			
	担当者（所属）	北原 秀治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-09-01, PS-02-10-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/04/25 (金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	人体の内部構造（５） 循環系			

	担当者（所属）	藤枝　弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-06-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2025/05/08(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	人体の内部構造（６）感覚系			
	担当者（所属）	北原　秀治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-15-01,PS-02-16-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/05/08(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	人体と外部の関連（１）　人と空気、水			
	担当者（所属）	藤木　恒太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-04-01-06,PS-02-07-02,PS-02-07-05,PS-03-05-11			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2025/05/12(月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	人体と外部の関連（２）　人と熱			
	担当者（所属）	山口　俊夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-02-04-36			

	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2025/05/12(月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	人体と外部の関連（３） 人と食品衛生・食中毒			
	担当者（所属）	蒋池 勇太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-03-05-08, SO-01-05-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2025/05/12(月)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	人体と外部の関連（４） 生物の多様性			
	担当者（所属）	蒋池 勇太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-13, RE-01-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2025/05/14(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	人体と外部の関連（５） 人と放射線			
	担当者（所属）	大松 賢太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-03-06-01,PS-03-06-02,PS-03-06-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2025/05/15(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10

	タイトル	人体と外部の関連（６） 人と音			
	担当者（所属）	山口 俊夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-16-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2025/05/15(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	人体と外部の関連（７） 人と光			
	担当者（所属）	山口 俊夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-15-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2025/05/15(木)	３時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	ラットの解剖１（前班）			
	担当者（所属）	浦瀬 香子 宮山 貴光 石井 泰雄 廣田 恵子 土井 範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,RE-05-02-02,PS-02-06-01,PS-02-08-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
18.	2025/05/15(木)	４時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	ラットの解剖１（前班）			

	担当者（所属）	浦瀬　香子 宮山　貴光 石井　泰雄 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,RE-05-02-02,PS-02-06-01,PS-02-08-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
19.	2025/05/15(木)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	ラットの解剖１（前班）			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 宮山　貴光 石井　泰雄 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,RE-05-02-02,PS-02-06-01,PS-02-08-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
20.	2025/05/19(月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	人体と外部の関連（８）　人と食品・嗜好品			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-28,PS-01-02-29,PS-01-02-34,PS-01-02-35			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
21.	2025/05/19(月)	３時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	ラットの解剖２（前班）			

	担当者（所属）	浦瀬　香子 宮山　貴光 石井　泰雄 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,RE-05-02-02,PS-02-06-01,PS-02-08-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
22.	2025/05/19(月)	４時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	ラットの解剖２（前班）			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 宮山　貴光 石井　泰雄 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,RE-05-02-02,PS-02-06-01,PS-02-08-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
23.	2025/05/19(月)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	ラットの解剖２（前班）			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 宮山　貴光 石井　泰雄 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,RE-05-02-02,PS-02-06-01,PS-02-08-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
24.	2025/05/20(火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10

	タイトル	人体と外部の関連（９） 微生物との共存			
	担当者（所属）	大坂 利文			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-07			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
25.	2025/05/20(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	人体と外部の関連（10） 人と廃棄物			
	担当者（所属）	藤木 恒太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-03-01-02,SO-01-04-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
26.	2025/05/29(木)	３時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	ラットの解剖１（後班）			
	担当者（所属）	浦瀬 香子 宮山 貴光 石井 泰雄 廣田 恵子 土井 範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,RE-05-02-02,PS-02-06-01,PS-02-08-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2025/05/29(木)	４時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	ラットの解剖１（後班）			

	担当者（所属）	浦瀬　香子 宮山　貴光 石井　泰雄 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,RE-05-02-02,PS-02-06-01,PS-02-08-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2025/05/29(木)	５時限	実習	大実習室１	15:15-16:25
	タイトル	ラットの解剖１（後班）			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 宮山　貴光 石井　泰雄 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,RE-05-02-02,PS-02-06-01,PS-02-08-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2025/06/02(月)	３時限	実習	大実習室１	12:30-13:40
	タイトル	ラットの解剖２（後班）			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 宮山　貴光 石井　泰雄 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,RE-05-02-02,PS-02-06-01,PS-02-08-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2025/06/02(月)	４時限	実習	大実習室１	13:55-15:05

	タイトル	ラットの解剖２（後班）			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 宮山　貴光 石井　泰雄 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,RE-05-02-02,PS-02-06-01,PS-02-08-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2025/06/02(月)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	ラットの解剖２（後班）			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 宮山　貴光 石井　泰雄 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,RE-05-02-02,PS-02-06-01,PS-02-08-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2025/07/08(火)	１時限	試験	–	10:00-11:30
	タイトル	本試験(10:00-11:30)/302・303講義室			
	担当者（所属）	藤枝　弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2025/07/08(火)	２時限	試験	–	10:00-11:30

	タイトル	本試験(10:00-11:30)/302・303講義室			
	担当者（所属）	藤枝　弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2025/08/20(水)	１時限	追・再試験	–	10:00-11:30
	タイトル	追・再試験(10：00-11：30)/301講義室			
	担当者（所属）	藤枝　弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2025/08/20(水)	２時限	追・再試験	–	10:00-11:30
	タイトル	追・再試験(10：00-11：30)/301講義室			
	担当者（所属）	藤枝　弘樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				35

基 幹 科 目

〔人体の成り立ち〕

科目責任者：藤枝　弘樹（解剖学講座（神経分子形態学分野））

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．総論	1. 人の健康と寿命	健康、病気、寿命
	2. 人の多様性	個人差、人種、老若男女
	3. 人の進化と退化	進化と退化
Ⅱ．人体の内部構造	1. 発生、分化	発生と分化
	2. 吸収系	消化器系、呼吸器系
	3. 循環系	脈管系、血液・リンパ系
	4. 排泄系	泌尿器系、生殖器系
	5. 感覚系	一般感覚器系、特殊感覚器系
	6. 伝達調節系	神経系
	7. 運動系	骨格系、筋系
Ⅲ．人体と外部の関連		
Ⅲ－1. 人と他の生物	1. 生物の多様性	生態系、生物資源
	2. 微生物との共存	共生、寄生
Ⅲ－2. 人と環境	1. 人と水	飲料水、海川
	2. 人と放射線	自然放射線、医療用放射線
	3. 人と空気	酸素、大気汚染、地球温暖化
	4. 人と音	声、聴覚検査
	5. 人と光	光と色、視力検査
Ⅲ－3. 人とエネルギー	1. 人とエネルギー	変換、利用、保存
	2. 人と熱	熱、体温
Ⅲ－4. 人と食品	1. 人と食品・嗜好品	栄養素、嗜好品
	2. 人と食品衛生	食中毒・食の安全
Ⅲ－5. 人と社会	1. 人と日常生活	衣食住
	2. 人と廃棄物	処理、再利用

科目名

細胞の成り立ち

科目責任者(所属)

石井　泰雄

到達目標

地球上の生物はすべて細胞からできている。代謝を行う、増殖する、DNAに記録された遺伝プログラムによって性質が決まる、といった特徴を備えた細胞は、それ自体が「生命」を有していると言える。数十兆個の細胞からなるヒトの場合、個々の細胞は必ずしも生物そのものではないが、細胞の作り上げた組織、器官、器官系が連携してはたらくことで、個体としての活動を維持している。細胞に関する知識は、「生きるとは何か」あるいは「健康に生きるとは何か」を考える上で重要な手がかりを与えるものであり、医学生にとって不可欠である。本科目は以下の３つを主な目標とする。1) 細胞と生命、真核細胞と原核細胞について概説できるようになる。2) 主な細胞小器官を挙げ、それらの基本構造や基本的機能を説明できるようになる。3) 細胞に関する医学・医療・研究への関心を高める。本科目で学ぶ内容は、引き続きセグメント１で開講される「細胞の基本機能」や、セグメント２以降の基礎医学・臨床医学の学修の基盤となる。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

実習に必要な技術を実践できる。	I-1-C-(1-2)-1
安全に配慮して実習・研修を行える。	I-1-C-(1-2)-2
研究・実習の報告書が作成できる。	I-4-B-(1-2)-2
真摯に学びを励行できる。	II-2-D-(1-2)-2

学修（教育）方法

講義・実習

評価方法
(1)総括的評価の対象

定期試験(筆記試験)の得点を80%、実習の評価点を20%で評価する。ただし、定期試験の受験資格として、当該科目の講義の3分の2以上への出席およびすべての実習への参加とレポートの提出が必要である。

評価方法
(2)評価項目

細胞の観察法について概要を理解している。	PS-01-01-01
細胞の全体像を図示できる。	PS-01-01-02
核とリボソーム、小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系、ミトコンドリア、葉緑体、細胞骨格の種類とその構造と機能について概要を理解している。	PS-01-01-03
細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式について概要を理解している。	PS-01-01-04
原核細胞と真核細胞の特徴について理解している。	PS-01-01-05
染色体の構造を理解し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動について理解している。	PS-01-01-08
DNAの複製と修復、DNAからRNAへの転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節（セントラルドグマ）について理解している。	PS-01-01-09
細胞骨格を構成するタンパク質とその機能、アクチンフィラメント系による細胞運動について概要を理解している。	PS-01-02-07

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

事前学習: 講義資料を事前に読み、内容を把握した上で講義に臨むこと。
事後学習: 講義復習テストに取り組み、参考図書などを活用して復習を行うこと。

伝達事項

教科書は特に指定しない。各自の理解度や興味に合った参考図書を用意し、自己学修に活用すること。以下は参考図書の例である。不明な点があれば、遠慮なく質問すること。質問はメールのほか、直接訪問していただいても構わない（可能であれば事前にご連絡ください）。形成的評価(最終成績には反映しないが、学生の成長を促すフィードバックとしての評価)として、実習レポートにコメントをつけて返却する。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『Essential細胞生物学』	Alberts, B	南江堂 2016	9784524261994
2.	『カラー図解 人体の細胞生物学』	坂井 建雄	本医事新報社 2018	9784784932320
3.	『エッセンシャル　キャンベル生物学　』	Eric J.Simon	丸善 2016	9784621300992
4.	『スター生物学』	Starr, C	東京化学同人 2013	9784807908363
5.	『細胞の分子生物学　』	Alberts, B	ニュートンプレス 2017	9784315520620
6.	『キャンベル生物学　』	L.A.Uryy	丸善 2018	9784621302767
7.	『ビジュアルコア生物学』	Eric J.Simon	東京化学同人 2019	9784807909568
8.	『人体の正常構造と機能　改訂第４版』	坂井 建雄他	本医事新報社 2021	9784784931811
9.	『細胞生物学　カラー図解アメリカ版大学生物学の教科書　1　（ブルーバックス B-1672)』	Sadava, DE	講談社 2010	9784062576727
10.	『分子遺伝学　カラー図解アメリカ版大学生物学の教科書　2　（ブルーバックス B-1673)』	Sadava, DE	講談社 2010	9784062576734
11.	『分子生物学　カラー図解アメリカ版大学生物学の教科書　3　（ブルーバックス B-1674)』	Sadava, DE	講談社 2010	9784062576741

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/04/17 (木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	科目の概要、生物とは何か			

	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/04/21(月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	細胞を構成する物質			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/04/21(月)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	真核細胞と原核細胞			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-02,PS-01-01-05,PS-01-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/04/24(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	細胞の研究法			
	担当者（所属）	菊田　幸子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01			

	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2025/04/28(月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	細胞膜１			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-02,PS-01-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/04/28(月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	細胞膜２			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-02,PS-01-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/04/28(月)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	核１			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-02,PS-01-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/05/08(木)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40

	タイトル	核２			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-03,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2025/05/09(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	リボソーム			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-03,PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/05/09(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	細胞骨格			
	担当者（所属）	浦瀬　香子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-02-07,PS-01-02-08			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2025/05/13(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	細胞周期・細胞分裂			
	担当者（所属）	浦瀬　香子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-02,PS-01-01-08			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2025/05/14(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	小胞体・ゴルジ体・リソソーム			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-02,PS-01-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2025/05/15(木)	３時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	細胞/細胞研究法１（後班）			
	担当者（所属）	永野　利典 菊田　幸子 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,PS-01-01-01,PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
14.	2025/05/15(木)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	細胞/細胞研究法１（後班）			
	担当者（所属）	永野　利典 菊田　幸子 石津　綾子 望月　牧子			

		横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,PS-01-01-01,PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
15.	2025/05/15(木)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	細胞/細胞研究法１（後班）			
	担当者（所属）	永野　利典 菊田　幸子 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,PS-01-01-01,PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
16.	2025/05/16(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	ペルオキシソーム・細胞質基質・タンパク質の輸送			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-02-08			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
17.	2025/05/16(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	ミトコンドリアと葉緑体１			
	担当者（所属）	越野　一朗			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-02-28			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
18.	2025/05/19(月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	ミトコンドリアと葉緑体２			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-02-28			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
19.	2025/05/19(月)	３時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	細胞/細胞研究法２（後班）			
	担当者（所属）	永野　利典 菊田　幸子 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,PS-01-01-01,PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
20.	2025/05/19(月)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	細胞/細胞研究法２（後班）			
	担当者（所属）	永野　利典 菊田　幸子 石津　綾子 望月　牧子			

		横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,PS-01-01-01,PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
21.	2025/05/19(月)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	細胞/細胞研究法２（後班）			
	担当者（所属）	永野　利典 菊田　幸子 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,PS-01-01-01,PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
22.	2025/05/21(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	細胞から組織へ			
	担当者（所属）	浦瀬　香子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-04,PS-01-02-10,PS-01-02-11			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
23.	2025/05/21(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	細胞と疾患			
	担当者（所属）	石井　泰雄			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-03,PS-01-04-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
24.	2025/05/26(月)	３時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	体細胞分裂／ヒトの染色体(後班)			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,PS-01-01-01,PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2025/05/26(月)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	体細胞分裂／ヒトの染色体(後班)			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,PS-01-01-01,PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2025/05/26(月)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	体細胞分裂／ヒトの染色体(後班)			

	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,PS-01-01-01,PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2025/05/29(木)	３時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	細胞/細胞研究法１（前班）			
	担当者（所属）	永野　利典 菊田　幸子 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,PS-01-01-01,PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2025/05/29(木)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	細胞/細胞研究法１（前班）			
	担当者（所属）	永野　利典 菊田　幸子 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,PS-01-01-01,PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-01-04			

	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2025/05/29(木)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	細胞/細胞研究法１（前班）			
	担当者（所属）	永野　利典 菊田　幸子 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-01-02,PS-01-01-01,PS-01-01-02,PS-01-01-03,PS-01-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2025/06/02(月)	３時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	細胞/細胞研究法２（前班）			
	担当者（所属）	永野　利典 菊田　幸子 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01,RE-01-01-02,PS-01-01-08,PS-01-01-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2025/06/02(月)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	細胞/細胞研究法２（前班）			
	担当者（所属）	永野　利典 菊田　幸子 石津　綾子 望月　牧子			

		横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01,RE-01-01-02,PS-01-01-08,PS-01-01-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2025/06/02(月)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	細胞/細胞研究法２（前班）			
	担当者（所属）	永野　利典 菊田　幸子 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01,RE-01-01-02,PS-01-01-08,PS-01-01-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2025/06/05(木)	３時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	体細胞分裂／ヒトの染色体(前班)			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01,RE-01-01-02,PS-01-01-08,PS-01-01-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2025/06/05(木)	４時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05

	タイトル	体細胞分裂／ヒトの染色体(前班)			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01,RE-01-01-02,PS-01-01-08,PS-01-01-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2025/06/05(木)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	体細胞分裂／ヒトの染色体(前班)			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 菊田　幸子 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01,RE-01-01-02,PS-01-01-08,PS-01-01-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2025/07/11(金)	１時限	試験	–	10：00-11：30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/302･303講義室			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				36

37.	2025/07/11(金)	２時限	試験	–	10：00-11：30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/302･303講義室			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2025/08/20(水)	３時限	追･再試験	–	13:00-14:30
	タイトル	追･再試験(13：00-14：30)/301講義室			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				38
39.	2025/08/20(水)	４時限	追･再試験	–	13:00-14:30
	タイトル	追･再試験(13：00-14：30)/301講義室			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				39

〔細胞の成り立ち〕

科目責任者：石井　泰雄　統合教育学修センター　基礎科学（生物学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．細胞から見た生命	1．細胞から見た生命	1）　生物の特徴 2）　生命の最小単位
Ⅱ．細胞の基本構造	1．細胞の基本構造	1）　細胞を構成する物質 2）　生命の起源 3）　原核細胞と真核細胞
Ⅲ．細胞の研究法	1．細胞の研究法	1）　光学顕微鏡 2）　電子顕微鏡 3）　細胞分画法
Ⅳ．細胞の構造と機能	1．真核細胞	1）　サイズ／形／機能 2）　細胞小器官、細胞質基質
	2．細胞膜	1）　脂質、タンパク質、糖質 2）　脂質二重層、流動モザイクモデル 3）　物質輸送 4）　情報のやり取り、接着
	3．核	1）　核膜、核小体 2）　DNA の折りたたみ、ヌクレオソーム 3）　遺伝情報の流れ 4）　DNA の構造 5）　DNA の複製 6）　染色体、DNA と遺伝子 7）　転写、プロセシング、mRNA
	4．リボゾーム	1）　リボソームの構造、rRNA 2）　遺伝暗号、tRNA 3）　翻訳の基本 4）　シグナル配列とタンパク質の輸送
	5．小胞体	1）　細胞内区画と小胞輸送 2）　粗面小胞体、滑面小胞体の構造と機能 3）　シグナル配列
	6．ゴルジ体	1）　ゴルジ体の構造と機能
	7．リソソーム	1）　リソソームの機能
	8．ペルオキシソーム	1）　ペルオキシソームの機能
	9．ミトコンドリア	1）　外膜、内膜、膜間腔、マトリックス、クリステ 2）　クエン酸回路、電子伝達系、ATP 合成
	10．細胞骨格	1）　微小管、鞭毛／線毛 2）　アクチンフィラメント 3）　中間径フィラメント
	11．染色体	1）　染色体の構造、細胞周期と染色体 2）　染色体と遺伝子 3）　ヒトの染色体の構成
	12．細胞周期・細胞分裂	1）　G1／S／G2／M期 2）　細胞分裂の機構
Ⅴ．細胞と人体	1．細胞と疾患	

科目名
人体を構成する物質
科目責任者(所属)
中村　史雄

到達目標
人体はタンパク質、糖質、脂質、核酸などを主要な構成成分として成り立っており、これらの機能は、それぞれの物理的・化学的性質に基づいて発揮される。従って、個々の分子の構造と性質を学ぶことは、生命の営みを分子レベルで理解する上で重要であり、平行して学修する「人体の成り立ち」「細胞の成り立ち」「細胞の基本機能」とも密接に関連している。 講義では、人体を構成する物質について、分子レベルで化学構造と性質を知るとともに、それらの生体における機能を学ぶ。 実習では、生体試料を用いて定性的および定量的な分析を行い、講義の内容を体験的に理解する。これらの知識は、今後、生体物質の代謝や機能を把握するための基礎となり、臨床化学分析による病態の理解にも役立つ。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

人体の正常な構造と機能を説明できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-①
データを読み解釈できる。	Ⅰ-1-B-(1-2)-①
実習に必要な技術を実践できる。	Ⅰ-1-C-(1-2)-①
安全に配慮して実習・研修を行える。	Ⅰ-1-C-(1-2)-②
現象・事例から学ぶべきことを発見できる。	Ⅰ-2-A-(1-2)-①
仮説を導くことができる。	Ⅰ-2-B-(1-2)-①
事象、現象、観察などからその原因について考えられる。	Ⅰ-2-B-(1-2)-②
既知と未知の問題を明らかにできる。	Ⅰ-2-C-(1-2)-①
問題解決のための情報収集ができる。	Ⅰ-3-A-(1-2)-①
情報に即して適切な解決方法を導くことができる。	Ⅰ-3-B-(1-2)-①
結果に予想される誤差を考えられる。	Ⅰ-3-C-(1-2)-②
自分の考えを他者に伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(1-2)-①
結論とその根拠が明確な文書を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-①
研究・実習の報告書が作成できる	Ⅰ-4-B-(1-2)-②
現象の原因・機序を検索できる。	Ⅰ-5-A-(1-2)-①
実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。	Ⅰ-5-A-(1-2)-②
情報の信頼度を評価できる。	Ⅰ-5-A-(1-2)-③
根拠に基づいて解決法を判断できる。	Ⅰ-5-B-(1-2)-①
研究倫理に配慮して実験・実習の結果報告書を作成できる。	Ⅰ-6-C-(1-2)-②
学修上の目標を設定することができる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-①
省察（振り返り）を実践できる	Ⅱ-2-A-(1-2)-③
学修のための時間を適切に自己管理できる。	Ⅱ-2-C-(1-2)-②
自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-①
真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-②
自分の考えの根拠を説明できる。	Ⅱ-4-A-(1-2)-①
共通の目標を設定できる。	Ⅱ-4-B-(1-2)-①
学んだことを他者に説明できる。	Ⅱ-5-B-(1-2)-②

学修（教育）方法

講義、実習

評価方法
(1)総括的評価の対象

実習点を10%、定期試験（筆記試験）における得点を90%として100点満点にて点数化を行う。実習点のうち、60%は出席と参加態度、40%はレポート、提出物で評価する。ただし、定期試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席が定期試験の受験資格として必要である。

評価方法
(2)評価項目

フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームの概念、その対処法、予防について理解している。	GE-03-05-04
医学知識が常に変わりゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。	LL-01-01-01
学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。	LL-01-01-02
細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式について概要を理解している。	PS-01-01-04
DNAの複製と修復、DNAからRNAへの転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節（セントラルドグマ）について理解している。	PS-01-01-09
細胞膜のイオンチャネル、ポンプ及び膜を介する物質の能動・受動輸送過程について理解している。	PS-01-02-02
情報伝達の種類と機能について理解している。	PS-01-02-04
液性因子による細胞間情報伝達（自己分泌、傍分泌、内分泌）について理解している。	PS-01-02-06
酵素の機能と調節について理解している。	PS-01-02-27
糖質の構造、代謝と調節（解糖、クエン酸回路、電子伝達系と酸化的リン酸化、グリコーゲン代謝、糖新生、五炭糖リン酸回路）、生理的意義について理解している。	PS-01-02-28
タンパク質の構造、代謝と調節、生理的意義、主要なアミノ酸の代謝、尿素回路を理解している。	PS-01-02-29
脂質の構造、代謝と調節、生理的意義、脂質の輸送（リポタンパク質）を理解している。	PS-01-02-30
ヌクレオチドの合成・異化・再利用経路について理解している。	PS-01-02-32
ビタミン、微量元素の種類と作用について理解している。	PS-01-02-34
栄養素の相互変換とエネルギー代謝（エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量）について理解している。	PS-01-02-35
空腹時、飢餓時、食後、過食時と運動時における代謝について理解している。	PS-01-02-36
複合糖質、複合脂質について概要を理解している。	PS-01-02-37
糖代謝異常の病態について理解している。	PS-01-04-07
脂質代謝異常の病態について理解している。	PS-01-04-09
何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。	RE-01-01-02
研究データを適切に記録、管理できる。	RE-03-04-01

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

形成的評価（学生の成長のためのフィードバックとしての評価）として、毎回の講義時間には、小テストを行うので、学修について振り返ってほしい。実習レポートは、コメントをつけて返却するので、知識、技能、態度について省察を行う助けとしてほしい。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『ストライヤー生化学』	Berg, JM	東京化学同人 2018	9784807909292
2.	『イラストレイテッド生化学（リッピンコットシリーズ）』	Abali, EE	丸善 2023	9784621308523
3.	『Essential細胞生物学』	Alberts, B et al	南江堂 2021	9784524226825
4.	『ヴォート生化学　上下』	Voet, D	東京化学同人 2012 2013	9784807908073,9784807908080
5.	『ヴォート基礎生化学』	Voet, D	東京化学同人 2017	9784807909254
6.	『イラストレイテッド・ハーパー生化学』	ハーパー[原著]；Victor W. Rodwell[ほか著]；五十嵐和彦[ほか訳]	丸善 2024	9784621310236
7.	『エリオット生化学・分子生物学』	Elliott, WH	東京化学同人 2016	9784807908608
8.	『マクマリー生物有機化学　生化学編』	McMurry, J	丸善 2018	9784621302408
9.	『生化学（栄養科学イラストレイテッド）』	薗田勝	羊土社 2017	9784758113540
10.	『カラー図解見てわかる生化学』	Koolman, J	ﾒﾃﾞｨｶﾙ・ｻｲｴﾝｽ・ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ 2015	9784895927970
11.	『カラー生化学』	Mathews, CK	西村書店 2015	9784890134502

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/05/26 (月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	分子から見た生命（オリエンテーション）分子の形（化学結合）			

	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-28, PS-01-02-29, PS-01-02-30			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/05/27(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	分子の持つエネルギー、化学反応とエネルギー			
	担当者（所属）	中村　裕子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-35,PS-01-02-36			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/05/29(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	栄養素と食品 I			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-35,LL-01-01-01,GE-03-05-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/05/29(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	栄養素と食品 II			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-35,LL-01-01-01,GE-03-05-04			

	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2025/06/02(月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	タンパク質Ⅰ　アミノ酸の種類、構造、性質			
	担当者（所属）	中村　裕子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/06/02(月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	タンパク質 II　タンパク質の構造、タンパク質の性質			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-29			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/06/03(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	タンパク質 III　タンパク質の機能			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-29,PS-01-02-27			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/06/06(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10

	タイトル	糖質Ⅰ単糖の種類と構造、単糖の性質			
	担当者（所属）	中村　裕子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-28			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2025/06/06(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	糖質 II　二糖類、多糖類の構造と性質、重要な糖類			
	担当者（所属）	新敷　信人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-28			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/06/06(金)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	糖質 III　糖類の機能と調節、糖質の異常と疾患			
	担当者（所属）	新敷　信人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-28, PS-01-02-37, PS-01-04-07			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2025/06/09(月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	無機イオンと微量元素			
	担当者（所属）	中村　裕子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-34,PS-02-14-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2025/06/09(月)	３時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	グループA：血清タンパク質の定量分析/グループB：（講義動画配信）血清脂質の成分分析			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,RE-01-01-02,RE-03-04-01,RE-04-01-01,PS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
13.	2025/06/09(月)	４時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	グループA：血清タンパク質の定量分析/グループB：（講義動画配信）血清脂質の成分分析			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,RE-01-01-02,RE-03-04-01,RE-04-01-01,PS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				24

14.	2025/06/09 (月)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	グループA：血清タンパク質の定量分析/グループB：（講義動画配信）血清脂質の成分分析			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,RE-01-01-02,RE-03-04-01,RE-04-01-01,PS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
15.	2025/06/11 (水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	脂質I　脂質の分類、構造と性質（１）			
	担当者（所属）	中村　裕子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-30			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
16.	2025/06/11 (水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	脂質 II　脂質の分類、構造と性質(２)			
	担当者（所属）	中村　裕子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				13

17.	2025/06/12 (木)	３時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	グループB：血清タンパク質の定量分析/グループA：レポート作成			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,RE-01-01-02,RE-03-04-01,RE-04-01-01,PS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
18.	2025/06/12 (木)	４時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	グループB：血清タンパク質の定量分析/グループA：レポート作成			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,RE-01-01-02,RE-03-04-01,RE-04-01-01,PS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
19.	2025/06/12 (木)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	グループB：血清タンパク質の定量分析/グループA：レポート作成			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人			

		中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,RE-01-01-02,RE-03-04-01,RE-04-01-01,PS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
20.	2025/06/13(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	ヌクレオチド　種類と構造、役割			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-32			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
21.	2025/06/13(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	核酸　基本構造と役割			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
22.	2025/06/16(月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	脂質 III　脂質の機能と調節			
	担当者（所属）	新敷　信人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基	PS-01-02-30, PS-01-04-09			

	準				
	講義資料番号/連番(LMS)				16
23.	2025/06/16(月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	ホルモン序論			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-04, PS-01-02-05, PS-01-02-06			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
24.	2025/06/16(月)	３時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	グループA：動物細胞からのDNAの抽出と検出、DNAを構成する塩基成分の分析/グループB：レポート作成			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,RE-01-01-02,RE-03-04-01,RE-04-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
25.	2025/06/16(月)	４時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	グループA：動物細胞からのDNAの抽出と検出、DNAを構成する塩基成分の分析/グループB：レポート作成			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人			

		中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,RE-01-01-02,RE-03-04-01,RE-04-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
26.	2025/06/16(月)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	グループA：動物細胞からのDNAの抽出と検出、DNAを構成する塩基成分の分析/グループB：レポート作成			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,RE-01-01-02,RE-03-04-01,RE-04-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
27.	2025/06/17(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	脂溶性ビタミン			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-34,[別表]疾患,PS-02-14-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
28.	2025/06/18(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40

	タイトル	水溶性ビタミン			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-34,[別表]疾患,PS-02-14-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
29.	2025/06/18(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	消化と吸収			
	担当者（所属）	新敷　信人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-02, PS-01-02-08, PS-01-02-27, PS-01-02-28, PS-01-02-29, PS-01-02-30			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
30.	2025/06/19(木)	３時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	グループB：動物細胞からのDNAの抽出と検出、DNAを構成する塩基成分の分析/グループA：（講義動画配信）血清脂質の成分分析			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,RE-01-01-02,RE-03-04-01,RE-04-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
31.	2025/06/19(木)	４時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05

	タイトル	グループB：動物細胞からのDNAの抽出と検出、DNAを構成する塩基成分の分析/グループA：（講義動画配信）血清脂質の成分分析			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,RE-01-01-02,RE-03-04-01,RE-04-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
32.	2025/06/19(木)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	グループB：動物細胞からのDNAの抽出と検出、DNAを構成する塩基成分の分析/グループA：（講義動画配信）血清脂質の成分分析			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,RE-01-01-02,RE-03-04-01,RE-04-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
33.	2025/06/20(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	生体における重要な化学反応I　ATPの関与する反応のしくみ			
	担当者（所属）	中村　裕子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基	PS-01-02-27			

	準				
	講義資料番号/連番(LMS)				21
34.	2025/06/20(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	生体における重要な化学反応II　酵素反応の種類としくみ			
	担当者（所属）	中村　裕子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-27			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
35.	2025/06/23(月)	３時限	実習	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	（講義動画配信）電気泳動によるヒト血清タンパク質の成分分析			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,RE-01-01-02,RE-03-04-01,RE-04-01-01,PS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2025/06/23(月)	４時限	実習	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	（講義動画配信）電気泳動によるヒト血清タンパク質の成分分析			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎			

		千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,RE-01-01-02,RE-03-04-01,RE-04-01-01,PS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2025/06/23(月)	５時限	実習	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	（講義動画配信）電気泳動によるヒト血清タンパク質の成分分析			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎 千村　崇彦 槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,RE-01-01-02,RE-03-04-01,RE-04-01-01,PS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2025/07/14(月)	１時限	試験	–	10：00-11：30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/302･303講義室			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				38
39.	2025/07/14(月)	２時限	試験	–	10:00-11:30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/302･303講義室			

	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				40
40.	2025/08/21(木)	１時限	追・再試験	–	10：00-11：30
	タイトル	追・再試験(10:00-11:30)/301講義室			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				39
41.	2025/08/21(木)	２時限	追・再試験	–	10:00-11:30
	タイトル	追・再試験(10:00-11:30)/301講義室			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				41

〔人体を構成する物質〕

科目責任者：中村　史雄（生化学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ.分子とは	1. 分子から見た生命	1) 人体の組成
		2) 生体分子の構造
		3) 化学結合と分子の形
		4) 分子間に働く力
	2. 分子のエネルギー	1) エンタルピーとエントロピー
		2) 化学反応とエネルギー
Ⅱ.栄養素	1. 栄養素	1) 糖質の栄養
		2) 脂質の栄養
		3) 蛋白質の栄養
	2. 食品群	
III.人体を構成する物質	1. タンパク質	1) アミノ酸
		a) 基本構造
		b) 側鎖の性質
		2) ペプチド結合
		3) タンパク質の基本構造
		a) 一～三次構造
		b) 四次構造（サブユニット）
		4) タンパク質の性質
		a) 溶解
		b) 荷電
		c) 変性
		5) タンパク質の折りたたみ構造（フォールディング）
		6) 可溶性タンパク質
		7) 膜タンパク質
		8) 生体における機能
	2. 糖質	1) 糖の構造と性質
		a) 単糖
		b) オリゴ糖
		c) グリコシド結合
		d) 多糖
		2) 糖タンパク質
		3) 生体における機能
	3. ヌクレオチド	1) ヌクレオシド
		2) ヌクレオチド
		3) 核酸
		a) DNA
		b) RNA

		4)　生体における機能
	4. 脂質	1)　脂肪酸
		2)　トリアシルグリセロール
		3)　グリセロリン脂質
		4)　コレステロール
		5)　糖脂質
		6)　生体における機能
	5. ビタミン	1)　脂溶性ビタミン
		a)　A
		b)　D
		c)　E
		d)　K
		2)　水溶性ビタミン
		a)　B群
		b)　C
	6. 無機イオンと微量元素	1)　多量元素
		a)　ナトリウム
		b)　カリウム
		c)　カルシウム
		d)　その他（塩素、リンなど）
		2)　微量金属元素
		a)　鉄
		b)　亜鉛
		c)　マグネシウム
		d)　その他（銅、コバルト）
IV. 消化と吸収	消化・吸収	1)　消化部位
		2)　消化酵素
		3)　吸収部位
		4)　経膜輸送
V.重要な化学反応	生体における重要な化学反応	1)　酸化・還元反応
		a)　脱水素反応
		b)　補酵素
		2)　転移反応
		a)　リン酸基転移反応
		b)　アミノ基転移反応
		3)　加水分解反応
		4)　脱離反応
		5)　異性化反応
		6)　合成反応

科目名

体液と生体の恒常性

科目責任者(所属)

松浦　勝久

到達目標

生体は、外部環境が変化した場合、刺激などにより生体で変化が生じた場合、あるいは、運動などをした場合などに、体の内部環境を一定範囲内に維持する機構を備えている。この機構を生体の恒常性（ホメオスタシス）という。この科目での第一の到達目標は、恒常性の意義と一般的なメカニズムを理解し、恒常性が保たれるさまざまな制御対象を挙げることができることである。第二は、調節の主要な対象が体液であることから、体液について、量、区分、組成、浸透圧、移動などの基本事項とそれらの調節機序を理解し、さらに、調節が崩れた場合の脱水・浮腫・補液について説明できることである。第三は、体液の電解質の機能に関して、酸塩基平衡・緩衝液についての化学的性質を理解をした上で、体液のpH 緩衝系を説明できることである。第四は、イオンの拡散・透過について、物理化学的性質を理解をした上で、細胞内外のイオン濃度勾配と細胞膜電位の成因を説明できることである。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

人体の正常な構造と機能を説明できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-①
人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-②
現象・事例から学ぶべきことを発見できる。	Ⅰ-2-A-(1-2)-①
事象、現象、観察などからその原因について考えられる。	Ⅰ-2-B-(1-2)-②
自分の考えを他者に伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(1-2)-①
学修上の目標を設定することができる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-①

学修（教育）方法

講義

評価方法
(1)総括的評価の対象

定期試験（筆記試験）の点数を科目の評価点とする。ただし、定期試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席が定期試験の受験資格として必要である。

評価方法
(2)評価項目

1)生体の恒常性維持と適応、恒常性維持のための調節機構（フィードバック調節）について理解している。	PS-01-02-19
2)生体機能や体内環境のリズム性変化について理解している。	PS-01-02-20
3)腎・尿路系の構造と機能について基本的事項を理解している。	PS-02-09-01
4)細胞内液・外液のイオン組成、及び浸透圧と（静止）膜電位の形成機構について理解している。	PS-01-02-01
5)細胞膜のイオンチャネル、ポンプ及び膜を介する物質の能動・受動輸送過程について理解している。	PS-01-02-02
6)主要症候(表5)について原因と病態生理を理解している。	CS-02-02-01

7)高温による障害（熱中症）、低温による障害（低体温症）の症候、主な検査・診断、治療法について理解している。	PS-03-05-10

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

形成的評価（最終成績には使用しないが、学生の成長のためのフィードバックとしての評価）は知識・技能・態度全般にわたって随時行うので、学修のヒントにしていただきたい。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『よくわかる酸塩基平衡』	北岡 建樹	永井書店 2007	9784815917777
2.	『水・電解質と酸塩基平衡：Step by stepで考える』	黒川清	南江堂 2004	9784524224227
3.	『酸塩基平衡、水・電解質が好きになる』	今井裕一	羊土社 2007	9784758106283
4.	『アトキンス物理化学　上』	Atkins,P	東京化学同人 2017	9784807909087
5.	『アトキンス物理化学　下』	Atkins,P	東京化学同人 2017	9784807909094
6.	『バーロー物理化学 上』	Barrow,GM	東京化学同人 1999	9784807905027
7.	『バーロー物理化学 下』	Barrow,GM	東京化学同人 1999	9784807905034
8.	『ボール物理化学　上』	Ball,DW	化学同人 2015	9784759817898
9.	『ボール物理化学　上』	Ball,DW	化学同人 2016	9784759817904
10.	『生物学と医学のための物理学』	Paul Davidovits	共立出版 2015	9784320035942
11.	『生命科学のための基礎化学(無機物理化学編)』	Bloomfield, Molly M.	丸善出版 1995	9784621040416
12.	『ガイトン生理学』	John E. Hall	エルゼビア・ジャパン 2018	9784860347741
13.	『Berne and Levy principles of physiology』	By Bruce M.他	Elsevier Mosby 2006	9780323847902
14.	『カラー基本生理学』	バーン, レヴィ	西村書店 2003	9784890133062

15.	『ギャノング生理学』	Ganong,WF	丸善出版 2022	9784621307083
16.	『標準生理学』	本間 研一	医学書院 2019	9784260034296
17.	『生理学テキスト』	大地陸男	文光堂 2022	9784830602313
18.	『人体機能生理学』	杉晴夫	南江堂 2009	9784524253647
19.	『オックスフォード生理学』	Gillian Pocock	丸善 2016	9784621300084
20.	『症例問題から学ぶ生理学』	Costanzo,LS	丸善 2018	9784621303504
21.	『一目でわかる血液ガス』	飯野靖彦	メディカルサイエンスインターナショナル 2013	9784895927314
22.	『身につく水・電解質と酸塩基平衡：症例満載!基礎から学ぶ臨床輸液』	大村健二	南江堂 2007	9784524242245
23.	『心臓・循環の生理学』	J Rodney Levick	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2011	9784895926898
24.	『コスタンゾ明解生理学』	Linda S. Costanzo	ELESEVIER 2024	9784860346881
25.	『からだがみえる』	安藤雄一、他	メディックメディア 2023	9784896328967
26.	『電解質輸液塾』	門川俊明	中外医学社 2020	9784498123519

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/05/22(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	科目の概要、ホメオスタシス、体液の区分と組成			
	担当者（所属）	松浦　勝久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基	PS-01-02-19,PS-01-02-20,PS-01-02-21,PS-01-02-36,,PS-02-09-01			

	準				
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/05/26(月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	血液ガス、酸と塩基			
	担当者（所属）	中村　佐和子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-07-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/05/27(火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	血液の酸塩基平衡１			
	担当者（所属）	中村　佐和子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-19,PS-02-07-01,PS-03-05-04,PS-02-09-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/05/28(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	血液の酸塩基平衡２			
	担当者（所属）	中村　佐和子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-03-05-04,PS-02-09-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				4

5.	2025/05/28 (水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	血液の酸塩基平衡３			
	担当者（所属）	中村　佐和子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-03-05-04,PS-02-09-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/05/30 (金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	拡散と浸透			
	担当者（所属）	山口　俊夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/06/03 (火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	浸透と浸透圧			
	担当者（所属）	中村　裕子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-01,PS-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/06/04 (水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	イオンの拡散と膜透過、イオン平衡			

	担当者（所属）	中村　裕子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-01,PS-01-02-03,PS-02-09-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2025/06/05(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	膜電位			
	担当者（所属）	松浦　勝久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-19,PS-02-09-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/06/05(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	Kイオンのホメオスタシス			
	担当者（所属）	松浦　勝久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-02-02-01,PS-03-05-04,PS-02-09-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2025/06/09(月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	Caイオンのホメオスタシス			
	担当者（所属）	中村　佐和子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-19,PS-02-09-05,PS-02-09-01,PS-02-14-05			

	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2025/06/10(火)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	細胞外液の調節1			
	担当者（所属）	中村　佐和子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-19,PS-01-02-01,PS-01-02-05,PS-02-09-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2025/06/10(火)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	細胞外液の調節2			
	担当者（所属）	中村　佐和子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-19,PS-01-02-01,PS-01-02-05,PS-02-09-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2025/06/19(木)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	脱水、浮腫、補液			
	担当者（所属）	松浦　勝久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2025/06/19(木)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35

	タイトル	体液間の物質交換と液体の移動			
	担当者（所属）	中村　佐和子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-09-01,PS-01-02-19,PS-01-02-12,PS-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2025/06/24(火)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	体温調節			
	担当者（所属）	青木　信奈子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-19,PS-03-05-10			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2025/07/16(水)	１時限	試験	–	10：00-11：30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/302･303講義室			
	担当者（所属）	松浦　勝久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2025/07/16(水)	２時限	試験	–	10：00-11：30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/302･303講義室			
	担当者（所属）	松浦　勝久			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2025/08/21(木)	３時限	追・再試験	–	13:00-14:30
	タイトル	追・再試験(13:00-14:30)/301講義室			
	担当者（所属）	松浦　勝久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2025/08/21(木)	４時限	追・再試験	–	13:00-14:30
	タイトル	追・再試験(13:00-14:30)/301講義室			
	担当者（所属）	松浦　勝久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				20

〔体液と生体の恒常性〕

科目責任者：松浦　勝久（薬理学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．水溶液	1. 酸と塩基	1）酸塩基平衡
		2）Brϕnsted の酸・塩基
		3）Henderson-Hasselbalch の式
	2. 血液ガスと酸塩基平衡	1）血液ガスと気体の溶解
		2）生体における炭酸水素塩緩衝系
		3）生体におけるその他の緩衝系
		4）アシドーシス、アルカローシスとは
		5）代償反応とは
Ⅱ．溶質溶媒の動きと膜	1. 拡散	1）拡散速度
		2）拡散係数
		3）拡散と化学ポテンシャル
	2. 浸透と浸透圧	1）浸透現象
		2）細胞体積
	3. イオンの拡散と透過	1）電気化学ポテンシャル
		2）濃度勾配
		3）電位勾配
		4）イオン平衡
		5）透過度
		6）コンダクタンス
	4. 膜電位	1）Nernst の式
		2）Donnan 平衡
		3）Goldman-Hodgkin-Katz の式
		4）静止膜電位
		5）ナトリウムポンプ
Ⅲ．体液の正常とその調節	1. 体液の区分と組成	1）体液区分
		2）電解質組成
		3）体液分布の決定因子
	2. 体液間の物質交換と液体の移動	1）栄養物およびその他の物質の交換
		2）細胞内液と細胞間液の浸透圧平衡
		3）血漿と間質液間の液体の移動
		4）間質液蛋白量の調節
		5）間質液圧の調節
	3. 細胞外液の調節	1）細胞外液量
		2）細胞外液の浸透圧

	4. 体液分布異常	1）脱水 2）浮腫 3）補液
Ⅳ．生体恒常性の維持機構	1. ホメオスタシス	1）恒常性 2）内部環境と外部環境 3）内部環境としての細胞外液 4）ホメオスタシス機構の例
	2. 身体の調節機構	1）神経性調節 2）液性調節 3）各調節機構に共通した特徴 4）制御理論 5）ネガティブフィードバック
	3. 体温調節	1）体熱の産生と拡散 2）温度受容器 3）体温中枢 4）発熱と高体温

科目名

細胞の基本機能

科目責任者(所属)

中村　史雄

到達目標

ヒトの体は約60兆個の細胞から成っている。この科目では、細胞を生命の単位としてとらえ、主な細胞機能のいくつかについて、その生命現象の意義との関連で理解する。
まず、細胞を外の環境と区別している細胞膜に焦点を当てる。生命は進化の過程で細胞膜に包まれた単位として地球上に発達してきた。生命体は外界から栄養素を吸収し、それを原料として細胞内で様々な生体物質を合成して機能を発揮し、老廃物を細胞外に排泄している。細胞膜の機能として物質の選択的透過性と種々の膜輸送系について輸送形式と輸送担体の両面から学習する。このような選択的な機能は、細胞内での物質の輸送は蓄積など、細胞膜や膜で包まれた小胞間での物質のやりとりによって支えられている。細胞膜が脂質でできた柔らかい構造をしていることから、細胞の構築のためには細胞骨格や、細胞間の接着を制御する仕組みが必要になり、これらがどのように働いて、細胞が運動を行うかも学ぶ。細胞は、栄養素の吸収以外に、細胞が正常に機能するために多くの基本的な機能を持っている。近年の細胞生物学的な研究によってこれらが明らかにされてきた。例えば、細胞内の蛋白質を蛍光蛋白質をタグとして、その動きや働きを追跡する技術などは生命科学全般に多用される。また、これらの機能を正常に実行するために、細胞は蛋白質の折りたたみ構造が正常に行われることを品質管理しつつ合成や分解を行っている。不要になった蛋白質を速やかに分解するプロテアソームや、栄養不足に陥った時に細胞の一部を消化して再利用するオートファジーなども細胞が持つ重要な機能であり、高学年で学ぶ疾患の基礎として理解しておいていただきたい。ほとんどの細胞は、このような基本機能を共通して持つ一方、高度に分化して特殊な機能を獲得することもある。細胞が受精卵から高度の分化するまでに、種々のレベルの分化度を呈するが、自己複製を行う幹細胞によって、細胞の集団の構成を調節する幹細胞の基本的な性質を学ぶ。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

人体の正常な構造と機能を説明できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-①
人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-②
既知と未知の問題を明らかにできる。	Ⅰ-2-C-(1-2)-①
医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる。	Ⅰ-2-C-(1-2)-②
仮説を証明する手順を説明できる。	Ⅰ-3-A-(1-2)-②
現象の原因・機序を検索できる。	Ⅰ-5-A-(1-2)-①
学修のための時間を適切に自己管理できる。	Ⅱ-2-C-(1-2)-②

学修（教育）方法

講義

評価方法
(1)総括的評価の対象

定期試験（筆記試験）の点数を科目の評価点とする。ただし、定期試験を受けるには当該試験の授業に3分の2以上の出席が定期試験の受験資格として必要である。

評価方法
(2)評価項目

細胞の観察法について概要を理解している。	PS-01-01-01

細胞の全体像を図示できる。	PS-01-01-02
核とリボソーム、小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系、ミトコンドリア、葉緑体、細胞骨格の種類とその構造と機能について概要を理解している。	PS-01-01-03
細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式について概要を理解している。	PS-01-01-04
染色体の構造を理解し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動について理解している。	PS-01-01-08
細胞内液・外液のイオン組成、及び浸透圧と（静止）膜電位の形成機構について理解している。	PS-01-02-01
細胞膜のイオンチャネル、ポンプ及び膜を介する物質の能動・受動輸送過程について理解している。	PS-01-02-02
受容体の種類・細胞内局在・機能、受容体による細胞内シグナル伝達過程について理解している。	PS-01-02-05
細胞骨格を構成するタンパク質とその機能、アクチンフィラメント系による細胞運動について概要を理解している。	PS-01-02-07
細胞膜を介する分泌と吸収の過程と細胞内輸送システム、微小管の役割や機能について理解している。	PS-01-02-08
配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像、胚内体腔の形成過程について概要を理解している。	PS-01-02-22
タンパク質の構造、代謝と調節、生理的意義、主要なアミノ酸の代謝、尿素回路を理解している。	PS-01-02-29
酸化ストレス（フリーラジカル、活性酸素）について概要を理解している。	PS-01-02-33
空腹時、飢餓時、食後、過食時と運動時における代謝について理解している。	PS-01-02-36
がんの原因や遺伝子変化について概要を理解している。	PS-01-04-20
老化に伴う臓器や身体機能の変化、それに伴う生理的変化、老化機構について理解している。	GE-03-05-01

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上、80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

形成的評価（最終成績には使用しないが、学生の成長のためのフィードバックとしての評価）は知識・技能・態度全般にわたって随時行うので、学修のヒントにしていただきたい。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『ストライヤー生化学』	Berg JM	東京化学同人 2018	9784807909292
2.	『イラストレイテッド ハーパー・生化学』	Rodwell V W	丸善出版 2024	9784621310236
3.	『Molecular biology of the cell』	Alberts B	W. W. Norton & Company 2022	9780393884821

4.	『細胞の分子生物学』	Alberts B	ニュートンプレス 2017	9784315520620
5.	『Essential細胞生物学』	Alberts B	南江堂 2021	9784524226825
6.	『医学のための細胞生物学』	永田和宏	南山堂 2009	9784525131210
7.	『分子細胞生物学辞典』	村松正実	東京化学同人 2008	9784807906871
8.	『標準生理学』	河合康明	医学書院 2019	9784260034296
9.	『人体機能生理学』	杉晴夫	南江堂 2009	9784524253647
10.	『好きになる生物学』	吉田邦久	講談社 2012	9784061541788
11.	『カラー図説 細胞周期：細胞増殖の制御メカニズム』	Morgan D O	メディカルサイエンスインターナショナル 2008	9784895925587

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/06/24 (火)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	科目の概要			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-03,PS-01-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/06/24 (火)	５時限	講義	講義室 301	15:15-16:25

	タイトル	細胞膜の基本機能			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-02,PS-01-01-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/06/25(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	膜輸送１：受動輸送			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-01,PS-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/06/25(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	膜輸送２：能動輸送			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-01,PS-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2025/06/26(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	小胞輸送１：種類と役割			
	担当者（所属）	田邊　賢司			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-03,PS-01-02-02,PS-01-02-08			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/06/26(木)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	小胞輸送２：被覆タンパク質			
	担当者（所属）	田邊　賢司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-02,PS-01-02-05,PS-01-02-08			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/06/26(木)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	小胞輸送３：細胞骨格・モータータンパク質			
	担当者（所属）	田邊　賢司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-02,PS-01-02-05,PS-01-02-08			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/06/26(木)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	小胞輸送４：低分子量GTPase			
	担当者（所属）	田邊　賢司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-02,PS-01-02-05,PS-01-02-08			
	講義資料番号/連番(LMS)				8

9.	2025/06/27 (金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	タンパク質の品質管理			
	担当者（所属）	中村　佐和子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-29			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/06/27 (金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	オートファジーとプロテアソーム			
	担当者（所属）	出嶋　克史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-29, PS-01-02-36			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2025/06/30 (月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	細胞骨格１：微小管			
	担当者（所属）	槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-03,PS-01-02-07			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2025/06/30 (月)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	細胞骨格２：アクチンフィラメント、中間径フィラメント			

	担当者（所属）	槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-03,PS-01-02-07			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2025/06/30(月)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	細胞－細胞間接着			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-04,PS-01-02-07			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2025/06/30(月)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	細胞－基質間接着			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-04,PS-01-02-07			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2025/06/30(月)	５時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	細胞分裂１：細胞分裂と細胞分化			
	担当者（所属）	槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01,PS-01-01-04,PS01-01-08,PS-01-04-20			

	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2025/07/01(火)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	細胞分裂２：がん			
	担当者（所属）	出口　敦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01,PS-01-01-04,PS01-01-08,PS-01-04-20			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2025/07/01(火)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	幹細胞			
	担当者（所属）	槇原　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01,PS-01-01-04,PS-01-01-08,PS-01-04-20			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2025/07/01(火)	５時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	老化とアポトーシス			
	担当者（所属）	中村　佐和子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-03-05-01,PS-01-02-33			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2025/07/02(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40

	タイトル	細胞機能研究法			
	担当者（所属）	出嶋　克史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-01,PS-01-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2025/07/18(金)	１時限	試験	–	10：00-11：30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/302･303講義室			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2025/07/18(金)	２時限	試験	–	10：00-11：30
	タイトル	本試験(10：00-11：30)/302･303講義室			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2025/08/22(金)	１時限	追･再試験	–	10：00-11：30
	タイトル	追･再試験(10：00-11：30)/301講義室			
	担当者（所属）	中村　史雄			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2025/08/22(金)	２時限	追･再試験	–	10：00-11：30
	タイトル	追･再試験(10：00-11：30)/301講義室			
	担当者（所属）	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				23

〔細胞の基本機能〕

科目責任者：中村　史雄（生化学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．膜輸送	1．生体膜の構造	1）脂質二重層
		2）流動性
		3）膜タンパク質
	2．受動輸送	
	a．単純拡散	1）ガス透過
		2）チャネル、担体
		a）電位依存性
		b）リガンド依存性
	b．促進拡散	1）共輸送
		a）Na^{+}-グルコース共輸送
		b）Na^{+}-アミノ酸共輸送
		2）逆輸送
		a）Cl^{-}-HCO_3^{-}逆輸送
		b）Na^{+}-Ca^{2+}逆輸送
	3．能動輸送	1）ポンプ（ATPase）
		a）Na^{+}、K^{+}-ATPase
		b）Ca^{2+}-ATPase
		c）H^{+}、K^{+}-ATPase
Ⅱ．細胞骨格と細胞運動	1．細胞接着	1）細胞―細胞間接着
		a）密着結合
		b）アドヘレンス結合
		c）デスモソーム
		d）ギャップ結合
		2）細胞―基質間接着
		a）アドヘレンス結合
		b）ヘミデスモソーム
	2．細胞骨格	1）細胞骨格タンパク質
		a）微小管
		b）ミクロフィラメント
		c）中間径フィラメント
		2）膜骨格
		a）スペクトリン（フォドリン）
		b）4.1 タンパク質
		c）アンキリン
	3．細胞外マトリックス	1）主なタンパク質
		a）コラーゲン
		b）エラスチン
	4．筋収縮	1）収縮タンパク質

		a）アクチン b）ミオシン c）トロポニン d）トロポミオシン 2）調節因子 a）カルモジュリン b）ミオシン軽鎖キナーゼ c）Ca^{2+} d）ATP 3）滑走説
	5．細胞運動性	1）走化性、アメーバ運動 a）刺激因子 b）濃度勾配 c）ゲルーゾル変換 d）架橋因子 e）末端因子 2）細胞運動 a）アクチンフィラメント 3）細胞突起の形状と伸長 a）葉状仮足 b）成長円錐 4）線毛運動、鞭毛運動 a）チュブリン b）ダイニン c）二連微小管 d）9＋2 構造 e）滑り
Ⅲ．小胞輸送	1．小胞輸送	1）エンドサイトーシス／エキソサイトーシス 2）被覆タンパク質 a）コートマー b）クラスリン 3）細胞骨格・モータータンパク質 a）アクチン・チューブリン b）ミオシンキネシン・ダイニン 4）低分子量GTPase a）Arf b）Rab c）Rho
Ⅳ．細胞機能研究法	1．蛍光蛋白質を使ったｾﾝｻｰ	1）蛍光蛋白質の基本的な性質 a）励起波長特性 b）蛍光波長特性 2）蛍光蛋白質の組合せ 3）蛍光蛋白質の融合

		4) 蛍光共鳴エネルギー移動(FRET) 5) 光褪色後蛍光回復法(FRAP)
V. 細胞構成物質の品質管理と分解・再利用	1. 小胞体での蛋白質品質管理	1) 膜蛋白質の合成と分泌経路 2) シグナル配列 3) 分泌蛋白質の糖付加と不全蛋白質応答 a) オリゴ糖転移酵素 b) BiP c) PDI d) ERAD
	2. プロテアソーム	1) ユビキチン 2) 細胞周期 3) 免疫 4) N-end rule
	3. オートファジー	1) オートファゴソーム 2) Atg蛋白質 3) 飢餓応答 4) mTOR複合体 5) 非選択的タンパク質分解 6) ファゴサイトーシス
	4. 細胞老化	1) テロメア 2) 細胞周期 3) SASP因子 4) がん
VI. 幹細胞の性質	1. 細胞分化	1) 細胞分化の時系列 a) 細胞系譜 b) 造血幹細胞
	2. 多分化能	1) 細胞の分化 a) 多能性幹細胞 b) 自己複製 c) 不均等分裂 d) 微小環境 e) 細胞間相互作用
	3. リプログラミング	1) iPS細胞

選 択 必 修 科 目

選択必修科目履修要領

1. 本学の選択必修科目として、ベーシック物理、ベーシック化学、ベーシック生物の３科目をおく。これらのうち、高校で十分に履修しなかった理科の科目から１科目を選択し、必ず受講しなければならない。

2. 上記科目は、4月14（月）から4月28日（月）まで開講される。新入生オリエンテーション時に、科目の履修に関する説明および履修登録に関する説明を行う。

3. 選択必修科目は履修登録が必要である。新入生オリエンテーション時の説明に従い、指定の締切日までに履修登録を行うこと。

4. 選択必修科目の成績は及落判定の対象とする。

科目名（担当責任者）	科目コード
ベーシック物理（辻野）	１５０００１
ベーシック化学（中村）	１５０００２
ベーシック生物（石井）	１５０００３

科目名

ベーシック物理

科目責任者(所属)

辻野　賢治

到達目標

身体の仕組みや検査機器の原理などを理解するためには、物理的な知識や考え方が基礎として欠かせない。単に知識を暗記するのではなく、論理的に考え、討論できる力を養うため、授業においても「なぜ？」と考える態度を習慣づけていく。また、予習・復習を怠らず、主体的に学修に取り組む姿勢を重視する。高校で物理（または物理Ⅱ）を履修しなかった学生には必修とする。

（到達目標）

1. 医学を学ぶために必要な物理の基礎知識を身に付ける。

2. 物理の知識を用いて論理的に考え討論できる力を養う。

3. 主体的に学修に取り組む姿勢を身に付ける。

4. 身の回りの物理現象に目を向ける。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

現象・事例から学ぶべきことを発見できる。	Ⅰ-2-A-(1-2)-①
事象、現象、観察などからその原因について考えられる。	Ⅰ-2-B-(1-2)-②
既知と未知の問題を明らかにできる。	Ⅰ-2-C-(1-2)-①
問題解決のための情報収集ができる。	Ⅰ-3-A-(1-2)-①

学修（教育）方法

講義

評価方法
(1)総括的評価の対象

上記の評価項目について、授業への参加度・提出物を10%、筆記試験の成績を90%として評価する。ただし、筆記試験を受けるには当該科目の授業に３分の２以上の出席が筆記試験の受験資格として必要である。

評価方法
(2)評価項目

1) エネルギーの定義と単位、エネルギー保存則について説明できる。熱と温度について理解する。
2) 音の波長・振動数、音速、および、ドップラー効果（音の反射の場合）を理解している。

3) 反射と屈折について説明できる。組合せレンズの実像・虚像について説明できる。干渉について説明できる。
4) 電場、電位について説明できる。電位の基準について理解している。コンデンサーとは何かを説明できる。
5) コンデンサーを含む回路について、電流や電圧の振る舞いを説明できる。電力、電力量、ジュール熱について説明できる。
6) 磁化とはなにか説明できる。磁場、磁束密度について説明できる。電流がつくる磁場について説明できる。電流が磁場から受ける力、ローレンツ力について説明できる。
7) 電磁誘導について説明できる。渦電流について説明できる。電磁波の利用について、周波数の観点から理解している。
8) 光子のエネルギーの大小について説明できる。電子にも波動性があることを理解する。X線の発生方法を説明できる。
9) 原子の構造を概説できる。原子による、光子の吸収・放出を説明できる。放射線の種類、単位、利用について理解する。
10) 物理学の最新研究や応用技術について知見を得る。

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

予習・復習を積極的に行うことが望まれる。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『自然科学の基礎としての物理学』	原　康夫	学術図書出版社 2014	9784780602005
2.	『物理学入門』	原　康夫	学術図書出版社 2015	9784780605006
3.	『新物理学：シップマン自然科学入門』	Shipman, JT	学術図書出版社 2002	9784873619309
4.	『医療系のための物理学入門』	木下　順二	講談社 2017	9784061563254
5.	『リメディアル・フィジックス　1　力と運動』	メディア教育開発センター	放送大学教育振興会 2004	
6.	『リメディアル・フィジックス　2　熱とエネルギー／電子・原子』	メディア教育開発センター	放送大学教育振興会 2004	
7.	『リメディアル・フィジックス　3　波』	メディア教育開発センター	放送大学教育振興会	

			2004	
8.	『リメディアル・フィジックス　４　電磁気』	メディア教育開発センター	放送大学教育振興会	
			2004	

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/04/11 (金)	４時限	選択必修科目	－	13:55-15:05
	タイトル	自然科学学識調査(PC室1）※(調査(テスト)のため、収録配信なし)			
	担当者（所属）	中村　裕子 辻野　賢治 石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/04/11 (金)	５時限	選択必修科目	－	15:15-16:25
	タイトル	自然科学学識調査(PC室1）※(調査(テスト)のため、収録配信なし)			
	担当者（所属）	中村　裕子 辻野　賢治 石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				2

3.	2025/04/11 (金)	６時限	選択必修科目	–	16:35-17:45
	タイトル	自然科学学識調査(PC室1）※(調査(テスト)のため、収録配信なし)			
	担当者（所属）	中村　裕子 辻野　賢治 石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/04/14 (月)	４時限	選択必修科目	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	エネルギー			
	担当者（所属）	山口　俊夫 辻野　賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2025/04/14 (月)	５時限	選択必修科目	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	音の性質			
	担当者（所属）	山口　俊夫 辻野　賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/04/14 (月)	６時限	選択必修科目	講義室 301	16:35-17:45
	タイトル	光の性質			

	担当者（所属）	山口　俊夫 辻野　賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/04/17(木)	４時限	選択必修科目	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	電場と電位			
	担当者（所属）	山口　俊夫 辻野　賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/04/17(木)	５時限	選択必修科目	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	電流			
	担当者（所属）	山口　俊夫 辻野　賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2025/04/17(木)	６時限	選択必修科目	講義室 301	16:35-17:45
	タイトル	電流と磁場			
	担当者（所属）	山口　俊夫 辻野　賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/04/21(月)	４時限	選択必修科目	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	電磁誘導と電磁波			
	担当者（所属）	山口　俊夫 辻野　賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2025/04/21(月)	５時限	選択必修科目	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	電子と光			
	担当者（所属）	山口　俊夫 辻野　賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2025/04/21(月)	６時限	選択必修科目	講義室 301	16:35-17:45
	タイトル	原子と原子核			
	担当者（所属）	山口　俊夫 辻野　賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2025/04/24(木)	４時限	選択必修科目	講義室 301	13:55-15:05

	タイトル	まとめと演習			
	担当者（所属）	山口　俊夫 辻野　賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2025/04/24(木)	５時限	選択必修科目	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	物理が拓く未来			
	担当者（所属）	山口　俊夫 辻野　賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2025/04/28(月)	６時限	選択必修科目	–	16:35-17:45
	タイトル	試験(301講義室）※試験のため、収録・配信なし			
	担当者（所属）	山口　俊夫 辻野　賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				15

選択必修　ベーシック物理

科目責任者　辻野　賢治　統合教育学修センター　基礎科学（物理学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ.エネルギー	1.仕事とエネルギー	1)エネルギーの単位 2)エネルギーの保存則
	2.熱とエネルギー	1)熱と温度
Ⅱ．波	1.音の性質	1)音の波長・振動数、音速 2)ドップラー効果
	2.光の性質	1)反射と屈折 2)レンズの組合せ 3)光の干渉
Ⅲ.電気と磁気	1.電場と電位	1)電場と電位 2)コンデンサー
	2.電流	1)コンデンサーを含む回路 2)電力、電力量、ジュール熱
	3.電流と磁場	1)磁化 2)磁場と磁束密度 3)電流がつくる磁場 4)電流が磁場から受ける力、ローレンツ力
	4.電磁誘導と電磁波	1)電磁誘導 2)渦電流 3)電磁波の利用
Ⅳ.原子	1.電子と光	1)光子のエネルギー 2)電子の波動性 3)X線の発生
	2.原子と原子核	1)原子のスペクトルと原子の構造 2)放射線
Ⅴ．物理の拓く未来	1.最新の物理学研究・応用技術	1)事例紹介

科目名

ベーシック化学

科目責任者(所属)

中村　裕子

到達目標

化学は、私達をとりまく物質の構造や性質、機能を明らかにする学問であり、身近な現象に密接に関連している。生命は数多くの物質によって成り立っており、医学の基礎となる生命科学を学ぶためには、「物質を学ぶ学問」である化学を十分に習得し、原子・分子の視点から見た、生命をつかさどる法則を知る必要がある。そこで、まず生体分子の構造を視覚的、立体的に理解するとともに、分子内の官能基によって発現する物質の様々な性質について学ぶ。次にそれらの分子がどのように生体内で反応していくのかを理解するための基本法則を学ぶ。今後生命科学を学ぶための基礎を身に付けることを目的としており、高校化学の履修が不十分な点を補い、統合カリキュラムへの橋渡しを行う講義である。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

仮説を導くことができる。	Ⅰ-2-B-(1-2)-①
自分の考えを他者に伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(1-2)-①
簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-①
現象の原因・機序を検索できる。	Ⅰ-5-A-(1-2)-①
学修上の目標を設定することができる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-①
学修のための時間を適切に自己管理できる。	Ⅱ-2-C-(1-2)-②
真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-②

学修（教育）方法

講義

評価方法
(1)総括的評価の対象

2/3以上の出席が必須である。最終日の筆記試験の結果を70%、出席と授業中の参加度に対する評価を30%で評価する。

評価方法
(2)評価項目

原子、分子、化合物の概念を説明できる。	LL-01-01-01,LL-02-01-01,GE-01-04-04
人体を構成する物質の基本構造と官能基による性質を説明できる。	
気体の性質、気体の液体への溶解の基本を説明できる。	
溶液の濃度、酸と塩基の概念が説明できる。	
化学反応の基礎的な概念（化学平衡、反応速度、反応熱）が説明できる。	
生体内で起こる反応の基礎について理解できる。	

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%

以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

授業はグループ学修の形式で進めるので、積極的に参加することが望まれる。未習得のことがあれば、理解できるまで質問や議論をすることが大切である。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『高等学校改訂化学基礎』	竹内敬人	東京書籍 2018	
2.	『高等学校改訂化学』	竹内敬人	東京書籍 2018	
3.	『バイオサイエンス化学：生命から学ぶ化学の基礎』	新井孝夫	東京化学同人 2003	
4.	『ライフサイエンス基礎化学』	青島均	化学同人 2000	4759808620
5.	『化学反応のしくみ（高校からの化学入門3）』	竹内敬人	岩波書店 2000	4000066838
6.	『マクマリー生物有機化学　生化学編』	McMurry, J	丸善 2014	9784621087718
7.	『マクマリー生物有機化学　有機化学編』	McMurry, J	丸善 2014	9784621088081
8.	『レーニンジャーの新生化学　上』	Lehninger, A L	広川書店 2019	9784567244060,9784567244077

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間

1.	2025/04/11 (金)	４時限	選択必修科目	–	13:55-15:05
	タイトル	自然科学学識調査/PC室1※(調査(テスト)のため、収録配信なし)			
	担当者（所属）	中村　裕子 辻野　賢治 石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/04/11 (金)	５時限	選択必修科目	–	15:15-16:25
	タイトル	自然科学学識調査/PC室1※(調査(テスト)のため、収録配信なし)			
	担当者（所属）	中村　裕子 辻野　賢治 石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/04/11 (金)	６時限	選択必修科目	–	16:35-17:45
	タイトル	自然科学学識調査/PC室1※(調査(テスト)のため、収録配信なし)			
	担当者（所属）	中村　裕子 辻野　賢治 石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/04/14 (月)	４時限	選択必修科目	テュートリアル室29	13:55-15:05

				テュートリアル室30	
	タイトル	原子と分子 簡単な化合物の構造（炭素骨格）			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2025/04/14(月)	５時限	選択必修科目	テュートリアル室29 テュートリアル室30	15:15-16:25
	タイトル	化学結合			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/04/14(月)	６時限	選択必修科目	テュートリアル室29 テュートリアル室30	16:35-17:45
	タイトル	アミノ酸、タンパク質の官能基の構造とその性質			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/04/17(木)	４時限	選択必修科目	テュートリアル室29	13:55-15:05

				テュートリアル室30	
	タイトル	脂肪酸、トリアシルグリセロールの官能基の構造とその性質			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/04/17(木)	５時限	選択必修科目	テュートリアル室29 テュートリアル室30	15:15-16:25
	タイトル	糖質分子中の官能基の構造とその性質			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2025/04/17(木)	６時限	選択必修科目	テュートリアル室29 テュートリアル室30	16:35-17:45
	タイトル	核酸			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/04/21(月)	４時限	選択必修科目	テュートリアル室29	13:55-15:05

				テュートリアル室30	
	タイトル	化学反応と熱			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2025/04/21(月)	５時限	選択必修科目	テュートリアル室29 テュートリアル室30	15:15-16:25
	タイトル	化学平衡			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2025/04/21(月)	６時限	選択必修科目	テュートリアル室29 テュートリアル室30	16:35-17:45
	タイトル	酸塩基平衡			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2025/04/24(木)	４時限	選択必修科目	テュートリアル室29	13:55-15:05

				テュートリアル室30	
	タイトル	反応速度、気体の性質と気体の液体に対する溶解			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2025/04/24(木)	５時限	選択必修科目	テュートリアル室29 テュートリアル室30	15:15-16:25
	タイトル	生体内反応の基礎となる反応			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2025/04/28(月)	６時限	選択必修科目	テュートリアル室29 テュートリアル室30	16:35-17:45
	タイトル	理解度チェック試験、解説			
	担当者（所属）	中村　裕子 越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				15

選択必修　ベーシック化学

責任者　中村　裕子　統合教育学修センター基礎科学（化学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ原子と分子	1.原子と分子	1)原子、分子の成り立ち
		2)原子、分子の形
Ⅱ化合物の構造	1.炭素骨格	1)分子模型による炭素骨格の組み立て
	2.化学結合	1)共有結合
		2)分子間力
		3)水素結合
Ⅲ生体内物質の官能基の構造と性質	1.アミノ酸とタンパク質	1)アミノ基の塩基性
		2)カルボキシ基の酸性
	2.脂肪酸とトリアシルグリセロール	1)エステル結合の生成
		2)エステル結合の加水分解
	3.糖質	1)ヒドロキシ基
		2)カルボニル基
Ⅳ生体物質における異性体	1.異性体の種類	1)アミノ酸における光学異性体
		2)脂肪酸における幾何異性体
		3)単糖における光学異性体および配座異性体
Ⅴ気体の性質	1.気体の体積と温度、圧力の関係	1)ボイルシャルルの法則
		2)気体の状態方程式
	2.液体への溶解	1)ヘンリーの法則
Ⅵ溶液の性質	1.溶液の濃度	1)モルの概念
		2)モル濃度
	2.酸と塩基	1)酸性
		2)塩基性
		3)pHの考え方
Ⅶ化学反応の基礎	1.化学平衡	1)化学平衡の概念
		2)酸塩基平衡
		3)平衡の移動
		4)緩衝作用
	2.化学反応と熱	1)反応熱
		2)熱化学方程式
		3)ヘスの法則
	3.反応速度	1)反応速度
		2)活性化エネルギー
		3)触媒
Ⅷ生体内反応	1.エステル化	1)エステル化反応の起こり方
	2.加水分解	1)加水分解反応の起こり方
	3.酸化還元反応	1)金属のイオン化傾向
		2)電池の原理
		3)酸化還元電位

科目名
ベーシック生物
科目責任者(所属)
石井　泰雄

到達目標
本科目は、高校で生物を十分に学んでいない学生を対象に、基礎的な生物学の知識を習得することを目的としている。「細胞の構造と機能」、「エネルギーと代謝」、「遺伝子とそのはたらき」、「ヒトのからだの構造と機能」を主要なテーマとして取り上げ、基礎医学を学ぶための土台を築く。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
人体の正常な構造と機能を説明できる。	I-1-A-(1-2)-1
真摯に学びを励行できる。	II-2-D-(1-2)-2

学修（教育）方法
講義

評価方法 (1)総括的評価の対象
最終日に行う理解度チェックテスト(筆記試験)の点数をもとに科目の評価点を算出する。基準に達しなかった学生については、補講と再テストを行い、それらの結果も勘案した上で総括的評価とする。

評価方法 (2)評価項目	
1）細胞の構造と機能の概略を説明できる	PS-01-01-02
2）ATP産生のしくみの概略を説明できる	PS-01-02-27,PS-01-02-28
3）遺伝のしくみの概略を説明できる	PS-01-01-06,PS-01-01-07,PS-01-01-08
4）DNAの構造・複製・遺伝子発現の概略を説明できる	PS-01-01-09
5）各臓器の構成、機能と位置関係の概略を説明できる	PS-02-03-01,PS-02-04-01,PS-02-06-01,PS-02-07-01,PS-02-08-01,PS-02-09-01,PS-02-10-01,PS-02-14-01
6) 恒常性を維持するための情報伝達と生体防御の概略を説明できる	PS-01-03-18
7) 染色体の構造、体細胞分裂と減数分裂の概要が説明できる	PS-01-01-08

評価方法 (3)評価基準
上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

事前学習: 講義資料を事前に読み、内容を把握した上で講義に臨むこと。
事後学習: 講義復習テストに取り組み、参考図書などを活用して復習を行うこと。

伝達事項

教科書は特に指定しない。各自の理解度や興味に合った参考図書を用意し 、自己学修に活用すること。以下は参考図書の例である。不明な点があれば、遠慮なく質問すること。質問はメールのほか、直接訪問していただいても構わない(可能であれば事前にご連絡ください)。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『エッセンシャル　キャンベル生物学　』	Eric J.Simon	丸善 2016	9784621300992
2.	『スター生物学』	Starr, C	東京化学同人 2013	9784807908363
3.	『基礎から学ぶ生物学・細胞生物学』	和田勝	羊土社 2015	9784758120654
4.	『ビジュアルコア生物学』	Eric J.Simon	東京化学同人 2019	9784807909568
5.	『ヒトを理解するための 生物学』	八杉 貞雄	裳華房 2013	9784785352264
6.	『ワークブック ヒトの生物学』	八杉 貞雄	裳華房 2014	9784785358617
7.	『大学で学ぶ身近な生物学』	吉村成弘	羊土社 2015	9784758120609
8.	『みんなの生命科学』	北口哲也	化学同人 2016	9784759818116
9.	『大学生のための考えて学ぶ基礎生物学』	堂本光子	共立出版 2015	9784320057753
10.	『細胞生物学　カラー図解アメリカ版大学生物学の教科書　1　（ブルーバックス B-1672)』	Sadava, DE	講談社 2010	9784062576727
11.	『分子遺伝学　カラー図解アメリカ版大学生物学の教科書　2　（ブルーバックス B-1673)』	Sadava, DE	講談社 2010	9784062576734
12.	『分子生物学　カラー図解アメリカ版大学生物学の教科書　3　（ブルーバックス B-1674)』	Sadava, DE	講談社 2010	9784062576741
13.	『カラー図解 人体の正常構造と機能 全10巻縮刷版』	坂井 建雄	日本医事新報社 2021	9784784931811
14.	『高等学校「生物基礎」および「生物」』		各社	

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/04/11(金)	４時限	選択必修科目	–	13:55-15:05
	タイトル	自然科学学識調査/PC室1※(調査(テスト)のため、収録配信なし)			
	担当者（所属）	中村　裕子 辻野　賢治 石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/04/11(金)	５時限	選択必修科目	–	15:15-16:25
	タイトル	自然科学学識調査/PC室1※(調査(テスト)のため、収録配信なし)			
	担当者（所属）	中村　裕子 辻野　賢治 石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/04/11(金)	６時限	選択必修科目	–	16:35-17:45
	タイトル	自然科学学識調査/PC室1※(調査(テスト)のため、収録配信なし)			
	担当者（所属）	中村　裕子 辻野　賢治 石井　泰雄			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/04/14(月)	４時限	選択必修科目	講義室 302	13:55-15:05
	タイトル	科目の概要/細胞			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2025/04/14(月)	５時限	選択必修科目	講義室 302	15:15-16:25
	タイトル	体細胞分裂と減数分裂			
	担当者（所属）	浦瀬　香子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-08			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/04/14(月)	６時限	選択必修科目	講義室 302	16:35-17:45
	タイトル	遺伝の法則			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-06,PS-01-01-07,PS-01-01-08			
	講義資料番号/連番(LMS)				6

7.	2025/04/17 (木)	４時限	選択必修科目	講義室 302	13:55-15:05
	タイトル	ＤＮＡ			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/04/17 (木)	５時限	選択必修科目	講義室 302	15:15-16:25
	タイトル	遺伝情報の流れ(1)			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2025/04/17 (木)	６時限	選択必修科目	講義室 302	16:35-17:45
	タイトル	遺伝情報の流れ(2)/生物とエネルギー(1)			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-01-09			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/04/21 (月)	４時限	選択必修科目	講義室 302	13:55-15:05
	タイトル	生物とエネルギー(2)			

	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-27,PS-01-02-28			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2025/04/21(月)	５時限	選択必修科目	講義室 302	15:15-16:25
	タイトル	ヒトのからだ (1)			
	担当者（所属）	浦瀬　香子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10,PS-02-06-01,PS-02-07-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2025/04/21(月)	６時限	選択必修科目	講義室 302	16:35-17:45
	タイトル	ヒトのからだ (2)			
	担当者（所属）	浦瀬　香子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-02-08-01,PS-02-09-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2025/04/24(木)	４時限	選択必修科目	講義室 302	13:55-15:05
	タイトル	ヒトのからだ (3)			
	担当者（所属）	浦瀬　香子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-02-10,PS-02-10-01,PS-02-14-01			

	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2025/04/24(木)	５時限	選択必修科目	講義室 302	15:15-16:25
	タイトル	からだを守るしくみ・まとめ			
	担当者（所属）	石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PS-01-03-18			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2025/04/28(月)	６時限	選択必修科目	–	16:35-17:45
	タイトル	理解度チェック・解説/302講義室			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				15

選択必修　ベーシック生物

責任者　石井　泰雄　統合教育学修センター基礎科学（生物学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ.細胞	1.細胞と細胞小器官	1)細胞とは 2)主な細胞小器官の名称と形/構造
	2.細胞分裂	1)染色体 2)細胞周期 3)体細胞分裂、減数分裂
Ⅱ.遺伝と遺伝子	1.遺伝の法則	1)有性生殖と無性生殖 2)メンデルの法則
	2.DNAの構造と複製	1)DNA、二重らせん、塩基対 2)半保存的複製
	3.タンパク質合成	1)転写、RNA、遺伝暗号、コドン、翻訳、突然変異 2)タンパク質の構造と働き
Ⅲ.代謝	1.エネルギー代謝	1)酵素、ATP、ミトコンドリア、ATP 合成
Ⅳ.人体の構造と機能	1.細胞と組織	1)細胞の集団／器官／個体 2)四大組織/上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織
	2.器官系	1)循環器系 2)呼吸器系 3)消化器系 4)泌尿器系 5)内分泌系 6)生殖器系
Ⅴ.免疫	1.免疫系	1)自然免疫と獲得免疫 2)免疫細胞 3)体液性免疫と細胞性免疫 4)免疫記憶

縦 断 教 育 科 目

科目名
AI・データサイエンスと医療
科目責任者(所属)
赤川　浩之

到達目標
医療に関わる各種情報を効果的に活用するために、パーソナルコンピュータの利用を中心にした情報の収集・整理・統合・分析・選択・検索・発信・提示の実際を学修する。また医学データの処理方法としての統計的手法、および簡単なスクリプトプログラミングの基礎を学ぶ。 この学修では、これからの6年間にわたる医学を学ぶ過程において必要な情報処理の基本知識と、卒後さまざまな形で活躍するために必要な臨床、研究のために要求されるIT技術を身に付けることを目的としている。講義では、はじめにコンピュータの操作に関する基礎の解説と、ネットワークの利用に伴う倫理的な問題、および正しい利用法を説明する。加えて、コンピュータによる医療データ処理の一環として、ビッグデータの扱いと簡単なスクリプトプログラミング手法、および統計的解析によるデータの解釈についても解説し、最終的には近年医療への応用が始まったAIについての基本的な知識と応用例についても説明する。 同時に、実際にパーソナルコンピュータを操作しつつ具体例を元にして学修を進める。まずは情報検索のためのインターネット利用、メール利用（webメール）を習得し、クラウドサービスを用いたIT技術活用の基礎を身につける。その後、スクリプティングによるコンピュータの効率的な運用や、AIによるサポートを利用した情報解析についても実践を行い、今後ますます加速すると考えられる医療へのIT技術応用に対応できる素地を形成する。 以上より、テュートリアルや実習のまとめといった今後の学生生活に必要不可欠な要素が含まれているだけでなく、将来的に臨床の場でIT技術を駆使するために必要となる基本スキルを学修する。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	
データを読み解釈できる。	Ⅰ-1-B-(1-2)-①
実習に必要な技術を実践できる。	Ⅰ-1-C-(1-2)-①
現象・事例から学ぶべきことを発見できる。	Ⅰ-2-A-(1-2)-①
仮説を導くことができる。	Ⅰ-2-B-(1-2)-①
事象、現象、観察などからその原因について考えられる。	Ⅰ-2-B-(1-2)-②
問題解決のための情報収集ができる。	Ⅰ-3-A-(1-2)-①
仮説を証明する手順を説明できる。	Ⅰ-3-A-(1-2)-②
情報に即して適切な解決方法を導くことができる。	Ⅰ-3-B-(1-2)-①
結果に予想される誤差を考えられる。	Ⅰ-3-C-(1-2)-②
自分の考えを他者に伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(1-2)-①
結論とその根拠が明確な文書を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-①
研究・実習の報告書が作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-②
相手の理解に合わせて、説明できる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-②
自己学修の結果を適切に伝えられる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-③
現象の原因・機序を検索できる。	Ⅰ-5-A-(1-2)-①
情報の信頼度を評価できる。	Ⅰ-5-A-(1-2)-③
社会的規範を守った生活ができる。	Ⅰ-6-A-(1-2)-①
学則を守った学生生活ができる。	Ⅰ-6-A-(1-2)-②
個人情報保護について説明できる。	Ⅰ-6-B-(1-2)-①

倫理の概念について説明することができる。	Ⅰ-6-B-(1-2)-②
学修上の目標を設定することができる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-①
目標達成の手段を明らかにできる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-②
査察（振り返り）を実践できる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-③
学修のための時間を適切に自己管理できる。	Ⅱ-2-C-(1-2)-②
自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-①
真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-②
活動向上のための評価ができる。	Ⅱ-4-B-(1-2)-②
学生として適切な振る舞いで行動できる。	Ⅱ-5-B-(1-2)-①

学修（教育）方法

講義とＰＣを使っての実習

評価方法
(1)総括的評価の対象

出席点を60%、講義中の提出課題（レポート、演習課題、および小テスト）40%を累計した点数を科目の評価点とする。ただし、履修要件として講義の2/3以上の出席が必要である。

評価方法
(2)評価項目

患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する (利益相反等)。	PR-01-01-01
社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。	PR-01-01-02
人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。	PR-03-01-01
データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。	GE-01-04-03
医学知識が常に変わりゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる	LL-01-01-01
何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。	RE-01-01-02
最先端の研究に刺激を受ける。	RE-01-02-01
診療録の重要性を理解し、適切に記載し取り扱うことができる。	CS-05-06-02
尺度（間隔、比、順序、名義）について説明できる。	SO-02-03-01
データの分布（欠損値を含む）について説明できる。	SO-02-03-02
正規分布の母平均の信頼区間について説明できる。	SO-02-03-03
相関分析、平均値と割合の検定等を実施できる。	SO-02-03-04
多変量解析の意義を理解している。	SO-02-03-05

評価方法
(3)評価基準

上記の評価項目について、出席点を60%、提出課題（レポート、演習課題、および小テスト）を40%として100点満点にて点数化を行う。
総合点より、S.極めて良く理解している（90%以上）A.良く理解している（80%以上90%未満）　B.平均的に理解している（70%以上80%未満）C.最低限は理解している（60%以上70%未満）　D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

形成的評価（学生の成長のためのフィードバックとしての評価）として、出席状況、遅刻状況、講義中の態度、提出物の提出状況について、全体にまたは個別に、学生へのフィードバックを行っているので、学修の参考にすること。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『体系的に学ぶインターネットセキュリティ』	神埼洋治	日経BPソフトプレス 2008	9784891005641
2.	『改訂4版 情報モラル＆セキュリティ』	FOM出版	FOM出版 2021	9784938927523
3.	『ネットワーク超入門講座 第4版』	三上 信男	SBクリエイティブ 2018	9784797394474
4.	『図解PubMedの使い方：インターネットで医学文献を探す』	岩下愛	日本医学図書館協会 2016	9784931222229
5.	『わかりやすい医中誌Web検索ガイド：検索事例付』	諏訪部直子	日本医学図書館協会 2013	9784931222205
6.	『資料検索入門：レポート・論文を書くために』	市古みどり	慶應義塾大学出版会 2014	9784766420517
7.	『生命科学・医療系のための情報リテラシー 第4版』	飯島史朗	丸善出版 2022	9784621307137
8.	『医療系のための情報リテラシー』	松木秀明	東京図書 2015	9784489022050

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/04/11 (金)	３時限	講義	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	学生ポータル・webメールの使い方			
	担当者（所属）	赤川　浩之			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02			

	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/04/15(火)	１時限	講義	PC室 1	09:00-10:10
	タイトル	ネットワークセキュリティと電子カルテ			
	担当者（所属）	山﨑　友也			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-03-01-01,CS-05-06-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/04/17(木)	３時限	講義	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	情報倫理 (肖像権、著作権、他人の個人情報の扱い)			
	担当者（所属）	辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-01,PR-01-01-02,PR-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/04/22(火)	１時限	講義	PC室 1	09:00-10:10
	タイトル	図書・文献の探し方、My libraryの使い方			
	担当者（所属）	加藤　砂織 野田　久愛 重川　須賀子 田部　瑶子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-04-03,LL-01-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				4

5.	2025/04/24 (木)	３時限	講義	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	統計の基本 (基本統計量、確率変数、確率密度関数、二項分布、正規分布)			
	担当者（所属）	末廣　勇司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	SO-02-03-01,SO-02-03-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/04/28 (月)	５時限	講義	PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	医療データの処理と統計解析I (t検定、F検定、χ二乗検定、線形回帰)			
	担当者（所属）	東　剣虹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	SO-02-03-03,SO-02-03-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/05/09 (金)	３時限	講義	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	医療データの処理と統計解析II (多変量解析、多群検定、ロジスティック回帰)			
	担当者（所属）	東　剣虹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	SO-02-03-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/05/13 (火)	１時限	講義	PC室 1	09:00-10:10
	タイトル	情報処理の概論、医学におけるアプリの利用、開発(プログラミング)　OSの種類とプログラミング言語			

	担当者（所属）	吉田　慶太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-03-01-01,RE-01-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2025/06/12(木)	１時限	講義	PC室 1	09:00-10:10
	タイトル	プログラミング I (Google colab.の使用法、アルゴリズムとは)			
	担当者（所属）	出嶋　克史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-03-01-01,RE-01-02-01,RE-01-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/06/12(木)	２時限	講義	PC室 1	10:25-11:35
	タイトル	プログラミング II (Python実践演習)			
	担当者（所属）	末廣　勇司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-03-01-01,RE-01-02-01,RE-01-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2025/06/23(月)	１時限	講義	PC室 1	09:00-10:10
	タイトル	AIについて (機械学習、ニューラルネット、どんなことが出来るか、医療への応用例)			
	担当者（所属）	末廣　勇司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-03-01-01,RE-01-02-01,RE-01-01-02			

	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2025/06/23(月)	２時限	講義	PC室 1	10:25-11:35
	タイトル	AI実践編 (Pythonで実際に簡単な学習と判別を体験)			
	担当者（所属）	末廣　勇司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-03-01-01,RE-01-02-01,RE-01-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2025/06/24(火)	１時限	講義	PC室 1	09:00-10:10
	タイトル	データベースについて（データベースの説明、利用例)			
	担当者（所属）	赤川　浩之			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2025/07/01(火)	１時限	講義	PC室 1	09:00-10:10
	タイトル	ビッグデータについて（管理、利用、その他大手クラウドサービスによる実例紹介)			
	担当者（所属）	赤川　浩之			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2025/07/01(火)	２時限	講義	PC室 1	10:25-11:35

	タイトル	臨床応用	
	担当者（所属）	正宗　賢	
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-03-01-01,RE-01-02-01	
	講義資料番号/連番(LMS)		15

縦 断 教 育 科 目

〔AI・データサイエンスと医療〕

科目責任者：　赤川　浩之（総合医科学研究所）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
I. 情報の概念	1. 医学と情報	女子医大のIT環境、ネットワークセキュリティ、インターネット、情報リテラシー、倫理、コンプライアンス
	2. ネットワーク	ネットワーク活用の実際、学生ポータル、Webメール
Ⅱ. 医学における情報処理	1. 情報処理の基本	コンピュータの使い方、システムの種類、アプリ
	2. 文字情報処理	文書作成、ファイルの管理・保存 図書、文献の探しかた、MyLibraryの使いかた プログラミングの基本 Pythonスクリプトによる作業の自動化・効率化
	3. 画像データ処理と応用	デジタル画像の利用と操作 人工知能の活用
	4. 統計処理	統計の基礎 データの処理と検定 医学で利用される統計分析手法
	5. ビッグデータ処理	データベースの基本 データベースの利用
Ⅲ. 情報の統合的利用	情報収集と提示	医学情報のデジタル化、臨床への活用例 まとめ

科目名
国際コミュニケーション
科目責任者(所属)
長坂　安子

到達目標
将来医療人として国際的に活躍できる人材を育成するために医学英語の基礎を学び、また国際化する国内の医療現場での対応能力の育成をも視野に入れ、英語というツールを自在に運用できる能力の養成をめざしている。単に英語を運用できるということにとどまらず、異なる文化的背景を持つ人の倫理観・社会観・死生観についての理解を伴う異文化コミュニケーション能力を備えた全人的医療人の育成を目標とする。 セグメント1　国際コミュニケーション到達目標及び概要 主に会話能力の向上を目指すオーラル・コミュニケーション（以下OC）と、リーディングおよびリスニングに重点をおいたコースがある。　【到達目標】 OCコースでは、学生が聞き手、話し手になるように具体的な言語の使用場面を設定してコミュニケーション活動を行う。従って、以下のことを修得目標とする。 1.病院内外のさまざまな場面で英語を使うための知識と自信を身につける。 2.患者さんに何科に行けばいいのか、またそこまでの道順を英語で伝えることができるようになる。 3.患者さんに病院でどのような処置が必要なのかを英語で説明できるようになる。 4.身体の主な部位の英語での名称と、病気や症状の表現を修得する。 リーディング・リスニングコースでは、職業人として医師の人格形成に資する社会科学系の教養を、英語を通して学修する。以下のことを修得目標とする。 1.文の大意を推測する能力を身につける。英文の聴解、読解できない要素に遭遇しても文脈から推測する力を養う。 2.世界観を広げ英語のみならず文化的認識と異文化理解能力を身につける。 二つのコースを通して、医療の国際化に対応できる医師を育成するための英語の基礎的能力を養うことを目標としている。 セグメント2　国際コミュニケーション到達目標及び概要 主に会話能力の向上を目指すオーラル・コミュニケーション（以下OC）と、リーディングおよびリスニングに重点をおいた授業がある。 【到達目標】 OCでは、学生が聞き手、話し手になるように具体的な言語の使用場面を設定してコミュニケーション活動を行う。従って、以下のことを修得目標とする。 1.病院内外のさまざまな場面で英語を使うための知識と自信を身につける。 2.患者さんに何科に行けばいいのか、またそこまでの道順を英語で伝えることができるようになる。 3.患者さんに病院でどのような処置が必要なのかを説明できるようになる。 4.身体の主な部位の英語での名称と、病気や症状の表現を修得する。 リーディング・リスニングでは、職業人として医師の人格形成に資する社会科学系の教養を、英語を通して学修する。以下のことを修得目標とする。 1.文の大意を推測する能力を身につける。英文の聴解、読解できない要素に遭遇しても文脈から推測する地力を養う。

2.世界観を広げ英語のみならず文化的認識と異文化理解能力を身につける。
二つのコースを通して、医療の国際化に対応できる医師を育成するための英語の基礎的能力を養うことを目標としている。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

セグメント1、セグメント2共通

自分の考えを他者に伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(1-2)-①
簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-①
自己学修の結果を適切に伝えられる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-③
他者を尊重して対話ができる。	II-1-D-(1-2)-②
学修上の目標を設定することができる。	II-2-A-(1-2)-①
学修のための時間を適切に自己管理できる。	II-2-C-(1-2)-②
自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。	II-2-D-(1-2)-①
真摯に学びを励行できる。	II-2-D-(1-2)-②
セグメント2のみ	
学んだことを他者に説明できる。	II-5-B-(1-2)-②

学修（教育）方法

セグメント１
一学年を半数ずつの二つのグループA・Bに分ける。１限にAのグループがListening & Speaking(L&S)コースを受講している間、BグループはReading & Writing (R&W)の授業を受講する。L&Sクラスは５～7名の小クラスに分け、学修効果が高い少人数システムをとる。Reading & Writingコースは１クラス50～55人クラスで行う。２限はコースが入れ替わる。授業外でも英語に触れることを習慣化するため、English Centralを隙間時間にする。

セグメント２
一学年を半数ずつの二つのグループA・Bに分ける。１限にAのグループがListening & Speaking(L&S)コースを受講している間、BグループはReading & Writing (R&W)の授業を受講する。L&Sクラスは５～7名の小クラスに分け、学修効果が高い少人数システムをとる。Reading & Writingコースは１クラス50～55人クラスで行う。２限はコースが入れ替わる。授業外でも英語に触れることを習慣化するため、English Centralを隙間時間にする。

評価方法
(1)総括的評価の対象

セグメント1・セグメント2の国際コミュニケーションと一緒に通年で評価する。具体的には上記到達目標の達成度を、授業への参加度、試験、スピーチ、English Centralの学修状況により総合的に判断し、全ての総合点(100 点満点)で 60点以上を合格とする。

評価方法
(2)評価項目

セグメント1、セグメント2共通

1)少人数グループで英語での意見交換やディスカッションができる。	LL-01-01-02,LL-01-01-02,LL-02-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05,SO-06-01-03
2) 自分の考えを英語で論理的に表現することができる。	LL-01-01-02,LL-02-01-01,GE-01-04-04
3) 国際コミュニケーションに不可欠な基礎英語力の定着及び応用力の向上が見られる。	LL-01-01-02,LL-02-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05,SO-06-01-03
4) １年間を通してe-learningを自主的に継続的に行うことができる。	LL-01-01-02,LL-02-01-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03
5) 欠席、遅刻をせず、積極的に授業に参加することができる。	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03

6) 随時出される課題を期日迄にきちんと提出できる。 LL-01-01-02
セグメント2のみ
7) パラグラフライティングなどを含め基礎的な英文書類作成ができる。 GE-01-04-04

評価方法
(3)評価基準

Listeing & Sepaking とReading & Wrting をそれぞれ1:1で算出し、合算する。Listening & Seaking S1 の内訳：
1) 出席・参加度 20 %
2) e-learning 20%
3) 教科書ベースの課題 40%
4) 教科書外の課題 20%

Reading & Writing S1の内訳：
1) 出席 10%
2) 参加度（振返り記入) 20%
3) 課題 20%
4) Unitテスト30%
5)期末テスト20%

Listening & Speaking のS2の内訳：
1) 出席・参加度20%
2) e-learning 20%
3)教科書外の課題 20%
4)教科書ベースの課題10%
5) スピーチドラフト 15 %
6) スピーチプレゼンテーション15%

Reading & Writing のS2の内訳：
1) 出席 10%
2) 参加度（振返り記入) 20%
3) 課題 30%
4) Unitテスト20%
5) 期末テスト20%

セグメント１とセグメント2を合わせ通年で評価する。
S(100～90%）当該科目の目標をほぼ完全に達成していると認められる。
A(89～80%) 当該科目の目標を十分に達成していると認められる。
B(79～70%) 当該科目の目標の基幹部分は達成しているものと認められる。
C(69～60%) 当該科目の目標のうち最低限は達成していると認められる。
D(59～０%) 当該科目の目標に及ばない。
C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

１週間に一度しかない英語の授業を受講するだけでは、英語力を向上させたり、維持したりすることは難しいです。授業外でも日頃から英語に触れることが重要です。隙間時間を利用してEnglish Centralを積極的に活用してください。

実務経験

○	大学病院の麻酔科の医師としての実務経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『セグメント1』			
2.	『Vital Signs (Revised)』	Vivian Morooka / Terri Sugiura	南雲堂 2018	9784523178682
3.	『Global Perspectives in the English-Speaking World: Past and Present』	JA Kusaka/ Jasse Elam/ Dax Thomas	松柏社 2022	9784881987766
4.	『セグメント2』			
5.	『Vital Signs (Revised)』	Vivian Morooka / Terri Sugiura	南雲堂 2018	9784523178682
6.	『Global Perspectives in the English-Speaking World: Past and Present』	JA Kusaka/ Jasse Elam/ Dax Thomas	松柏社 2022	9784881987766

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/04/14 (月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	国際コミュニケーション授業のオリエンテーション			
	担当者（所属）	長坂　安子 佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				1

2.	2025/04/16 (水)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	（講義）医療分野での英語使用の実際: 国際的に活躍する医療人像			
	担当者（所属）	北原　秀治 佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/04/16 (水)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	（講義）医療分野での英語使用の実際: 国際的に活躍する医療人像			
	担当者（所属）	佐藤　明可 岡野　龍介 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	SO-05-02-01,SO-05-02-02,SO-05-02-03,RE-02-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/04/16 (水)	３時限	講義	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	Placement Test			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2025/04/16 (水)	４時限	講義	PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	Placement Test			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/04/23(水)	１時限	講義	大実習室 3 PC室 1	09:00-10:10
	タイトル	e-learning ガイダンス・登録／オンライン授業のオリエンテーション／英文書式、英文メールの書き方（演習）			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/04/23(水)	２時限	講義	大実習室 3 PC室 1	10:25-11:35
	タイトル	e-learning ガイダンス・登録／オンライン授業のオリエンテーション／英文書式、英文メールの書き方（演習）			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/05/07(水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18	09:00-10:10

				テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2025/05/07 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室	10:25-11:35

				19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/05/14(水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19	09:00-10:10

				テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2025/05/14(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室	10:25-11:35

				20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2025/05/21(水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室17 テュートリアル室18 テュートリアル室19 テュートリアル室20	09:00-10:10

				テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2025/05/21(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室	10:25-11:35

				21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2025/05/28 (水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21	09:00-10:10

				テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2025/05/28 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室	10:25-11:35

				22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2025/06/04 (水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22	09:00-10:10

				テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2025/06/04 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室	10:25-11:35

				23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2025/06/11(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室17 テュートリアル室18 テュートリアル室19 テュートリアル室20 テュートリアル室21 テュートリアル室22 テュートリアル室23	09:00-10:10

				テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2025/06/11 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室	10:25-11:35

				24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2025/06/18(水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24	09:00-10:10

				テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2025/06/18(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室	10:25-11:35

				25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2025/06/25(水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25	09:00-10:10

				テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2025/06/25(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室	10:25-11:35

				26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2025/07/02 (水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26	09:00-10:10

				テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2025/07/02(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室	10:25-11:35

				27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2025/07/09 (水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27	09:00-10:10

				テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2025/07/09(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 1 大実習室 3 PC室 1 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室	10:25-11:35

				28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-04,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2025/08/27(水)	１時限	講義	PC室 1	09:00-10:10
	タイトル	(講義) 英文書式作成の基礎、アカデミックライティング			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2025/08/27(水)	２時限	講義	PC室 1	10:25-11:35
	タイトル	(講義) 英文書式作成の基礎、アカデミックライティング			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03			

	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2025/09/03(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				30

31.	2025/09/03 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				31

32.	2025/09/10 (水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2025/09/10 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302	10:25-11:35

				大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2025/09/17(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17	09:00-10:10

				テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2025/09/17 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室	10:25-11:35

				19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2025/09/24 (水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20	09:00-10:10

				テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2025/09/24(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室	10:25-11:35

				22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2025/10/01(水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23	09:00-10:10

				テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
39.	2025/10/01 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室	10:25-11:35

				25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
40.	2025/10/08(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26	09:00-10:10

				テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
41.	2025/10/08(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室	10:25-11:35

				28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
42.	2025/10/15(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29	09:00-10:10

				テュートリアル室 30	
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
4 3.	2025/10/15 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35

	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
4 4.	2025/10/22 (水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				44
45.	2025/10/22(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ			

		ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				45
46.	2025/10/29(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Medical English　Reading & Writing; Listening & Speaking			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ			

		ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				46
47.	2025/10/29(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Medical English	Reading & Writing; Listening & Speaking		

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				47
48.	2025/11/05(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				48
49.	2025/11/05(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				49
50.	2025/11/12(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				50
5 1.	2025/11/12 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				51
5 2.	2025/11/19 (水)	1 時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				52
5 3.	2025/11/19 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				53
54.	2025/11/26(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				54
5 5.	2025/11/26 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				55
5 6.	2025/12/03 (水)	1 時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				56
5 7.	2025/12/03 (水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				57
58.	2025/12/10(水)	1時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				58
59.	2025/12/10(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302 大実習室 3 テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	Listening & Speaking: Preparation for Speech Contest, Reading & Writing: Medical English			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				59
60.	2025/12/12(金)	３時限	講義	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	TOEFLテスト			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ 大野　純子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				60
61.	2025/12/12(金)	４時限	講義	PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	TOEFLテスト			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ 大野　純子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				61
62.	2026/01/07(水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302	09:00-10:10

	タイトル	Speech Contest 1			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				62
63.	2026/01/07(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302	10:25-11:35
	タイトル	Speech Contest 1			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				63
64.	2026/01/14(水)	１時限	講義	講義室 301 講義室 302	09:00-10:10
	タイトル	Speech Contest 2			

	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				64
65.	2026/01/14(水)	２時限	講義	講義室 301 講義室 302	10:25-11:35
	タイトル	Speech Contest 2			
	担当者（所属）	佐藤　明可 山本ラヴェナー　ロクサナ ジェラルド　ライトナー クリストファー　エルヴィン 細谷　ジョアンナ ウォン　ミッシェル 大野　純子 タッド　スタウト			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				65

〔国際コミュニケーション〕

科目責任者：長坂　安子（麻酔科学）
講義担当者：佐藤　明可、山本ﾗｳﾞｪﾅ ロクサナ他（統合教育学修センター基礎教育学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．医学英語の基礎	1. 医学英語の重要性を理解	1） 医学における英語の役割、国際的な利用場面の紹介
	2. 基礎的な医学用語の習得	2） 解剖学用語（heart, lungs)、疾患名(diabetes, stroke)、語根と接頭辞・接尾辞(cardio-, -it is)
Ⅱ．医療現場でのオーラルコミュニケーション	1. 基本的な患者との会話スキルを習得	1） 症状の聴取、診察の説明、簡単な医療フレーズの習得（What brings you here today?)
	2. 医学用語の簡略化と説明できるようになる	2） 難しい医学用語を患者にわかりやすく言い換える練習（例：hypertension→high blood pressure)
	3. ロールプレイによる実践練習	3） 医師と患者のシナリオをもとにしたロールプレイ
Ⅲ．医療関連文章の読解	1. 基本的なリーディングストラテジーを習得	1） スキミング、スキャニング、主旨の把握、文脈からの語彙推測などのスキルを習得
	2. 医療関連の短い文章を読む	2） 最新の医療技術、医学の歴史、患者ストーリー、短いニュース記事などの読解
	3. 批判的読解のスキルを習得	3） 簡単な医療倫理のケーススタディを読んで、問題点や論点を考える（例: "Should doctors always tell the truth to patients?"）
	4. 統計やグラフの読み取る	4） 医療研究データや統計に基づいた短い文章を読み、結果を解釈するスキルを学ぶ
	5. 賛成・反対意見を分析する読解練習	5） 医療問題に関する意見文を読み、筆者の主張を批判的に考える（例: "Pros and Cons of Telemedicine"）
	6. 医療ニュース記事を軸にした討論	6） 読んだ内容を基にクラス内で意見交換（例: "What are the potential risks and benefits of robotic surgery?"）
Ⅳ．継続的自己学修の実施	1. E-learningを通して、自己学修を習慣化	1）前期は英語に慣れ親しむ観点から、English Central を後期は医学・医療単語に特化したALCで学修する。
Ⅴ．ライティング	1. 基本的な構造を理解	1）Introduction, Body, Conclusion の構成を身につけ、スピーチの原稿に反映させる。
Ⅵ．スピーキング	1. 人前でのスピーキングの仕方を学ぶ	1) Physical message (posture, eye contact, voice)を学修する。

科目名

基本的・医学的表現技術

科目責任者(所属)

木林　和彦

到達目標

言葉および文書で自分の表現したいこと・表現すべきことを的確に把握し表現する能力を養う。医師として、患者自身に全人的な関心を持ち患者の状態を表現し共有するために診療録、患者要約、診療情報提供書を記載すること、患者のニーズを把握しチームで適切な検査治療が行われるように処方箋・検査依頼書を作成すること、各種診断書を正確に作成できることを目標とする。また、医学研究のための研究計画書、論文と症例報告が作成できること、プレゼンテーションができることも目標とする。

1・2学年では、大学生として基本的な読解力および文章力、学び・気づき・変容を省察し表現する技能を学ぶ。社会人として多様なケースで多様な他者と目的に応じた関係性を構築し、当初の目的達成を目指し関係を維持するための応答技能、前提や情報等を共有している人・していない人に説明する技能等、生涯学修につながる学びの基盤となる一般的表現技術を習得する。学年の進行とともに専門的表現技術を習得する。

セグメント1 では、前半部分で大学生として基本的な読解力および文章力、学び・気づき・変容を省察し表現する技能の習得を目指し、後半部分で理系学問を学ぶ大学生として基本的に求められる表現技術の基礎的技能の習得を目指す。

セグメント２では、科学的実験の記録方法、医療関係講演の記録方法、医学情報の伝達と説明に必要な基本的表現技術、基礎医学（機能系・形態系）に関する基本的表現技術の習得を目指す。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

セグメント1

データを読み解釈できる。	Ⅰ-1-B-(1-2)-①
事象、現象、観察などからその原因について考えられる。	Ⅰ-2-B-(1-2)-②
問題解決のための情報収集ができる。	Ⅰ-3-A-(1-2)-①
仮説を証明する手順を説明できる。	Ⅰ-3-A-(1-2)-②
自分の考えを他者に伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(1-2)-①
結論とその根拠が明確な文書を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-①
研究・実習の報告書が作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-②
文書の要約を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-③
相手の理解に合わせて、説明できる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-②
真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-②
学んだことを他者に説明できる	Ⅱ-5-B-(1-2)-②

セグメント2

データを読み解釈できる。	Ⅰ-1-B-(1-2)-①
自分の考えを他者に伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(1-2)-①
結論とその根拠が明確な文書を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-①
文書の要約を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-③

真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-②
学んだことを他者に説明できる	Ⅱ-5-B-(1-2)-②

学修（教育）方法

講義、教員レクチャー後の演習、フィードバックのほか、アクティブラーニング（小グループディスカッション、グループワーク）を含む

評価方法
(1)総括的評価の対象

セグメント1・2における講義の出席とレポートの提出を3分の1、筆記試験による試験結果を3分の2の割合として評価する。筆記試験はセグメント2終了時に行う。ただし、筆記試験を受けるには当該科目の授業に3分の2以上の出席が筆記試験の受験資格として必要である。

評価方法
(2)評価項目

セグメント1

1)患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する (利益相反等)。	PR-01-01-01
2)他者からのフィードバックを適切に受け入れる。	PR-01-02-02
3)自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。	PR-02-02-01
4)人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。	PR-03-01-01
5)得られたエビデンスの批判的吟味ができる。	GE-01-04-04
6)学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。	LL-01-01-02
7)自身の関心を問いにすることができる。	RE-03-01-01
8)情報・科学技術を用いて収集した情報およびデータを基に問題解決を図る。	IT-02-01-02

セグメント2

1)自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。	PR-02-02-01
2)捏造、改ざん、盗用等を含め研究不正の類型を説明することができ、研究不正を行わない。	RE-05-01-01
3)答えのない問いについて考え続ける。	PR-03-01-02
4)生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。	PR-04-01-01
5)個々の患者の医療への期待、解釈モデル、健康観を聞き出すことができる。	GE-01-03-01
6)言語的コミュニケーション技能を発揮して、良好な人間関係を築くことができる。	CM-01-01-01
7)患者や家族に敬意を持った言葉遣いや態度で接することができる。	CM-01-01-03
8)患者や家族の話を傾聴し、怒りや悲しみ、不安等の感情を理解し、共感できる。	CM-01-02-02
9)何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。	RE-01-01-02
10)発表の場に応じて読者・聴衆にわかりやすく研究内容をプレゼンテーションできる。	IRE-04-01-02
11)自らの知識や価値観を多職種及び他の医療系学部の学生に伝えることができる。	P-02-01-01

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

必要に応じて講義内にてレクチャー後に演習を行う。講義中に行う演習については、講義時間内もしくは演習レポートの返却時に必要に応じてフォードバックを担当教員が行う。

実務経験

○	医学・医療での教育と実務の経験を以て、医療現場で生かせるような教育を行う

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『セグメント1』			
2.	『理科系の作文技術（中公新書 624）』	木下是雄	中央公論社 2002	4121006240
3.	『大学生と留学生のための論文ワークブック』	浜田麻里	くろしお出版 1997	4874241271
4.	『だれも教えなかった論文・レポートの書き方』	阪田せい子	総合法令出版 1998	9784893465863
5.	『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』	松本茂	玉川大学出版部 2015	9784472405136
6.	『サイエンス・ライティング入門』	落合洋文	ナカニシヤ出版 2007	9784779501395
7.	『セグメント2』			
8.	『理科系の作文技術（中公新書 624）』	木下是雄	中央公論社 2002	9784121006240
9.	『化学を学ぶ人のレポート・論文・発表マスターガイド』	今田泰嗣・大嶋孝志・廣瀬敬治	化学同人 2010	9784759812909
10.	『サイエンス・ライティング練習帳』	落合洋文	ナカニシヤ出版 2010	9784779504952

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/04/14 (月)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	基本的・医学的表現技術　オリエンテーション、医学・医療における日本語学習			
	担当者（所属）	木林　和彦			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-01,PR-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/04/15(火)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	S1テュートリアルレポートの書き方			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02,GE-01-04-04,LL-01-01-02,			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2025/04/28(月)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	自発的な表現と賢く向き合う			
	担当者（所属）	辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02,IT-02-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2025/05/12(月)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	大学生としての表現技術の基礎（１）　読解と論理			
	担当者（所属）	辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02,GE-01-04-04,LL-01-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				4

5.	2025/05/12 (月)	５時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	大学生としての表現技術の基礎（２）　-新聞記事を素材に-			
	担当者（所属）	辻村　貴子 ゲスト スピーカー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-02-01,GE-01-04-04,RE-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2025/05/23 (金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	大学生としての表現技術の基礎（３）　-事実と意見-			
	担当者（所属）	辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02,GE-01-04-04,LL-01-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2025/05/23 (金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	科学的表現技術の基礎（１）　-図表の作成-			
	担当者（所属）	辻村　貴子 町田　光世			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,GE-01-04-04,PR-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2025/05/23 (金)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	科学的表現技術の基礎（２）　-図表に基づく説明文-			

	担当者（所属）	辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,GE-01-04-04,PR-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2025/06/04(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	科学的表現技術の基礎（３）　-論理的な文書の作成-			
	担当者（所属）	辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,GE-01-04-04,PR-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2025/06/17(火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	総括　-医学的な表現技術に備えて-			
	担当者（所属）	木林　和彦 辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,GE-01-04-04,PR-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2025/09/05(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	科学的実験の記録方法-1			
	担当者（所属）	辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02			

	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2025/09/05(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	科学的実験の記録方法-2			
	担当者（所属）	越野　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2025/09/16(火)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	レポート作成時に守るべきこと-1			
	担当者（所属）	辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02, RE-05-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2025/09/16(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	レポート作成時に守るべきこと-2			
	担当者（所属）	中村　佐和子 辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02, RE-05-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2025/10/03(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10

	タイトル	医療関係講演の記録方法			
	担当者（所属）	辻村　貴子 ゲスト スピーカー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-03-01-02, PR-04-01-01, GE-01-03-01, CM-01-01-01, CM-01-01-03, CM-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2025/10/30(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	機能系基礎医学の基本的表現技術、文書作成演習			
	担当者（所属）	木林　和彦 辻村　貴子 町田　光世			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02, RE-01-01-02,RE-04-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2025/11/07(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	機能系基礎医学の基本的表現技術、作成文書を用いた情報の伝達と説明			
	担当者（所属）	木林　和彦 辻村　貴子 町田　光世			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02, RE-01-01-02, RE-04-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2026/01/05(月)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	これまでの課題物のフィードバック			
	担当者（所属）	辻村　貴子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02, RE-05-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2026/01/09(金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	形態系基礎医学の基本的表現技術、文書作成演習			
	担当者（所属）	早川　亨			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	IP-02-01-01, RE-01-01-02, RE-04-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2026/01/09(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	形態系基礎医学の基本的表現技術、作成文書を用いた情報の伝達と説明			
	担当者（所属）	早川　亨			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	IP-02-01-01, RE-01-01-02, RE-04-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2026/01/21(水)	２時限	講義	講義室 202 講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	試験（論述試験）			
	担当者（所属）	木林　和彦 辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-02, RE-05-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				21

〔基本的・医学的表現技術〕

科目責任者：木林　和彦（法医学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．大学生としての基本的読解力	1. 文章の意味を正しく把握する	1)　語句の意味を正しく捉える
		2)　文の意味を正しく捉える
		3)　文と文のつながりを正しく捉える
		4)　論理的な関係を理解する
		5)　事実と意見を区別する
		6)　図表を読み取る
	2. 要旨を正確に読み取る	1)　重要な文を識別する
		2)　論旨の流れを把握する
	3. 批判的に読む	1)　背景、書き手の立場・意図を把握する
		2)　情報の信頼度を検討する
Ⅱ．大学生としての基本的文章力	1. 要旨を正確に書く	1)　適切な語句を選んで用いる
		2)　簡潔でねじれのない文を書く
		3)　図表にまとめる
		4)　図表の説明をする
		5)　パラグラフを活用して書く
		6)　全体の構成・配分を考えて書く
		7)　基本的表現技術を活用して書く
		8)　提出前に推敲する
	2. 考察・意見を書く	1)　結果と考察を区別して書く
		2)　根拠（理由・証拠）を述べる
		3)　適切な接続表現を用いる
		4)　事実と意見を書き分ける
		5)　重要なことが際立つ構成で書く
		6)　参考文献・他者の発言を引用・要約する
	3. 目的・読み手・字数に応じて書く	1)　目的・読み手・字数に応じて調整して書く
		2)　図表を基に説明文を作成する
		3)　用いる媒体の特性に応じて書く
Ⅲ．学び・気づき・変容の省察・表現	1. 学び・気づき・変容を省察する	1)　過去と現在の自己を客観的に把握する
		2)　目標とする自己を具体的にイメージする
		3)　自己を客観的に評価する
	2. 学び・気づき・変容を表現する	1)　大項目Ⅱで培った力を使い適切に書く
Ⅳ．テュートリアルの表現技術	1. 自分の考えを口頭で伝える	1)　適切な語句を選んで伝える
	2. レポートにまとめる	1)　規定に沿って書く
		2)　論理展開を意識して書く
		3)　情報の信頼度を検討する
		4)　引用のルールを守る

科目名

「至誠と愛」の実践学修

科目責任者(所属)

野原　理子

到達目標

本学は百年余に亘り、医学の知識・技能の修得の上に「至誠と愛」を実践する女性医師の育成を行ってきた。医学の進歩の一方で、患者の抱える問題を包括して解決する医学・医療の必要性が重視されている。今後さらに心の重要性が問われることは必定である。医師は温かい心をもって医療に臨み、患者だけでなく家族・医療チームとも心を通わせ問題を解決していく資質を高めなくてはならない。「「至誠と愛」の実践学修」では、全人的医人を育成するために、体験の中から感性を磨き、他者・患者と共感できる能力・態度を修得する教育を行う。
具体的には「至誠と愛」の実践学修の理念には下記のような６本の柱がある。各講義・ワークショップ、実習はこの６本の柱の下に構成されている。

【６本の柱】
（1）専門職としての態度、マナー、コミュニケーション能力（患者を理解する力、支持する力、意志を通わす力、患者医師関係）
（2）専門職としての使命感（医学と社会に奉仕する力）
（3）医療におけるリーダーシップ・パートナーシップ
（4）医療人としての倫理―解釈と判断（法と倫理に基づく実践力）
（5）女性医師のキャリア・ライフサイクル（医師として、女性医師として生涯研鑽する姿勢）
（6）自校の理念、歴史を知る（自校教育）

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号

セグメント1、セグメント２共通

現象・事例から学ぶべきことを発見できる。	Ⅰ-2-A-(1-2)-①
自分の考えを他者に伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(1-2)-①
結論とその根拠が明確な文書を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-①
研究・実習の報告書が作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-②
社会的規範を守った生活ができる。	Ⅰ-6-A-(1-2)-①
学則を守った学生生活ができる。	Ⅰ-6-A-(1-2)-②
個人情報保護について説明できる。	Ⅰ-6-B-(1-2)-①
倫理の概念について説明することができる。	Ⅰ-6-B-(1-2)-②
他者の自己決定を理解できる。	Ⅱ-1-A-(1-2)-③
他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。	Ⅱ-1-B-(3-4)-①
患者・家族の心理を説明できる。	Ⅱ-1-B-(3-4)-②
学修上の目標を設定することができる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-①
目標達成の手段を明らかにできる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-②
省察（振り返り）を実践できる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-③
社会が期待する医師像を説明できる。	Ⅱ-2-B-(1-2)-①
自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-①
真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-②

自分の目標となる人物像を説明できる。	Ⅱ-2-E-(1-2)-①
社会・地域に奉仕する姿勢を持つ。	Ⅱ-3-A-(1-2)-①
医学研究の重要性について概説できる。	Ⅱ-3-B-(1-2)-①
自分の考えの根拠を説明できる。	Ⅱ-4-A-(1-2)-①
活動向上のための評価ができる。	Ⅱ-4-B-(1-2)-②
他者の話を聴くことができる。	Ⅱ-4-C-(1-2)-①
対話の中で相手の述べることを要約できる。	Ⅱ-4-C-(1-2)-②
医学の進歩が人に希望を与えることを説明できる。	Ⅱ-5-A-(1-2)-①
困難な状況にあっても、希望を見いだすことができる。	Ⅱ-5-A-(1-2)-②
学生として適切な振る舞いで行動できる。	Ⅱ-5-B-(1-2)-①
学んだことを他者に説明できる。	Ⅱ-5-B-(1-2)-②
他者を尊重して対話ができる。	II-1-A-(1-2)-②
様々な年齢の他者と意志を交わすことができる。	II-1-B-(1-2)-①
セグメント1のみ	
簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-①
傾聴できる。	Ⅱ-1-A-(3-4)-①
卒業までに学ぶべきことの概要を理解できる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-④
社会で活躍する女性の特性を述べられる。	Ⅱ-2-C-(1-2)-①
セグメント2のみ	
実習に必要な技術を実践できる。	Ⅰ-1-C-(1-2)-①
安全に配慮して実習・研修を行える。	Ⅰ-1-C-(1-2)-②
医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる。	Ⅰ-2-C-(1-2)-②
相手の理解に合わせて、説明できる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-②
社会支援制度を説明できる。	Ⅱ-1-C-(1-2)-①
学修のための時間を適切に自己管理できる。	Ⅱ-2-C-(1-2)-②
役割分担を確実に実践できる。	Ⅱ-4-C-(1-2)-③

学修（教育）方法

講義、ワークショップ、実習、ディスカッション・グループワーク

評価方法
(1)総括的評価の対象

講義と行事の課題の評価点を42%、ワークショップと実習の学修成果の評価点を58%で評価する。ただし、課題は当該項目の授業（講義、ワークショップ、実習、行事）へ出席した者のみに提出する資格がある。なお、履修要件として本科目授業数の8割以上の出席が必要である。

評価方法
(2)評価項目

セグメント１、セグメント2共通	
患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する (利益相反等)。	PR-01-01-01
社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。	PR-01-01-02
患者を含めた他者に思いやりをもって接する。	PR-02-01-01
医師に求められる品格とはどのようなものかを考え、それを備えるように努める。	PR-02-03-01
礼儀正しく振る舞う。	PR-02-03-02
身体・心理・社会の問題を統合したアプローチを理解している。	GE-01-02-01
学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。	LL-01-01-02
自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築していくことができる。	LL-01-02-01
後輩や同僚等と協働して学修できる。	LL-02-01-01
最先端の研究に刺激を受ける。	RE-01-02-01
ロールモデルとしての研究者の生き方に触れる。	RE-01-02-02

言語的コミュニケーション技能を発揮して、良好な人間関係を築くことができる。	CM-01-01-01
非言語的コミュニケーション（身だしなみ、視線、表情、ジェスチャー等）を意識できる。	CM-01-01-02
患者や家族に敬意を持った言葉遣いや態度で接することができる。	CM-01-01-03
患者や家族の話を傾聴し、怒りや悲しみ、不安等の感情を理解し、共感できる。	CM-01-02-02
医師の役割を多職種及び他の医療系学部の学生に説明できる。	IP-02-03-01
病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。	IP-02-04-01

セグメント１のみ

自分自身の限界を適切に認識し行動する。	PR-01-02-01
他者からのフィードバックを適切に受け入れる。	PR-01-02-02
他者に思いやりをもって接することができない場合の原因・背景を考える。	PR-02-01-02
自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。	PR-02-02-01
他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見とはどのようなものか考え、意識して行動する。	PR-02-02-02
人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。	PR-03-01-01
答えのない問いについて考え続ける。	PR-03-01-02
生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。	PR-04-01-01
患者の社会的背景（経済的・制度的側面等）が病いに及ぼす影響を理解している。	GE-01-03-02
ライフサイクル（胎児期、新生児期、乳幼児期、学童期、思春期、青年期、成人期、壮年期、老年期、終末期）の視点で、患者の課題を検討できる。	GE-03-01-01
小児期の身体の成長と生理機能の発達について理解している。	GE-03-02-01
小児期の正常な精神運動発達について理解している。	GE-03-02-02
小児期の愛着形成や保育法・栄養法について理解している。	GE-03-02-03
思春期、青年期と関連する課題（生殖、いのち等に関わる課題）について理解している。	GE-03-04-03
老化に伴う臓器や身体機能の変化、それに伴う生理的変化、老化機構について理解している。	GE-03-05-01
医学知識が常に変わりゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。	LL-01-01-01
自らの心身を大切にできる。	LL-01-02-02
後輩や同僚等に対して、適切にフィードバックできる。	LL-02-01-02
成人学習理論を活用し、後輩や同僚等に対して教育を実践できる。	LL-02-01-03
常識を疑う。	RE-01-01-01
何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。	RE-01-01-02
自身の関心を問いにすることができる。	RE-03-01-01
電子カルテをはじめとする医療情報の管理・保管の原則について理解し、関連する規制（法律、倫理基準、個人情報保護のための規定等）を遵守できる。	IT-01-02-01
ソーシャルメディア(インターネット、SNS等)の利用において、医療者として相応しい情報発信の在り方を理解し、実践できる。	IT-01-02-02
医療面接における基本的コミュニケーション技法を用いることができる。	CS-01-01-01
バイタルサイン（体温、脈拍、血圧、呼吸数、酸素飽和度）の測定ができる。	CS-01-02-03
部位毎の身体診察(表3)ができる。	CS-01-02-05
患者の自己決定を阻害する問題点を理解する。	CM-02-03-01
患者の経験を尊重し、価値観を明確にできるように傾聴することができる。	CM-02-03-02
患者の意思決定支援のために、最善のエビデンスをできるだけ専門用語を使わずに、わかりやすく説明することができる。	CM-02-03-03
患者の価値観に沿った目標に基づいた治療方針を計画することができる。	CM-02-03-04
地域共生社会の概念を理解している。	SO-01-01-02
バリアフリー等の障害と社会環境に関連する概念を理解した行動をとることができる。	SO-04-01-02
女性やLGBTQに対する差別等のジェンダー不平等をなくすために積極的な行動をとることができる。	SO-04-02-01

セグメント2のみ

相手の話を聞き、事実や自分の意見を相手にわかるように述べることができる。	CM-01-01-05

患者や家族の精神的・身体的・社会的苦痛に十分配慮できる。	CM-01-02-01
患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るためのニーズを把握することができる。	CM-03-01-01
患者が抱える課題、問題点を抽出・整理できる。	CM-03-01-02

評価方法
(3)評価基準

上記の総括的評価の対象、および評価項目について点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上）、A.良く理解している（80%以上90%未満）、B.平均的に理解している（70%以上80%未満）、C.最低限は理解している（60%以上70%未満）、D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

事前・事後学修

講義前にアップロードされている資料で事前学修し、講義後の講義復習テストもしくは講義者からの課題で事後学修する。

伝達事項

①形成的評価（学生の成長のためのフィードバックとしての評価）として、出席状況、遅刻状況、実習・ワークショップ中の態度、提出物（課題については既定の文字数、内容を満たしていること）が評価対象となる。②授業の実施方法には、講義、ワークショップ、実習、行事がある。③準備学修（予習・復習）の具体的な内容およびこれに必要な時間：あらかじめ学生ポータルサイトに掲示されるレジメや説明に目を通すこと。実習は、事前ガイダンスに参加して、学修目標、ドレスコードや実習先での心構えを意識すること。事前事後学修の目安0.25時間＋1.0時間。

実務経験

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『人間関係教育と行動科学テキストブック（第3版）-「至誠と愛」の実践学修-』	東京女子医科大学「至誠と愛」の実践学修教育委員会　編	三恵社 2018	2147483647
2.	『人間の記録63　吉岡弥生　吉岡弥生伝』	吉岡弥生女史伝記編纂委員会	日本図書センター 1998	2147483647
3.	『医療への心理学的パースペクティブ』	渡辺文夫	ナカニシヤ出版 1994	2147483647
4.	『ウィリアム・オスラー：ある臨床医の生涯』	Michael Bliss	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2012	2147483647
5.	『平静の心：オスラー博士講演集　新訂増補版』	オスラー [述]；日野原重明, 仁木久恵訳	医学書院 2003	426012708X
6.	『医者が心をひらくとき：a piece of mind 上』	ロクサーヌ・K・ヤング編；李啓充訳	医学書院 2002	2147483647
7.	『医者が心をひらくとき：a piece of mind 下』	ロクサーヌ・K・ヤング編；李啓充訳	医学書院 2002	2147483647
8.	『学生のための医療概論　第4版』	小橋 元、近藤 克則、黒田 研二、千代 豪昭	医学書院 2020	9784260041256
9.	『生きることは尊いこと　いのちをみつめた闘病と介護の日々』	岡西　雅子	医学書院 2012	2147483647
10.	『らくらく視覚障害生活マニュアル』	加藤明彦	医歯薬出版 2003	2147483647
11.	『シリーズ生命倫理学 1　生命倫理学の基本構図』	今井道夫, 森下直貴責任編集	丸善出版 2012	2147483647

12.	『患者の権利とは何か（岩波ブックレット　No. 297）』	鈴木利廣	岩波書店 1993	400032372
13.	『コンプレックス（岩波新書　青808）』	河合隼雄	岩波書店 1971	400412073X
14.	『ユーモアは老いと死の妙薬：死生学のすすめ』	アルフォンス・デーケン	講談社 1995	2147483647
15.	『新 傾聴ボランティアのすすめ：聴くことでできる社会貢献』	ホールファミリーケア協会	三省堂 2009	2147483647
16.	『対話のレッスン　日本人のためのコミュニケーション術』	平田オリザ	講談社学術文庫 2015	2147483647
17.	『新版増補　生命倫理事典』	酒井昭夫	太陽出版 2010	2147483647
18.	『新版 医療倫理Q&A』	関東医学哲学・倫理学会編	太陽出版 2013	2147483647
19.	『人間の詩と真実：その心理学的考察』	霜山徳爾	中央公論社　絶版 1978	2147483647
20.	『対人援助とコミュニケーション：主体的に学び、感性を磨く』	諏訪茂樹	中央法規出版 2010	2147483647
21.	『看護のためのコミュニケーションと人間関係』	諏訪茂樹	中央法規出版 2019	2147483647
22.	『インフォームド・コンセント（NHKブックス　711）』	森岡恭彦	日本放送出版協会 1994	2147483647
23.	『子どもへのまなざし』	佐々木正美	福音館書店 1998	2147483647
24.	『子どもへのまなざし　続』	佐々木正美	福音館書店 2001	2147483647
25.	『ケースで学ぶ異文化コミュニケーション：誤解・失敗・すれ違い』	久米昭元, 長谷川典子著	有斐閣 2007	2147483647

関連リンク

添付ファイル　※３つまで、１ファイルにつき５MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2025/04/11 (金)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	「至誠と愛」の実践学修　オリエンテーション			
	担当者（所属）	野原　理子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02、PR-02-01-01、PR-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2025/04/11(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	医学部新入生へのメッセージ			
	担当者（所属）	山中　寿			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-01,PR-01-01-02,PR-01-02-01,PR-02-02-01,PR-02-03-01,PR-02-03-02,PR-03-01-01,PR-03-01-02,GE-01-02-01,LL-01-01-01,LL-01-01-02,LL-01-02-01,LL-01-02-02,RE-01-01-01,RE-01-01-02,RE-01-02-01,RE-03-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				51
3.	2025/04/15(火)	２時限	講義・ワークショップ	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	医学生としての矜持			
	担当者（所属）	村崎　かがり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-01、PR-01-01-02、PR-02-01-01、PR-02-03-01、PR-02-03-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
4.	2025/04/18(金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	キャリアを考える（1）「医学の学び方」			
	担当者（所属）	北村　聖			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-01, LL-01-01-02, LL-02-01-01			

	講義資料番号/連番(LMS)				3
5.	2025/04/23(水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	社会規範教育(1)「総論」			
	担当者（所属）	石黒　直子 西村　勝治 諏訪　茂樹 村崎　かがり 中神　朋子 小川　久貴子 宮田　麻理子 柳澤　直子 清水　洋子 吉武　久美子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	自校教育：PR-03-01-01、LL-01-02-01; 挨拶：CM-01-01-01、PR-02-03-02 社会規範：IT-01-02-01、IT-01-02-02; ボランティア：SO-01-01-02、SO-04-01-02 掃除道：LL-01-01-02、LL-01-02-02; 共感：CM-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
6.	2025/05/07(水)	３時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	コミュニケーション（1）「乳幼児の身体と心の成長と発達」			
	担当者（所属）	松尾　真理 浦野　真理			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-03-01-01、GE-03-02-01、GE-03-02-02、GE-03-02-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
7.	2025/05/07(水)	４時限	実習	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	キャリアを考える（2）「シミュレーション教育」実習オリエンテーション			
	担当者（所属）	西井　明子 土井　範子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-01-01-01, CS-01-02-03, CS-01-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
8.	2025/05/08(木)	４時限	実習	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	キャリアを考える（2）「シミュレーション教育」			
	担当者（所属）	西井　明子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-01-01-01, CS-01-02-03, CS-01-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
9.	2025/05/08(木)	５時限	実習	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	キャリアを考える（2）「シミュレーション教育」			
	担当者（所属）	西井　明子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CS-01-01-01, CS-01-02-03, CS-01-02-05			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
10.	2025/05/22(木)	１時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	医療倫理原則（1）「生と死の倫理的問題」			
	担当者（所属）	西村　勝治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-04-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				7

11.	2025/05/22 (木)	３時限	行事	弥生記念講堂	12:30-13:40
	タイトル	吉岡彌生記念講演会			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				52
12.	2025/05/22 (木)	４時限	行事	弥生記念講堂	13:55-15:05
	タイトル	吉岡彌生記念講演会			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				53
13.	2025/05/22 (木)	５時限	行事	弥生記念講堂	15:15-16:25
	タイトル	吉岡彌生記念講演会			
	担当者（所属）	柳澤　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				54
14.	2025/05/30 (金)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	生命倫理の基礎：生命と「いのち」・人と人間を考える			

	担当者（所属）	田畑　務			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-03-04-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
15.	2025/06/20(金)	３時限	講義・ワークショップ	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	行動科学（1）「人の心理と行動（1）」			
	担当者（所属）	筒井　順子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
16.	2025/06/20(金)	４時限	講義・ワークショップ	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	行動科学（1）「人の心理と行動（2）」			
	担当者（所属）	筒井　順子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
17.	2025/06/20(金)	５時限	講義・ワークショップ	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	行動科学（1）「人の心理と行動（3）」			
	担当者（所属）	筒井　順子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-02-01			

	講義資料番号/連番(LMS)				11
18.	2025/06/24(火)	２時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	自省と気付き（1）「プロフェッショナル～医師になるということ～」			
	担当者（所属）	西井　明子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-03-02,PR-01-02-02, PR-02-02-01, PR-02-02-02, CM-02-03-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
19.	2025/06/27(金)	３時限	講義・ワークショップ	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	医療倫理原則（2）「インフォームドコンセント/アセント(1)」			
	担当者（所属）	竹村　洋典			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-02-03-01,CM-02-03-02,CM-02-03-03,CM-02-03-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
20.	2025/06/27(金)	４時限	講義・ワークショップ	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	医療倫理原則（2）「インフォームドコンセント/アセント(2)」			
	担当者（所属）	竹村　洋典			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-02-03-01,CM-02-03-02,CM-02-03-03,CM-02-03-04			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
21.	2025/06/27(金)	５時限	講義	講義室 301	15:15-16:25

	タイトル	コミュニケーション（３）　マナーの実践 (総論)			
	担当者（所属）	横田　仁子 日野原　眞紀			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-03-02、CM-01-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
22.	2025/07/02 (水)	４時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	チーム医療（1）「医師の役割と医療の実際」			
	担当者（所属）	西井　明子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01, CM-01-01-02, CM-01-01-03, IP-02-03-01, IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
23.	2025/08/25 (月)	３時限	実習	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習　ガイダンス」			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-03-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2025/08/25 (月)	４時限	実習	講義室 301 大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	チーム医療（2）「医師の役割と医療の実際　実習ガイダンス」			
	担当者（所属）	西井　明子 土井　範子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2025/08/29(金)	１時限	実習	大実習室 1 大実習室 3 外来棟	09:00-10:10
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（A班)／チーム医療（2）(C,D班)「医師の役割と医療の実際　病院実習」			
	担当者（所属）	中村　裕子 山口　俊夫 西井　明子 浦瀬　香子 菊田　幸子 田中　正太郎 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	共通 医師実習 ハンディキャップ PR-02-01-01,PR-02-02-01,GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2025/08/29(金)	２時限	実習	大実習室 1 大実習室 3 外来棟	10:25-11:35
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（A班)／チーム医療（2）(C,D班)「医師の役割と医療の実際　病院実習」			
	担当者（所属）	中村　裕子 山口　俊夫 西井　明子 浦瀬　香子 菊田　幸子 田中　正太郎 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文			

		石井　泰雄 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	共通 医師実習 ハンディキャップ PR-02-01-01,PR-02-02-01,GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2025/08/29(金)	３時限	実習	講義室 301 大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（A班）／チーム医療（2）(C,D班)「医師の役割と医療の実際　振り返り」			
	担当者（所属）	西井　明子 浦瀬　香子 菊池　規子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	共通 医師実習 ハンディキャップ PR-02-01-01,PR-02-02-01,GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2025/08/29(金)	４時限	実習	講義室 301 大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（B班）／チーム医療（2）(C,D班)「医師の役割と医療の実際　グループ発表」			
	担当者（所属）	西井　明子 浦瀬　香子 菊池　規子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基	共通 医師実習 ハンディキャップ			

	準	PR-02-01-01,PR-02-02-01,GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-01-05,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2025/08/29(金)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（B班）			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-01-01,PR-02-02-01,GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-01-05,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2025/08/29(金)	６時限	実習	大実習室 3	16:35-17:45
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（B班）			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-01-01,PR-02-02-01,GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-01-05,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2025/09/04(木)	５時限	講義・ワークショップ	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	医とは何か			
	担当者（所属）	中神　朋子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-01,PR-01-01-02,PR-02-01-01,PR-02-03-01,PR-02-03-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
32.	2025/09/09(火)	１時限	実習	大実習室 1 大実習室 3 外来棟	09:00-10:10
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（C班）／チーム医療（2）(A,B班)「医師の役割と医療の実際　病院実習」			
	担当者（所属）	中村　裕子 山口　俊夫 西井　明子 浦瀬　香子 菊田　幸子 田中　正太郎 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
33.	2025/09/09(火)	２時限	実習	大実習室 1 大実習室 3 外来棟	10:25-11:35
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（C班）／チーム医療（2）(A,B班)「医師の役割と医療の実際　病院実習」			
	担当者（所属）	中村　裕子 山口　俊夫 西井　明子 浦瀬　香子 菊田　幸子 田中　正太郎 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄			

		廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
3 4.	2025/09/09 (火)	３時限	実習	講義室 301 大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（C班）／チーム医療（2）(A,B班)「医師の役割と医療の実際　振り返り」			
	担当者（所属）	松本　卓子 西井　明子 浦瀬　香子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
3 5.	2025/09/09 (火)	４時限	実習	講義室 301 大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（D班）／チーム医療（2）(A,B班)「医師の役割と医療の実際　グループ発表」			
	担当者（所属）	松本　卓子 西井　明子 浦瀬　香子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-02,CM-01-01-03,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02,IP-02-03-01,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				34

36.	2025/09/09 (火)	５時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（D班）			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-01-01,PR-02-02-01,GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-01-05,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
37.	2025/09/09 (火)	６時限	実習	大実習室 3	16:35-17:45
	タイトル	ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」（D班）			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 辻野　賢治 大坂　利文 廣田　恵子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-01-01,PR-02-02-01,GE-01-02-01,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-01-05,CM-01-02-01,CM-03-01-01,CM-03-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
38.	2025/09/16 (火)	５時限	講義・ワークショップ	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	キャリアを考える（3）「アントレプレナーシップ教育」			
	担当者（所属）	朝日　透			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-02-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
39.	2025/09/16 (火)	６時限	講義・ワークショップ	講義室 301	16:35-17:45

	タイトル	キャリアを考える（４）「再生医療を学ぶ」			
	担当者（所属）	清水　達也			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	RE-01-02-01,RE-01-02-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
40.	2025/10/02(木)	３時限	実習	講義室 301 講義室 302	12:30-13:40
	タイトル	コミュニケーション（3）「マナーの実践」			
	担当者（所属）	横田　仁子 辻村　貴子 日野原　眞紀			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-03-02,CM-01-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
41.	2025/10/02(木)	４時限	実習	講義室 301 講義室 302	13:55-15:05
	タイトル	コミュニケーション（3）「マナーの実践」			
	担当者（所属）	横田　仁子 辻村　貴子 日野原　眞紀			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-03-02,CM-01-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
42.	2025/10/02(木)	５時限	実習	講義室 301 講義室 302	15:15-16:25
	タイトル	コミュニケーション（3）「マナーの実践」			
	担当者（所属）	横田　仁子 辻村　貴子			

		日野原　眞紀			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-02-03-02,CM-01-01-03			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
43.	2026/02/12(木)	３時限	講義・ワークショップ	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	チーム医療（3）「看護実践の原理とチーム医療」			
	担当者（所属）	見城　道子 浦瀬　香子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
44.	2026/02/12(木)	４時限	実習	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　実習ガイダンス」			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 廣田　恵子 駒形　朋子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
45.	2026/02/16(月)	１時限	実習	大実習室 1 第一病棟 中央病棟 西病棟A 西病棟B 東病棟 糖尿病センター	09:00-10:10
	タイトル	A班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」			

	担当者（所属）	出口　香緒利 中村　裕子 山口　俊夫 浦瀬　香子 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 伊豆原　郁月 廣田　恵子 駒形　朋子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-02-02,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
46.	2026/02/16(月)	２時限	実習	第一病棟 中央病棟 西病棟A 西病棟B 東病棟 糖尿病センター	10:25-11:35
	タイトル	A班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」			
	担当者（所属）	出口　香緒利 中村　裕子 山口　俊夫 浦瀬　香子 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 伊豆原　郁月 廣田　恵子 駒形　朋子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-02-02,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
47.	2026/02/16(月)	３時限	実習	第一病棟 中央病棟 西病棟A	12:30-13:40

				西病棟B 東病棟 糖尿病センター	
	タイトル	A班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」			
	担当者（所属）	出口　香緒利 中村　裕子 山口　俊夫 浦瀬　香子 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 伊豆原　郁月 廣田　恵子 駒形　朋子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-02-02,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
48.	2026/02/16(月)	４時限	実習	第一病棟 中央病棟 西病棟A 西病棟B 東病棟 糖尿病センター	13:55-15:05
	タイトル	A班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」			
	担当者（所属）	出口　香緒利 中村　裕子 山口　俊夫 浦瀬　香子 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 伊豆原　郁月 廣田　恵子 駒形　朋子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-02-02,IP-02-04-01			

	講義資料番号/連番(LMS)				44
49.	2026/02/16(月)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	A班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　実習振返り（小グループ討論）」			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 廣田　恵子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				45
50.	2026/02/17(火)	１時限	実習	大実習室 1 第一病棟 中央病棟 西病棟A 西病棟B 東病棟 糖尿病センター	09:00-10:10
	タイトル	B班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」			
	担当者（所属）	出口　香緒利 中村　裕子 山口　俊夫 浦瀬　香子 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 伊豆原　郁月 廣田　恵子 駒形　朋子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-02-02,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				46
51.	2026/02/17(火)	２時限	実習	第一病棟 中央病棟 西病棟A	10:25-11:35

				西病棟B 東病棟 糖尿病センター	
	タイトル	B班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」			
	担当者（所属）	出口　香緒利 中村　裕子 山口　俊夫 浦瀬　香子 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 伊豆原　郁月 廣田　恵子 駒形　朋子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-02-02,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				47
52.	2026/02/17(火)	３時限	実習	第一病棟 中央病棟 西病棟A 西病棟B 東病棟 糖尿病センター	12:30-13:40
	タイトル	B班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」			
	担当者（所属）	出口　香緒利 中村　裕子 山口　俊夫 浦瀬　香子 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 伊豆原　郁月 廣田　恵子 駒形　朋子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-02-02,IP-02-04-01			

	講義資料番号/連番(LMS)				48
53.	2026/02/17(火)	４時限	実習	第一病棟 中央病棟 西病棟A 西病棟B 東病棟 糖尿病センター	13:55-15:05
	タイトル	B班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　病棟実習」			
	担当者（所属）	出口　香緒利 中村　裕子 山口　俊夫 浦瀬　香子 辻野　賢治 辻村　貴子 大坂　利文 石井　泰雄 伊豆原　郁月 廣田　恵子 駒形　朋子 土井　範子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	PR-01-01-02,CM-01-01-01,CM-01-01-03,CM-01-02-02,IP-02-04-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				49
54.	2026/02/17(火)	５時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	B班）チーム医療（4）「看護師の役割と看護の実際　実習振返り（小グループ討論）」			
	担当者（所属）	浦瀬　香子 廣田　恵子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	LL-01-01-02,LL-02-01-01			
	講義資料番号/連番(LMS)				50

〔「至誠と愛」の実践学修〕

科目責任者：野原 理子（衛生学公衆衛生学（公衆衛生学分野））

東京女子医科大学医学部
「至誠と愛」の実践学修到達目標

医学生の人間関係（態度・習慣・マナー・コミュニケーションおよび人間関係に関連する技能）の到達目標を示す。

卒前教育の中で卒後の目標として俯瞰すべき到達目標は、＊印を付して示す。

到達目標の概略（構造）を以下に示す。次ページ以降に示すのが全文で、具体的到達目標が述べられている。

概略（構造）

Ⅰ 習慣・マナー・こころ
- A 人として・医学生として
  1. 人間性
  2. 態度
  3. 人間関係
  4. 一般社会・科学に於ける倫理
- B 医師（医人）として
  1. 医人としての人間性
  2. 医人としての態度
  3. 医人としての人間関係
  4. 医療の実践における倫理
  5. 女性医師の資質

Ⅱ 技能・工夫・努力
- A 人と人との信頼
  1. 人としての基本的コミュニケーション
  2. 医人としての基本的コミュニケーション
  3. 医療面接におけるコミュニケーション
  4. 身体診察・検査におけるコミュニケーション
  5. 医療における説明・情報提供
- B 信頼できる情報の発信と交換
  1. 診療情報
  2. 医療安全管理

「至誠と愛」の実践学修到達目標全文

Ⅰ 習慣・マナー・こころ

A 人として・医学生として

1. 人間性

（自分）

1） 生きていることの意味・ありがたさを表現できる。

2） 人生における今の自分の立場を認識できる。

3） 自分の特性や価値観を認識し伸ばすことができる。

（他者の受け入れ）

4） 他の人の話を聴き理解することができる。

5） 他の人の特性や価値観を受け入れることができる。

6） 他の人の喜びや苦しみを理解できる。

7） 温かいこころをもって人に接することができる。

8） 人の死の意味を理解できる。

（自分と周囲との調和）

9） 自分の振る舞い・言動の他者への影響を考えることができる。

10） 他の人に適切な共感的態度が取れる。

11） 他の人と心を開いて話し合うことができる。

12） 他の人の苦しみ・悲しみを癒すように行動できる。

13） 他の人に役立つことを実践することができる。

2. 態度

（人・社会人として）

14） 場に即した礼儀作法で振舞える。

15） 自分の行動に適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。

16） 自分の振る舞いに示唆・注意を受けたとき、受け入れることができる。

17） 自分の考えを論理的に整理し、分かりやすく表現し主張できる。

18） 話し合いにより相反する意見に対処し、解決することができる。

（医学を学ぶものとして）

19） 人間に関して興味と関心を持てる。

20） 自然現象・科学に興味と好奇心を持てる。

21） 学修目的・学修方法・評価法を認識して学修できる。

22） 動機・目標を持って自己研鑽できる。

23） 要点を踏まえて他の人に説明できる。

24） 社会に奉仕・貢献する姿勢を示すことができる。

3. 人間関係

（人・社会人として）

25） 人間関係の大切さを認識し、積極的に対話ができる。

26） 学生生活・社会において良好な人間関係を築くことができる。

27） 信頼に基づく人間関係を確立できる。

28） 対立する考えの中で冷静に振舞える。

（医学を学ぶものとして）

29） 共通の目的を達成するために協調できる。

30） 対立する考えの中で歩み寄ることができる。

4. 一般社会・科学に於ける倫理

（社会倫理）

31） 社会人としての常識・マナーを理解し実践できる。

32） 法を遵守する意義について説明できる。

33） 自分の行動の倫理性について評価できる。

34） 自分の行動を倫理的に律することができる。

35） 個人情報保護を実践できる。

36） 他の人・社会の倫理性について評価できる。

（科学倫理）

37） 科学研究の重要性と問題点を倫理面から考え評価できる。

38） 科学研究上の倫理を説明し実践できる。

39） 動物を用いた実習・研究の倫理を説明し実践できる。

40） 個々の科学研究の倫理性について評価できる。

B 医師（医人）として

1. 医人としての人間性

（自己）

1） 健康と病気の概念を説明できる。

2） 医療・公衆衛生における医師の役割を説明できる。

3） 自己の医の実践のロールモデルを挙げることができる。

4） 患者／家族のニーズを説明できる。

5） 生の喜びを感じることができる。

6） 誕生の喜びを感じることができる。

7） 死を含むBad news の受容過程を説明できる。

8） 個人・宗教・民族間の死生観・価値観の違いを理解できる。

（患者・家族）

9） 診療を受ける患者の心理を理解できる。

10） 患者医師関係の特殊性について説明できる。

11） 患者の個人的、社会的背景が異なってもわけへだてなく対応できる。

12） 医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを認識して医療を実践できる。

13） 病者を癒すことの喜びを感じることができる。

14） 家族の絆を理解できる。

15） 親が子供を思う気持ちが理解できる。

16） 死を含むBad news を受けた患者・家族の心理を理解できる。

17） 患者を見捨てない気持ちを維持できる。

（チーム医療、社会）

18） 医行為は社会に説明されるものであることを理解できる。

19） 医の実践が、さまざまな社会現象（国際情勢・自然災害・社会の風潮など）のなかで行われることを理解できる。

2. 医人としての態度

（自己）

1） 医療行為が患者と医師の契約的な関係に基づいていることを説明できる。

2） 臨床能力を構成する要素を説明できる。

3） チーム医療を説明できる。

4) 患者の自己決定権を説明できる。
5) 患者による医療の評価の重要性を説明できる。
6) 多様な価値観を理解することができる。

(患者・家族)

7) 傾聴することができる。
8) 共感を持って接することができる。
9) 自己決定を支援することができる。
10) 心理的社会的背景を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。(Narrative-based medicine, NBM)
11) 患者から学ぶことができる。
12) 患者の人権と尊厳を守りながら診療を行える。
13) 終末期の患者の自己決定権を理解することができる。
14) 患者が自己決定権を行使できない場合を判断できる。
15) 患者満足度を判断しながら医療を行える。＊

(チーム医療、社会)

16) 医療チームの一員として医療を行える。
17) 必要に応じて医療チームを主導できる。＊
18) クリニカル・パスを説明できる。
19) 医療行為を評価しチーム内の他者に示唆できる。＊
20) トリアージが実践できる。
21) 不測の状況・事故の際の適切な態度を説明できる。
22) 事故・医療ミスがおきたときに適切な行動をとることができる。＊
23) 社会的な奉仕の気持ちを持つことができる。
24) 特殊な状況（僻地、国際医療）、困難な環境（災害、戦争、テロ）でチーム医療を実践できる。＊

3. 医人としての人間関係

(自己)

1) 患者医師関係の歴史的変遷を概説できる。
2) 患者とのラポールについて説明できる。
3) 医療チームにおける共（協）働（コラボレーション）について説明できる。

(患者・家族)

4) 医療におけるラポールの形成ができる。
5) 患者や家族と信頼関係を築くことができる。
6) 患者解釈モデルを実践できる

(チーム医療、社会)

7) 患者医師関係を評価できる。
8) 医療チームメンバーの役割を理解して医療を行うことができる。
9) 360 度評価を実践できる。＊

4. 医療の実践における倫理

(自己)

1) 医の倫理について概説し、基本的な規範を説明できる。
2) 患者の基本的権利について説明できる。
3) 患者の個人情報を守秘することができる。

4) 生命倫理について概説できる。
5) 生命倫理の歴史的変遷を概説できる。
6) 臨床研究の倫理を説明できる。

（患者・家族）

7) 医学的適応・患者の希望・QOL・患者背景を考慮した臨床判断を実践できる。
8) 事前指示・DNR 指示に配慮した臨床判断を実践できる。＊

（チーム医療、社会）

9) 自分の持つ理念と医療倫理・生命倫理・社会倫理との矛盾を認識できる。
10) 自己が行った医療の倫理的配慮を社会に説明できる。
11) 臨床研究の倫理に基づく臨床試験を計画・実施できる。＊
12) 医療および臨床試験の倫理を評価できる。＊

5. 女性医師の資質・特徴

（自己）

1) 東京女子医科大学創立の精神を述べることができる。
2) 女性と男性の心理・社会的相違点を説明できる。
3) 女性のライフ・サイクルの特徴を説明できる。
4) 女性のライフ・サイクルのなかで医師のキャリア開発を計画できる。

（患者・家族）

5) 同性の医師に診療を受けることの女性の気持ちを理解する。
6) 異性の医師の診療を受ける患者心理（恐怖心・羞恥心・葛藤）を説明できる。
7) 女性が同性の患者教育をする意義を説明できる。

（チーム医療、社会）

8) 保健・公衆衛生における女性の役割を述べることができる。
9) 女性組織のなかでリーダーシップ・パートナーシップをとることができる。
10) 男女混合組織の中でリーダーシップ・パートナーシップをとることができる。
11) 女性医師としての保健・公衆衛生の役割を実践できる。＊

Ⅱ 技能・工夫・努力

A 人と人との信頼

1. 人としての基本的コミュニケーション

（自己表現）

1) 挨拶、自己紹介ができる。
2) コミュニケーションの概念・技能（スキル）を説明できる。
3) 言語的、準言語的、および非言語的コミュニケーションについて説明できる。
4) 自分の考え、意見、気持ちを話すことができる。
5) 様々な情報交換の手段（文書・電話・e メールなど）の特性を理解し適切に活用ができる。

（対同僚・友人・教員）

6) 年齢・職業など立場の異なる人と適切な会話ができる。
7) 相手の考え、意見、気持ちを聞くことができる。
8) 同僚に正確に情報を伝達できる。
9) 他の人からの情報を、第3 者に説明することができる。

2. 医人として基本的コミュニケーション

（対患者・家族）

1) 患者に分かりやすい言葉で説明できる。

2)　患者と話すときに非言語的コミュニケーション能力を活用できる。
3)　患者の状態・気持ちに合わせた対話が行える。
4)　患者の非言語的コミュニケーションがわかる。
5)　小児・高齢の患者の話を聞くことができる。
6)　障害を持つ人（知的・身体的・精神的）の話を聞くことができる。
7)　家族の話を聞くことができる。
8)　患者・家族の不安を理解し拒否的反応の理由を聞き出すことができる。

（対医療チーム・社会）

9)　チーム医療のなかで、自分と相手の立場を理解して情報交換（報告、連絡、相談）ができる。
10)　医療連携のなかで情報交換ができる。
11)　救急・事故・災害時の医療連携で情報交換が行える。＊
12)　社会あるいは患者関係者から照会があったとき、患者の個人情報保護に配慮した適切な対応ができる。

3. 医療面接におけるコミュニケーション

（基本的技能）

1)　自己紹介を含む挨拶を励行できる。
2)　基本的医療面接法を具体的に説明し、実践できる。
3)　患者の人間性（尊厳）に配慮した医療面接が行える。
4)　患者の不安な気持ちに配慮した医療面接を行える。
5)　共感的声かけができる。
6)　診察終了時に、適切な送り出しの気持ちを表現できる。
7)　適切な環境を設定できる。

（高次的技能）

8)　小児の医療面接を行える。
9)　高齢者の医療面接を行える。
10)　患者とのコミュニケーションに配慮しながら診療録を記載できる。

4. 身体診察・検査におけるコミュニケーション

（基本的技能）

1)　身体診察・検査の必要性とそれに伴う苦痛・不快感を理解して患者と接することができる。
2)　身体診察・検査の目的と方法を患者に説明できる。
3)　説明しながら診察・検査を行うことができる。
4)　患者の安楽に配慮しながら診察・検査ができる。
5)　診察・検査結果を患者に説明できる。

（高次的技能）

6)　患者の抵抗感、プライバシー、羞恥心に配慮した声かけと診察・検査の実践ができる。
7)　検査の目的・方法・危険性について口頭で説明し、書面で同意を得ることができる。

5. 医療における説明・情報提供

（基本的技能）

1)　医療における説明義務の意味と必要性を説明できる。
2)　インフォームド・コンセントの定義と必要性を説明できる。
3)　患者にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で表現できる。

4) 説明を行うための適切な時期、場所と機会に配慮できる。
5) 説明を受ける患者の心理状態や理解度について配慮できる。
6) 患者に診断過程の説明を行うことができる。
7) 患者に治療計画について説明を行い、相談して、同意を得ることができる。
8) 患者に医療の不確実性について説明することができる。
9) 患者にEBM (Evidence Based Medicine) に基づく情報を説明できる。
10) セカンドオピニオンの目的と意義を説明できる。

(高次的技能)

11) 患者の行動変容に沿った説明・情報提供ができる。
12) 患者の質問に適切に答え、拒否的反応にも柔軟に対応できる。
13) 患者の不安を理解し拒否的反応の理由を聞き出すことができる。＊
14) 患者の受容に配慮したBadnews の告知ができる。＊
15) 家族の気持ちに配慮した死亡宣告を行うことができる。＊
16) 家族の気持ちに配慮した脳死宣告を行うことができる。＊
17) 特殊な背景を持つ患者・家族への説明・情報提供ができる。＊
18) セカンドオピニオンを求められたときに適切に対応できる。＊
19) 先進医療・臓器移植について説明を行い、同意を得ることができる。＊
20) 臨床試験・治験の説明を行い、同意を得ることができる。＊

B 信頼できる情報の発信と交換

1. 診療情報

(基本的技能)

1) POMR に基づく診療録を作成できる。
2) 診療録の開示を適切に行える。
3) 処方箋の正しい書き方を理解している。
4) 診療情報の守秘を実践できる。

(高次的技能)

5) 病歴要約を作成できる。
6) 紹介状・診療情報提供書を作成できる。
7) 医療連携のため適切に情報を伝達できる。
8) 診療情報の守秘義務が破綻する場合を説明できる。

2. 医療安全管理

(基本的技能)

1) 医療安全管理について概説できる。
2) 医療事故はどのような状況で起こりやすいか説明できる。
3) 医療安全管理に配慮した行動ができる。
4) 医薬品・医療機器の添付資料や安全情報を活用できる。

(高次的技能)

5) 医療事故発生時の対応を説明できる。
6) 災害発生時の医療対応を説明できる。

「至誠と愛」の実践学修の概要

【６本の柱】

⑴ 専門職としての態度、マナー、コミュニケーション能力（患者を理解する力、支持する力、意志を通わす力、患者医師関係）

⑵ 専門職としての使命感（医学と社会に奉仕する力）

⑶ 医療におけるリーダーシップ・パートナーシップ

⑷ 医療人としての倫理―解釈と判断（法と倫理に基づく実践力）

⑸ 女性医師のキャリア・ライフサイクル（医師として、女性医師として生涯研鑽する姿勢）

⑹ 自校の理念、歴史を知る（自校教育）

Ｓ１：「至誠と愛」の実践学修１		６本の柱					
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
講義	・「至誠と愛」の実践学修オリエンテーション	○	○	○	○	○	○
	・医学部新入生へのメッセージ	○	○	○	○	○	○
	・医学生としての矜持	○	○			○	○
	・キャリアを考える						
	(1)「医学の学び方」		○	○			○
実習	(2)「シミュレーション教育」	○					
講義	・社会規範教育（1）「総論」	○	○	○	○	○	○
	・コミュニケーション						
	(1)「乳幼児の身体と心の成長と発達」	○					
	(2)「高齢者の心とからだを知る」	○					
	(3)「マナーの実践（総論）」	○					
	・医療倫理原則						
	(1)「生と死の倫理的問題」				○		
	(2)「インフォームドコンセント/アセント」	○	○		○		
	・生命倫理の基礎：生命と「いのち」・人と人間を考える				○		
	・行動科学(1)「人の心理と行動」	○					
	・自省と気付き（1）「「プロフェッショナル～医師になるということ～」」		○				
	・チーム医療(1)「医師の役割と医療の実際」	○	○	○			
行事	・吉岡彌生記念講演会		○				○

Ｓ２：「至誠と愛」の実践学修２		６本の柱					
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
講義	・医とは何か		○	○			○
	・キャリアを考える						
	(3)「アントレプレナーシップ教育」	○	○	○			
	(4)「再生医療を学ぶ」	○	○	○			
実習	・ハンディキャップのある人とのコミュニケーション「体験実習」	○					
	・コミュニケーション(3)「マナーの実践」	○					
	・チーム医療						
	(2)「医師の役割と医療の実際　外来・病棟実習」	○	○	○			
講義	(3)「看護実践の原理とチーム医療」	○	○				
実習	(4)「看護師の役割と看護の実際・病棟実習」	○		○			

セグメント3 以降へ続く

「至誠と愛」の実践学修１

「至誠と愛」の実践学修入門到達目標

理想に燃え、医学の道を選んだこの時期に、自分を見つめ、人とは何か、人間の生きる意味とは何かを考えながら、将来望ましい医師に成長するための基礎を築く。人間関係の基本は、相手の立場に立って考え、相手の意向を尊重して振舞うことである。その第一歩は「気付き」である。そのためセグメント１で与えられるあらゆる機会の中で、感性を磨き、想像力を豊かにする。さらに、人はなぜそのような行動をするのかを知ることによってコミュニケーションが深まる。そのために行動科学を学び、理解し、身につける。また、複数の人の利害は一致するとは限らず、簡単には是非を論じ難い事柄が多い。そのために倫理を含む、社会における基本的なルールを学び理解する。

セグメント1

Ⅰ　講　義　　「至誠と愛」の実践学修オリエンテーション　　野原 理子

「至誠と愛」の実践学修の到達目標は、医療人としての人間性、態度、コミュニケーション能力、倫理を学び、創立者の理念である「至誠と愛」を現代の医療で実践する女性医師・医学研究者となるために、気づき、振る舞い、自己開発ができることである。6年間のカリキュラムにおいて縦断的に学びを深め、目標に到達するためにさまざまな講義、実習、ワークショップが具体的な学修方略とともに配置されている。

Ⅱ　講　義　　医学部新入生へのメッセージ　　山中　寿

希望に燃えて東京女子医科大学に入学した医学生が、東京女子医科大学で学ぶ上において知っておいていただきたいことを概説する。学長としての自己紹介に始まり、医師とはどういう資格であるか、医学部を卒業してからのキャリアビジョン、ジェンダーレス社会における女性医師の存在意義、そして在学中に必要な自己研鑽の必要性などを話す。

Ⅲ　講　義　　医学生としての矜持　　村﨑 かがり

医師は人の命にかかわり、人の健康を守る責務をもつ高度の専門職であり、公益性、道徳性、専門性が強く求められる。「至誠と愛」の実践学修は人として、医学生として、そして医師としての人間性、態度、コミュニケーション能力、倫理を学び、医のプロフェッショナリズムを培うことを目的としている。将来、医師となる学生ひとりひとりが医学・医療を志すことを決めた原点に立ち、襟を正し、誇りをもって学生生活を送ってもらいたい。

Ⅳ　講　義　　キャリアを考える（1）「医学の学び方」　　北村　聖

医学部6年間の教育は、定められた目標（アウトカム）に向かってカリキュラムが組まれており、その全体像と、自分のいる位置を把握することが大切である。大学という専門課程で医学を専攻し医師となるためには、膨大な量の知識を身につけなくてはならないが、更に問題解決能力を獲得しなくてはならない。それにはどんな学修方法が必要なのかを学ぶ。

Ⅴ　講　義　　社会規範教育（1）「総論」　　石黒直子、小川久貴子、村﨑かがり、清水洋子、宮田麻理子、吉武久美子、西村勝治、諏訪茂樹、柳澤直子

本学の建学の精神に謳われている「人格を陶冶（とうや）」することを目的として、①自校教育、②挨拶の重要性、③ボランティア精神、④掃除道、⑤医療人としての考え方「社会規範について」、⑥共感･信頼関係の形成法の6つの要素について学び、各自が行動目標を立て、実践する。

Ⅵ　講　義　　コミュニケーション（1）「乳幼児の身体と心の成長と発達」　松尾真理、浦野真理

ヒトは出生後、乳児期、幼児期、学童期、思春期を経て成人となる。乳児期、幼児期は心身の発達がめざましい時期であり、この時期の子どもとのコミュニケーションには年齢に応じた対応が必要となってくる。また、特に言語によるコミュニケーションが可能になるまでの小児期（新生児期、乳児期、幼児期）では、母親または母親に代って小児のケアにあたる人との間のコミュニケーションが重要である。乳幼児の発達段階、心理、行動について、乳幼児とのコミュニケーションについて理解することを講義の目的とする。

Ⅶ　講　義　　コミュニケーション（2）「高齢者の心とからだを知る」　坂東　美知代

世界一の長寿国となったわが国において、医学・医療の対象となる多くの部分を高齢者が占め、その比率は増加の一途をたどることが予測される。高齢者の心とからだの健康は、加齢・老化、病気、ライフスタイル、そして発達課題への適応力などにより個人差が生じてくる。本講義では、これらの高齢者の健康や適応力を踏まえ、高齢者とのコミュニケーションについて考えることを目的とする。

Ⅷ　講　義　　コミュニケーション（3）「マナーの実践（総論）」　日野原眞紀　横田仁子

「ビジネスマナー」とは、社会人が仕事をするうえで、良い人間関係を築くため、人との関係をスムーズに保つための心得だが、学生にとっても社会生活をおくるうえで、最低限のマナーを身につける必要がある。マナーとは「心」であり、いつも相手の気持ちを思いやることが大切で、特に医師は、患者・患者家族の立場となり、適切な身だしなみや態度、言葉遣いなどで、信頼や安心感を与えることが重要となってくる。また、マナーは「ルール」とは違い、マナーの基本を知ったうえで、その場所や状況に応じて、臨機応変に対応することも大切である。

Ⅸ　講　義　　医療倫理原則（1）「生と死の倫理的問題」　西村 勝治

生と死に関わる倫理的問題の概要を理解することを目標とする。そのために、死に至る身体と心の過程、死にゆく人の恐怖と不安、全人的な苦痛について学ぶ。さらに人生の終末段階における医療（エンドオブライフ・ケア）における倫理的課題、具体的には延命医療、尊厳死と安楽死、脳死と臓器移植の概要を学ぶ。

生と死に関わる倫理的問題は医のプロフェッショナリズムを育む上で重要なテーマであり、上級の学年での講義、実習においても取り上げられるが、本講義はその導入部分に位置付けられる。最終的には患者や家族がもつ死生観、多様な価値観を理解し、自己決定権を含む患者の権利を尊重することを目指している。

Ⅹ　講義・ワークショップ　　医療倫理原則（2）「インフォームドコンセント／アセント」　竹村 洋典

インフォームドコンセント／アセントを理解し、説明できるようになる、さらに基礎的なインフォームドコンセントを実践できることを目標とする。

まず講義によってインフォームドコンセント／アセントの知識レベルの学習を行う。医療現場におけるインフォームドコンセント／アセントには様々な側面が存在するが、これらに関する定義、目的、方法などを講義、またインフォームド・コンセントにおける以下のような問題点について講義を行う。

・患者さんに提供すべき情報は？
・軽い認知障害のある患者、未成年の患者（インフォームドアセント）の場合は？

・心流を拒否された場合は？
・守秘義務の発生
・医療訴訟の発生
また、インフォームド・コンセントに係るいくつかの映画の一部を視聴してもらい、それに関して小グループで、議論してもらう。

Ⅺ　講　義　　生命倫理の基礎：生命と「いのち」・人と人間を考える　田畑　務

人は、必ず死ぬということが生まれた瞬間から決まっています。しかしながら、人はなかなか死を受け入れることはできません。そればかりか、自分が死ぬ姿を想像できる人はほとんどいません。ただ、自分が死ぬときは、病院のベッドの上より、自宅で最期を迎えたいと思う人が多いようです。我々多くの医師が生かすための医療を行っていますが、緩和医療のように命を終えるための医療も重要です。本講義では、皆さんと一緒に「いのち」について考えてみたいと思います。
また、「いのち」について考えるときに、生まれてくる「いのち」も人間にとって重要です。人が一番うれしいことは何かと問われた時に、「いのちの誕生」という方が多くいます。人間にとって家族が増えるというのは、この上ない喜びです。ただ、分娩はお母さんが命がけで新しい生命を誕生させることです。時によって母親が命を落とす危険性さえあります。この「いのちの誕生」についても、皆で考えたいと思います。

Ⅻ　講義・ワークショップ　行動科学（1）「人の心理と行動」　筒井 順子

医療者と患者双方の心の動きと行動について、自分自身の心理的傾向や行動特徴について振り返りながら学ぶことが目的である。医療者の心理と行動については、仕事に熱心な人ほど陥りやすいバーンアウトという心の状態について取り上げる。一方、患者の心理と行動については、心身に不調を感じた人が受診に至るまでの心の動きや行動について理解することを目的とする。さらに診断がついて患者となった人が治療を受け容れ、必要に応じて継続するために必要なサポートについても学ぶ。

XⅢ　講　義　　自省と気付き（1）「プロフェッショナル　～医師になるということ～」　西井 明子

自分とは何か？
自分は何をしたいのか？
自分はどんな時に悦びを感じるのか？
自分の人生にとって大切な事は何か？
今までで一番嬉しかった事は？　またそれはなぜ？
今まで一番辛かった事は？　またそれはなぜ？
　　などの対話を通して　ともに　考えてみませんか？

XⅣ　講　義　　チーム医療（1）「医師の役割と医療の実際」　西井　明子

医師の仕事は患者の診察・検査・治療をすることだけではない。一人ひとりの患者には、年齢、性別に始まり、家庭背景、職業、思想、経済的事情など、様々な背景がある。医師は自分だけで医療をすることはできない。そこには看護師、臨床検査技師、理学療法士、薬剤師、社会福祉士、医療事務職など、多くの専門職との協働作業がある。医師は医療現場でどのような業務を担い、他職種との協働を行っているのか、医学部に入学する前とは全く違う視線で医師の仕事について考え、学んで欲しい。この講義ではグループの中で職種を決め、それぞれの担当者になったつもりで、一人の患者についてどのように協働するかをディスカッションしながら考えていく。

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ「至誠と愛」の実践学修オリエンテーション	1. よりよい医療人となるために	1)　「至誠と愛」の実践学修の目的 2)　「至誠と愛」の実践学修の到達目標 3)　「至誠と愛」の実践学修の６本の柱 4)　６年間で学ぶこと
Ⅱ 医学部新入生へのメッセージ	1.　東京女子医科大学で学ぶ上において知っておいていただきたいこと	1）東京女子医科大学の歴史、建学の精神・大学理念を理解する 2）医師とはどういう資格か 3）医学部を卒業してからのキャリアビジョン 4）ジェンダーレス社会における女性医師の存在意義 5）自己研鑽の必要性
Ⅲ 医学生としての矜持	1.　規律を守る 2.　倫理観 3.　周囲との調和 4.　自己評価 5.　他者の倫理性の評価	1）校則を守る 2）社会的な規範を守る 1）人としてのマナー、振る舞い 2）医学生としてのあるべき振る舞い 1）周囲への思いやり 2）場に即した振る舞い 1）自分の行動の振り返り 1）他者への働きかけ、忠告
Ⅳ 医学の学び方	１．学修方法	1）医学教育の目標 2）アクティブラーニング 3）医学部における学修方法
Ⅴ 社会規範教育総論		1)　自校教育 2)　挨拶の重要性 3)　ボランティア精神 4)　掃除道 5)　医療人としての考え方「社会規範について」 6)　共感･信頼関係の形成法
Ⅵ 乳幼児の身体と心の成長と発達	1.　子どもの発達、心理、行動 2. 子どもとのコミュニケーション	1）運動、知能、社会性、生活習慣の発達 2）発達の評価 1）言語性コミュニケーション 2）非言語性コミュニケーション
Ⅶ 高齢者の心とからだを知る	1. ライフサイクルと高齢化 2.　加齢と老化 3. 高齢者とのコミュニケーション	1）超高齢社会の現況 2）人の一生、時代背景 3）老いを生きるとは 1）老化のとらえ方 2）加齢に伴う心とからだの変化 1）高齢者に起こりやすいコミュニケーション障害（老人性難聴、失語症、構音障害、認知症） 2）高齢者に寄り添うコミュニケーション（言語的・非言語的スキル）
Ⅷ マナーの実践（総論）	1. マナーのポイント	1）思いやり 2）臨機応変 3）挨拶 4）お辞儀

	2. コミュニケーションの取り方	1) 話の聞き方 2) 好印象を与える話し方
Ⅸ 医療倫理原則	1. 生と死の倫理的問題	1) 現在の死生観 2) 安楽死と尊厳死 3)「死ぬ瞬間」
	2. インフォームドコンセント	1) インフォームドコンセントの内容 2) インフォームドコンセントの留意点 3) 被験者におけるインフォームドコンセント 4) 治験審査と倫理審査委員会
Ⅹ 生命倫理の基礎 生命と「いのち」・人と人間を考える	1. 生命と「いのち」 2. 人と人間	1) 生命倫理の原則 1) Reproductive Health/Rights 2) 人間の尊厳 3) プレコンセプションケア
Ⅺ 行動科学 「人の心理と行動」	1. わかる、理解する、判断する	1) 批判的思考 2) 判断の偏り、誤り 3) 理解と批判 4) 好意的理解
	2. 診断的理解と共感的理解	1) 真実性 2) 受容 3) 援助的関係 4) 語ると傾聴
	3. コミュニケーション意欲	1) コミュニケーションとは 2) 話し手と聞き手 3) メッセージ 4) 共有しようとする意欲
	4. 聞き手のコミュニケーションスキル	1) マインドとテクニックとスキル 2) 言語と準言語と非言語 3) 閉ざされた質問と開かれた質問 4) うなずきと相づち 5) 繰り返しと要約 6) 受容と共感
Ⅻ 自省と気付き 「プロフェッショナル～医師になるということ～」	1. 人間性の涵養	1) 視野の拡大 2) 立場や考え方の多様さへの理解・洞察 3) 人間に関する興味・関心 4) 人生における今の自分の立場・状況の理解 5) 生きていることの意味・ありがたさの理解 6) 自分の考え・気持ち・価値観・問題意識の理解
ⅩⅢ 医師の役割と医療の実際	1. 態度 コミュニケーション	1) 医師の立場や役割 2) チーム医療、多職種連携 3) 患者やその家族とのコミュニケーション 4) 同僚とのピアラーニング

Ⅰ　実　習　　キャリアを考える（2）「シミュレーション教育」

西井明子、土井範子、番場嘉子、志賀智子

主　旨　医師が日常行っている、バイタルサインの測定を実践し、超音波検査を見学する。

目　的　患者の状態を把握する医学的方法と、その理解のためにはどのような医学知識が必要となるのかを考え、今後の基礎医学の学修の意義を理解する。

方　法　学年を2グループに分け、講義室とスキルラボに分かれて実習を行う。教育支援者として、臨床検査技師及びティーチング・アシスタント（TA）が指導する。講義室ではバイタルサインの測定の方法を学び、学生同士で実践する。スキルスラボでは、心臓超音波検査、腹部超音波検査を少人数グループに分かれて見学する。

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
シミュレーション教育	1. コミュニケーション 2. 学修の意義	1）患者への説明 2）橈骨動脈の触診、血圧測定 3）腹部超音波検査の見学 4）心臓超音波検査の見学

Ⅲ　試験科目表・試験日程表

試験科目表･試験日程表

試験科目

（必修科目）

人体の成り立ち

細胞の成り立ち

人体を構成する物質

体液と生体の恒常性

細胞の基本機能

（選択必修）

「ベーシック物理」「ベーシック化学」「ベーシック生物」から1科目

（学年縦断科目）

「至誠と愛」実践学修

基本的・医学的表現技術

国際コミュニケーション

AI・データサイエンスと医療

医学の学び方・考え方

（一般教養科目）

前期　2科目

後期　2科目

本試験

回	年月日	曜	講義室	時間（11桁）	講義内容	担当教員氏名
1	2025/07/08	火	302, 303	10:00-11:30	人体の成り立ち	藤枝　弘樹
2	2025/07/11	金	302, 303	10:00-11:30	細胞の成り立ち	石井　泰雄
3	2025/07/14	月	302, 303	10:00-11:30	人体を構成する物質	中村　史雄
4	2025/07/16	水	302, 303	10:00-11:30	体液と生体の恒常性	松浦　勝久
5	2025/07/18	金	302, 303	10:00-11:30	細胞の基本機能	中村　史雄

追・再試験

回	年月日	曜	講義室	時間（11桁）	講義内容	担当教員氏名
1	2025/08/20	水	301	10:00-11:30	人体の成り立ち	藤枝　弘樹
2	2025/08/20	水	301	13:00-14:30	細胞の成り立ち	石井　泰雄
3	2025/08/21	木	301	10:00-11:30	人体を構成する物質	中村　史雄
4	2025/08/21	木	301	13:00-14:30	体液と生体の恒常性	松浦　勝久
5	2025/08/22	金	301	10:00-11:30	細胞の基本機能	中村　史雄

Ⅳ　テュートリアル・TBL学修

Problem based learning（PBL）テュートリアルとTeam-based learning （TBL）について

PBLテュートリアル（テュートリアル）とTBLの概略

テュートリアルとTBLはいずれもactive learningに含まれる学修法である。本学では医師としての考え方を身につけるための学修法として、1990年度からPBLテュートリアルを導入し、問題解決能力の向上のための学修法として、2008年度からTBLを導入した。

１．PBLテュートリアル（テュートリアル）とこれまでの累進型について

テュートリアルでは、既に学んだあるいはこれから学ぶ知識を、人体内の現象、環境・外界と生体の関連、生体構造・機能の正常と異常、病態の理解と医療の実践、患者・家族・社会と医療・公衆衛生の関わりなどの視点で、どのように活用し、医師としてあるいは医学者として考え、判断する能力を修得する。医師は患者の問題を、研究者は科学的真理を自ら見つけ探究する専門職であり、テュートリアルはその方法と自ら生涯学ぶ姿勢を修得し発展できるための力と自信をつけるための学修法である。

その全体的な目的は：

1) 未知の課題（専門職として自分がなさなければならないこと）に取り組み、解決する力を身につける（能動学修）。
2) 実際の流れ（現象や症例）の中で、解決すべき問題を見つける力を身につける。
3) 問題を解決するための方法を自分で考え、情報検索を行い、分析・解釈を行う力を身につける（自己方向付け学修）。
4) 自分の問題解決（学修結果）を互いに教え合うことにより（グループ討論）、学修の確かさと不確かな点を明らかにして自分の学修を振り返り（省察）次の目標を立て、更に深く学び理解する姿勢を身につける。

これまでの大きな流れとして、1年生から4年生にかけて、自己学修を通じて行った問題解決を学生同士で教え合い振り返り合うテュートリアルの流れと学び方を学ぶ「入門テュートリアル」、課題から学修者が自分で解決すべき問題を考えて学修目標に設定する「学修項目発見型テュートリアル」、自分が必要なことは課題から発展させ、関係する領域全体を見渡して学ぶ「領域を統合して学ぶテュートリアル」、臓器・器官系の構造と機能の正常と異常についての学修をするとともに、医学的な診断治療だけではなく、患者・家族の心理、患者支援・医療費など社会とのつながり、疫学・公衆衛生などを包括的に学修する「診療問題解決型テュートリアル」へと累進し、学生が考える力を段階的に高めていけるように「累進型テュートリアル」という形を構築して実施してきた。

２．Team-based learning （TBL）と高学年セグメントでの学修の継続

TBLでは学生・教員間および学生・学生間の双方向性授業を通じてお互いの知識を活用し問題解決を行う。具体的には、個人で学修し、関連した問題について個人で解答し、次に小グループ（チーム）に分かれ討論・解答し、専門家（教員）からの説明を含むクラス全体の学修内容共有を行う学修法である。数回の授業を通じて基礎的学修だけでなく、発展・応用的な内容に進む。

2008年度から4年生後期（セグメント8）で問題解決能力のさらなる向上のために、従来の「診療問題解決型テュートリアル」に代わってTBLを導入し、診療上の問題解決の中で、診療・治療を

中心に考え方を学ぶ TBL が行われている。臨床実習に臨むにあたり、医師の基本能力ともいえる患者に至適な診断・治療を考えることを臨床推論 TBL という形式で学ぶ。また、2013 年度から 1 年生後期（セグメント 2）では「学修項目発見型テュートリアル」の段階でテュートリアルと TBL を組み合わせて行っており、ここでは、セグメント 1 で学んだテュートリアルの方法を発展させ、より上級学年で学ぶ医学への橋渡しとなる役割を果たしてきた。2020 年度から 2，3，4 年生（セグメント 3－7）においてもテュートリアルに代わって TBL による学修が開始された。TBL は 4 年生で終了するが、医師にとって必要な考え方を学ぶ学修は卒業まで続けられる。4 年生 1 月（セグメント 9）以降の「診療参加型臨床実習」はそれまでに学んできた問題解決能力を臨床で本格的に実践しながら学ぶ機会である。テュートリアルや TBL で体得した考える力は、卒業までに医師として思考力の継続的な向上につながっていく。

セグメント 1 テュートリアル

セグメント 1 では、4 年生まで行われる TBL でのグループワークをより円滑に行えるようになるために「学び方を学ぶ」とともに「グループ討論技術を修得する」ことを主目的として、テュートリアルを行う。学び方についてはテュートリアル実施時に配布される行動記録シートに「学修行動」として詳しく示されている。それをまとめたものが以下の要件である。

(1) 問題発見

課題をもとに、多面的発想や自分の興味に応じて自分で学びたいことを見つける。漠然とした疑問ではなく、自分が既に知っていることと知らないことを明らかにし、解決すべき問題を明確にしてグループで共有する。

(2) 問題解決

適切で信頼のある情報を検索し、問題点に合わせて分析・解釈を行い、論理的な思考、感覚的思考を区別して問題解決にあたる。インターネットや文献だけでなく、実際を体験するあるいはリソースパースンを利用するなど、問題解決の為に適切な調査・学修をする方法を実践する。学修の経過と問題解決の根拠を自分の学修記録と他者への説明のために、問題に対する解決過程をノートに記載する。

テュートリアル全体に共通して学生が意識し、学修に際して留意することは以下の３点である。

(1) グループワーク・態度・技能

問題解決のためにチームワークの良いグループ形成を目指す。グループ全員が話しやすい雰囲気・環境を作り、お互いの学修内容を自由に話し、気さくに疑問や様々な考えを話し合い、正しい理解と問題解決ができるように協働する。資料は白板を使って他者に分かるように説明する。

(2) 人間関係

ここで述べる人間関係とは、課題に含まれる人間性・心理・コミュニケーション等についての問題である。医学は科学的側面とともに、ヒトではなく「ひと」を対象として行われる人間性に基づく側面があることを意識してテュートリアルの課題に取り組む。

(3) テュートリアルへの姿勢

医師になる動機を反芻し、そのための重要な資質を自己開発するテュートリアルに積極的に参加し、医学生としての学ぶ姿勢を自覚する。

テュートリアルの方法と評価

テュートリアルの実施の詳しいやり方は、「テュートリアルガイド」に詳説されている。テュートリアルのグループセッション（テュータと学生グループが集まり教え合ったり討論したりする時間）は、14:00 から 15:40 の 100 分間である。この時間を有効に活用するために、テュートリアル実施日には事前学修時間（11:35～テュートリアル開始まで、昼休みを含む）と事後学修時間（15:50～17:00）が設けてある。この時間は全て授業時間であり、学生の出席が求められる。グループセッションへの出席はテュータが確認する。欠席・遅刻･早退はテュータによる学生評価で減点される。やむを得ない事情で欠席する場合は欠席届（病気欠席の場合は診断書を添付）を医学部学務課に提出する。届けの提出された欠席については、学年教育委員会が正当な理由か否かを判断する。

テュートリアルの実施の中で以下の 4 点を実践する。

(1) 自己学修

準備無くしてテュートリアルに出席してはならない。考えて学んできたことをお互いに教え合う中で、不確かなこと、新たに解決すべき問題が明らかになる。グループで決めた共通の学修項目はひとり一人が学修することで次のグループセッションが有効な学修の場となる。グループセッションの前後には自己学修時間が設定されており、この時間を含めて十分な学修を行ってグループセッションに臨まなくてはならない。

(2) テュートリアルノート作成

テュートリアルでは、教科書に書かれている知識を学ぶだけでなく、課題についてどのようにその知識を用いるかを考える。予想と異なる現象、個人によって異なる病気の進行など、課題（事例）に合わせた問題点を見つけ、その解決を行う過程をノートに残すことが重要である。

(3) 各グループセッションの後でアセスメント（振り返り）を行う。

アセスメントは、その日のセッションの自分とグループを振り返る時間であり毎回必ず行う。医師は生涯自分の能力を高めるには、自分の良い点、改善を要する点を自ら評価して、良い点はますます向上させ、改善すべき点は修正していくことが必要である。そのために自分を振り返ることは必要である（省察)。テュートリアルのアセスメントでは、自分やグループの良い点と新たな目標を共有することで、自分の行うべきこと、グループとして目指すことが明確になる。

自分・グループの気づかなかった良い点も、他者から指摘してもらうことにより更に向上できる。反省会ではなく、向上のための目標を立てる機会としてなくてはならない。

(4)評価

学生のテュートリアル評価はテュータによる評価を基に行われる。テュートリアルの目標である学修過程の修得およびその結果としての学識の獲得について、4 回のグループセッションを通じてテュータが評価を行う。評点は 5 点満点で、課題毎に評価が行われる。テュータの行った評価は、欠席・遅刻・早退の評価が加味され、最終的に学年教育委員会で審議され、医学部教授会で決定される。全課題の平均評点が 2 点未満の場合は進級できない。

2025年度　Ｓ１テュートリアル課題一覧表

テュートリアル日程	課題番号	課　題　名
４月１５日（火） ４月１８日（金） ４月２２日（火） ４月２５日（金）	1	温かい？冷たい？
５月　９日（金） ５月１３日（火） ５月１６日（金） ５月２０日（火）	2	測る
５月２３日（金） ５月２７日（火） ５月３０日（金） ６月　３日（火）	3	ナイス コラボ！
６月　６日（金） ６月１０日（火） ６月１３日（金） ６月１７日（火）	4	逆方向

セグメント１　　テューター一覧

山口	慎史	助教	（責任者　　衛生学公衆衛生学）
宮山	貴光	助教	（責任者　　衛生学公衆衛生学）
藤木	恒太	助教	（責任者　　衛生学公衆衛生学）
吉田	慶太	助教	（責任者　宮田麻理子教授　生理学）
東	剣虹	助教	（責任者　宮田麻理子教授　総合医科学研究所）
大野	奈緒子	助教	（責任者　宮田麻理子教授　総合医科学研究所）
高木	亮	助教	（責任者　清水達也教授　先端生命医科学研究所）
出嶋	克史	助教	（責任者　宮田麻理子教授　生理学）
本間	一	講師	（責任者　　衛生学公衆衛生学）
有末	伸子	助教	（責任者　　衛生学公衆衛生学）
小林	純	講師	（責任者　清水達也教授　先端生命医科学研究所）
中山	正道	講師	（責任者　清水達也教授　先端生命医科学研究所）
高橋	宏信	講師	（責任者　清水達也教授　先端生命医科学研究所）
菊地	鉄太郎	助教	（責任者　清水達也教授　先端生命医科学研究所）
島田	亮	准教授	（責任者　木林和彦教授　法医学）
有益	優	助教	（責任者　倉田厚教授　病理学）
新敷	信人	助教	（責任者　中村史雄教授　生化学）
永峯	大輝	助教	（責任者　　衛生学公衆衛生学）
岩下	華子	准講師	（責任者　　衛生学公衆衛生学）

Ⅴ　セグメント１教育委員会・学生アドバイザー・学生委員

セグメント１教育委員会

委　員　長	柳　澤　直　子	教　授（微生物学免疫学）
副委員長	中　村　史　雄	教　授（生化学）＊S2 教育委員長
〃	宮　田　麻理子	教　授（生理学(神経生理学分野)）
委　　員	藤　枝　弘　樹	教　授（解剖学(神経分子形態学分野)）
〃	松　浦　勝　久	教　授（薬理学(薬理学分野)）
〃	辻　野　賢　治	准教授（統合教育学修センター基礎科学）
〃	中　村　裕　子	講　師（統合教育学修センター基礎科学）
〃	石　井　泰　雄	講　師（統合教育学修センター基礎科学）

テュートリアル・TBL 委員会

委　員　長	中　村　真　一	教　授（消化器内科学）
副委員長	越　野　一　朗	講　師（統合教育学修センター基礎科学）
〃	飯　嶋　睦	教　授（脳神経内科学分野）
	山　村　幸　江	准教授（耳鼻咽喉科学）

セグメント１	越　野　一　朗	講　師（統合教育学修センター基礎科学）
	辻　野　賢　治	准教授（統合教育学修センター基礎科学）
	中　村　裕　子	講　師（統合教育学修センター基礎科学）

「至誠と愛」の実践学修教育委員会

委　員　長	野　原　理　子	教　授（衛生学公衆衛生学(公衆衛生学)）
副委員長	柳　澤　直　子	教　授（微生物学免疫学）

AI・データサイエンスと医療教育委員会

委　員　長	正　宗　　賢	教　授（先端生命医科学研究所）

国際コミュニケーション委員会

委　員　長	長　坂　安　子	教　授（麻酔科学）
副委員長	佐　藤　明　可	講　師（統合教育学修センター基礎教育学）

基本的・医学的表現技術教育委員会

委　員　長	木　林　和　彦	教　授（法医学）
副委員長	辻　村　貴　子	講　師（統合教育学修センター基礎教育学）

学生委員

第１学年担当	柳　澤　直　子	教　授（微生物学免疫学）
勉強関係	西　井　明　子	教　授（統合教育学修センター）
健康関係	横　田　仁　子	准教授（学生健康管理室）
健康関係	西　村　勝　治	教　授（精神医学）

Ⅵ　選択科目

選択科目履修要領（第1～第4学年）

1.　科目名(23科目)

初級ドイツ語	初級中国語	心理学	物理学
初級フランス語	倫理学	医療人のための経済学	化学
English for Medical Professionals	文化人類学	医療人のための法学	食と栄養の科学
Preparation for Study Abroad	女性とジェンダー	医療と社会デザイン	医学情報学
医療英語（Medical English ）	哲学	数学	フィットネスの理論と実技
初級コリア語	歴史学	生物学	

2. 開講期間・曜日・時限
開講期間は各科目とも半年間です。その時期は前期を4/23から9/17、後期は9/24から翌年1/28までの
水曜日5 限（15：20～16：30）、6 限（16：45～ 17：55）に開講する。

3. ガイダンスおよび履修登録について
・**ガイダンス**　新入生オリエンテーション時に実施します。学修の手引きを参照の上、履修登録を行うこと。

・**履修登録**について
１年生前期：
新入生オリエンテーション時に配布する学修の手引きをよく読み、Google フォームにて出席番号、氏名を入力し、履修希望科目を選び、送信すること。
登録期間は 4 月 11 日(金)12:30 まで
※１．期間厳守のこと。その後の申請は一切認めない。
２．Google フォームにて履修申請し、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。
３．科目によって受講者数を制限することがある。
４．登録結果および各科目の講義室は、開講日までに学生ポータルサイト１年総合掲示板に掲載する。
３．により登録されなかった科目があった場合の指示もこの時に掲載する。
１年生後期、および 2～4 年(前・後期):
新学年ポータルサイトからの web 登録のみ受付を行う。
登録方法の詳細は登録期間前に各学年の総合掲示板に掲載する。
登録期間は次のとおり。
前期分…4 月 1 日(火)～4 月 11 日(金)12:30 まで（期間を過ぎると登録できない。）
後期分…8 月 25 日(月)～9 月 4 日(木)12:30 まで（　　〃　　）
※１．web 登録を行い、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。
２．受講者数の制限、登録結果等の掲載方法は上記と同様

4. 履修認定について
各科目は2単位(半年間)の科目を4年次までにのべ6科目以上（12単位以上）履修しなければならない。
そのうち2科目以上は人文・社会科学系の科目(学生便覧:学則第9条関係別表Ⅰ)とする。
各科目の講義内容は、前期・後期が同じ場合も異なる場合もある。この場合、同一科目でも内容あるいは段階が異なるものなら2科目と認められる。 なお、他大学での既修得単位を認定する場合がある。（以上、**学生便覧参照**）

5. 履修登録完了後は、その取り消しおよび変更は認めない。

6. 選択科目の成績は及落判定の対象となる。ただし、ある学年で選択科目が不合格の場合、上級学年で単位を取得できると認められるときに限って、及落には特別の配慮を行うことがある。

7. なお、第2～第4学年では、上記12単位の他に指定する他大学のオープン科目(自由選択)の中からさらに受講することができる。取得した単位は、東京女子医科大学医学部では増加単位として認められる。(卒業単位へは算入されない)

医学部 選択科目時間割

前　　期

【水曜　5限　15:20～16:30】

前　期（4月23日～9月17日）	
~~初級フランス語Ⅰ（）~~　令和7年度は非開講	
Preparation for Study Abroad Ⅰ（大野）	
医療英語（Medical EnglishⅠ）（遠藤）	（共通）
初級中国語Ⅰ（舘）	（共通）
哲学Ａ（宮田）	（共通）
医療人のための法学Ａ（中島）	（共通）
~~医療と社会デザインＡ（）~~　令和7年度は非開講	
医学情報学（田村）	
心理学Ａ（大塚）	
フィットネスの理論と実技Ａ（沢田）　※	

【水曜　6限　16:45～17:55】

前　期（4月23日～9月17日）	
初級ドイツ語Ⅰ（伊藤）	（共通）
English for Medical Professionals Ⅰ（長坂）	
初級コリア語Ⅰ（朴）	（共通）
倫理学Ａ（磯部）	（共通）
歴史学Ａ（菅原）	（共通）
医療人のための経済学Ａ（粟沢）	（共通）
数学Ａ（小野木）	
フィットネスの理論と実技Ｂ（沢田）　※	

後　　期

【水曜　5限　15:20～16:30】

後　期（9月24日～1月28日）	
~~初級フランス語Ⅱ（）~~　令和7年度は非開講	
Preparation for Study Abroad Ⅱ（大野）	
医療英語（Medical EnglishⅡ）（遠藤）	（共通）
初級中国語Ⅱ（舘）	（共通）
哲学Ｂ（宮田）	（共通）
医療人のための法学Ｂ（中島）	（共通）
~~医療と社会デザインＢ（）~~　令和7年度は非開講	
生物学（後期）（石井）	
物理学（後期）Ｂ（辻野）	
化学（後期）（中村）	

【水曜　6限　16:45～17:55】

後　期（9月24日～1月28日）	
初級ドイツ語Ⅱ（伊藤）	（共通）
English for Medical Professionals Ⅱ（長坂）	
初級コリア語Ⅱ（朴）	（共通）
倫理学Ｂ（磯部）	（共通）
歴史学Ｂ（菅原）	（共通）
医療人のための経済学Ｂ（粟沢）	（共通）
数学Ｂ（小野木）	
物理学（後期）Ａ（辻野）	
心理学Ｂ（佐藤）	
食と栄養の科学（松井）	

（共通）は看護学部との共通科目です。

※「フィットネスの理論と実技」の5限と6限は同じ内容です。どちらか１つしか履修できません。

＜看護学部の開講科目＞

【水曜　5限　15:15～16:25】

※授業開始時間が医学部開講科目と異なりますので、ご注意ください。

前　期（4月23日～9月17日）	
文化人類学Ａ（宍戸）　※	（共通）
女性とジェンダーＡ（平川）　※	（共通）

【水曜　5限　15:15～16:25】

後　期（9月24日～1月28日）	
文化人類学Ｂ（宍戸）　※	（共通）
女性とジェンダーＢ（平川）　※	（共通）

※「文化人類学」と「女性とジェンダー」の前期と後期は同じ内容です。どちらか１つしか履修できません。

Ⅶ　講義・実習時間割表

令和7年度　Segment1　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第1週	4／7 月	入学式・オリエンテーション					
	4／8 火	オリエンテーション					
	4／9 水	オリエンテーション					
	4／10 木	オリエンテーション					
	4／11 金	(講義) 「至誠と愛」実践学修-1 「至誠と愛」の実践学修 オリエンテーション (衛生学公衆衛生学 野原)	(講義) 「至誠と愛」実践学修-2 医学部新入生へのメッセージ (学長　山中)	(講義) AI・データサイエンスと医療-1 学生ポータル・webメールの使い方 (総合医科学研究所 赤川)	(選択必修科目) 自然科学学識調査 (統合教育学修センター基礎科学　辻野、中村、石井)		
	4／12 土						

令和7年度　Segment1　講義・実習時間割表

		Ⅰ 09:00　10:10	Ⅱ 10:25　11:35	Ⅲ 12:30　13:40	Ⅳ 13:55　15:05	Ⅴ 15:15　16:25	Ⅵ 16:35　17:45
第2週	4／14 月	(講義) 国際コミュニケーション 国際コミュニケーション授業のオリエンテーション (麻酔科学　長坂) (統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ)	(講義) テュートリアル・TBL テュートリアル・PBL・TBL学修について (ﾃｭｰﾄﾘｱﾙ委員長　中村)	(講義) 基本的・医学的表現技術-1 基本的・医学的表現技術　オリエンテーション、医学・医療における日本語学習 (法医学　木林)	(選択必修科目) 選択必修科目-1 ベーシック物理-1 ベーシック化学-1 ベーシック生物-1 (統合教育学修センター基礎科学)	(選択必修科目) 選択必修科目-2 ベーシック物理-2 ベーシック化学-2 ベーシック生物-2 (統合教育学修センター基礎科学)	(選択必修科目) 選択必修科目-3 ベーシック物理-3 ベーシック化学-3 ベーシック生物-3 (統合教育学修センター基礎科学)
	4／15 火	(講義) AI・データサイエンスと医療-2 ネットワークセキュリティと電子カルテ (病院情報ｼｽﾃﾑ室　山崎)	(WS) 「至誠と愛」実践学修-3 医学生としての矜持 (予防医学科　村﨑)	(講義) 基本的・医学的表現技術-2 S1テュートリアルレポートの書き方 (統合教育学修センター基礎科学　越野)	(テュートリアル・TBL) PBLテュートリアル 14:00～15:40 課題1-1		(オリエンテーション) 親睦会 (統合教育学修センター西井)
	4／16 水	(講義) 国際コミュニケーション 医療分野での英語使用の実際：国際的に活躍する医療人像 (統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ)(先端生命医科学研究所　北原)	(講義) 国際コミュニケーション 医療分野での英語使用の実際：国際的に活躍する医療人像 (統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ) (麻酔科学　岡野)	(講義) 国際コミュニケーション Placement Test (統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ)	(講義) 国際コミュニケーション Placement Test (統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ)	(選択科目)※予定 15:20～16:30	(選択科目)※予定 16:45～17:55
	4／17 木	(講義) 人体の成り立ち-1 総論（１）　科目の概要、人の健康と寿命 (解剖学・神経分子形態学　藤枝) (衛生学公衆衛生学・環境産業医学　蒋池)	(講義) 細胞の成り立ち-1 科目の概要、生物とは何か (統合教育学修センター基礎科学　石井)	(講義) AI・データサイエンスと医療-3 情報倫理（肖像権、著作権、他人の個人情報の扱い） (統合教育学修センター基礎教育学　辻村)	(選択必修科目) 選択必修科目-4 ベーシック物理-4 ベーシック化学-4 ベーシック生物-4 (統合教育学修センター基礎科学)	(選択必修科目) 選択必修科目-5 ベーシック物理-5 ベーシック化学-5 ベーシック生物-5 (統合教育学修センター基礎科学)	(選択必修科目) 選択必修科目-6 ベーシック物理-6 ベーシック化学-6 ベーシック生物-6 (統合教育学修センター基礎科学)
	4／18 金	(講義) 人体の成り立ち-2 総論（２）　人の多様性 (衛生学公衆衛生学・環境産業医学　廣田)	(講義) 「至誠と愛」実践学修-4 キャリアを考える(1)「医学の学び方」 (北村)	(テュートリアル・TBL) 自己学修	(テュートリアル・TBL) PBLテュートリアル 14:00～15:40 課題1-2		(テュートリアル・TBL) 15:50～17:00 自己学修
	4／19 土						

令和7年度　Segment1　講義・実習時間割表

		Ⅰ 09:00　10:10	Ⅱ 10:25　11:35	Ⅲ 12:30　13:40	Ⅳ 13:55　15:05	Ⅴ 15:15　16:25	Ⅵ 16:35　17:45
第3週	4／21 月	(講義) 人体の成り立ち-3 総論（３）　人の進化と退化 (先端生命医科学研究所 北原)	(講義) 細胞の成り立ち-2 細胞を構成する物質 (統合教育学修センター 基礎科学　石井)	(講義) 細胞の成り立ち-3 真核細胞と原核細胞 (統合教育学修センター 基礎科学　石井)	(選択必修科目) 選択必修科目-7 ベーシック物理-7 ベーシック化学-7 ベーシック生物-7 (統合教育学修センター 基礎科学)	(選択必修科目) 選択必修科目-8 ベーシック物理-8 ベーシック化学-8 ベーシック生物-8 (統合教育学修センター 基礎科学)	(選択必修科目) 選択必修科目-9 ベーシック物理-9 ベーシック化学-9 ベーシック生物-9 (統合教育学修センター 基礎科学)
	4／22 火	(講義) AI・データサイエンスと医療-4 図書・文献の探し方、My libraryの使い方 (図書館　加藤、野田、重川)(図書館 メディアラボ　田部)	(講義) 人体の成り立ち-4 人体の内部構造（１）　運動系 (解剖学・神経分子形態学　藤枝)	(チュートリアル・TBL) 自己学修	(チュートリアル・TBL) PBLチュートリアル 14:00～15:40 課題1-3		(チュートリアル・TBL) 15:50～17:00 自己学修
	4／23 水	(講義) 国際コミュニケーション e-learning ガイダンス・登録／オンライン授業オリエンテーション／英文書式、英文メールの書き方（演習） (統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ)		(講義) 人体の成り立ち-5 人体の内部構造（２）　神経系 (解剖学・神経分子形態学　藤枝)	(講義) 「至誠と愛」実践学修-5 社会規範教育(1)　「総論」 (精神医学　西村)(糖尿病・代謝内科学　中神朋子)(皮膚科学 石黒)(神経生理学　宮田)(予防医学科　村崎)(統合教育学修センター基礎教育学　諏訪)(看護学部　小川、吉武、清水)(微生物学免疫学 柳澤)	(選択科目)※予定 15:20～16:30	(選択科目)※予定 16:45～17:55
	4／24 木	(講義) 人体の成り立ち-6 人体の内部構造（３）　吸収系 (先端生命医科学研究所 北原)	(講義) 細胞の成り立ち-4 細胞の研究法 (顕微解剖学・形態形成学　菊田)	(講義) AI・データサイエンスと医療-5 統計の基本（基本統計量、確率変数、確率密度関数、二項分布、正規分布） (総合医科学研究所 末廣)	(選択必修科目) 選択必修科目-10 ベーシック物理-10 ベーシック化学-10 ベーシック生物-10 (統合教育学修センター 基礎科学)	(選択必修科目) 選択必修科目-11 ベーシック物理-11 ベーシック化学-11 ベーシック生物-11 (統合教育学修センター 基礎科学)	
	4／25 金	(講義) 人体の成り立ち-7 人体の内部構造（４）　排泄系 (先端生命医科学研究所 北原)	(講義) 人体の成り立ち-8 人体の内部構造（５）　循環系 (解剖学・神経分子形態学　藤枝)	(チュートリアル・TBL) 自己学修	(チュートリアル・TBL) PBLチュートリアル 14:00～15:40 課題1-4		(チュートリアル・TBL) 15:50～17:00 自己学修
	4／26 土						

令和7年度　Segment1　講義・実習時間割表

		Ⅰ 09:00　10:10	Ⅱ 10:25　11:35	Ⅲ 12:30　13:40	Ⅳ 13:55　15:05	Ⅴ 15:15　16:25	Ⅵ 16:35　17:45
第4週	4／28 月	(講義) 細胞の成り立ち-5 細胞膜１ (統合教育学修センター 基礎科学　越野)	(講義) 細胞の成り立ち-6 細胞膜2 (統合教育学修センター 基礎科学　越野)	(講義) 細胞の成り立ち-7 核１ (統合教育学修センター 基礎科学　石井)	(講義) 基本的・医学的表現技術-3 自発的な表現と賢く向き合う (統合教育学修センター 基礎教育学　辻村)	(講義) AI・データサイエンスと医療-6 医療データの処理と統計解析I（t検定、F検定、χ二乗検定、線形回帰） (総合医科学研究所　東)	(選択必修科目) 選択必修科目-12 ベーシック物理-12 ベーシック化学-12 ベーシック生物-12 (統合教育学修センター 基礎科学)
	4／29 火	**昭和の日**					
	4／30 水	**休業**					
	5／1 木	**休業**					
	5／2 金	**休業**					
	5／3 土	**憲法記念日**					

令和7年度　Segment1　講義・実習時間割表

		Ⅰ 09:00　10:10	Ⅱ 10:25　11:35	Ⅲ 12:30　13:40	Ⅳ 13:55　15:05	Ⅴ 15:15　16:25	Ⅵ 16:35　17:45
第5週	5／5 月	こどもの日					
	5／6 火	振替休日					
	5／7 水	(講義) 国際コミュニケーション Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking (統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) 「至誠と愛」の実践学修-6 コミュニケーション(1)「乳幼児の身体と心の成長と発達」 (遺伝子医療センター　松尾、浦野)	(実習) 「至誠と愛」の実践学修-(実習)-1 キャリアを考える(2)「シミュレーション教育」実習オリエンテーション (統合教育学修センター基礎教育学　西井、土井)	(選択科目)※予定 15:20～16:30	(選択科目)※予定 16:45～17:55
	5／8 木	(講義) 人体の成り立ち-9 人体の内部構造 （６）感覚系 (先端生命医科学研究所　北原)	(講義) 人体の成り立ち-10 人体と外部の関連 （１）　人と空気、水 (衛生学公衆衛生学・環境産業医学　藤木)	(講義) 細胞の成り立ち-8 核２ (統合教育学修センター基礎科学　石井)	(実習) 「至誠と愛」実践学修-(実習)－2,3 キャリアを考える(2)「シミュレーション教育」 (統合教育学修センター基礎教育学　西井、土井)		
	5／9 金	(講義) 細胞の成り立ち-9 リボソーム (統合教育学修センター基礎科学　石井)	(講義) 細胞の成り立ち-10 細胞骨格 (統合教育学修センター基礎科学　浦瀬)	(講義) AI・データサイエンスと医療-7 医療データの処理と統計解析II（多変量解析、多群検定、ロジスティック回帰） (総合医科学研究所　東)	(テュートリアル・TBL) PBLテュートリアル 14:00～15:40 課題2-1		(テュートリアル・TBL) 15:50～17:00 自己学修
	5／10 土						

令和7年度　Segment1　講義・実習時間割表

		Ⅰ 09:00　10:10	Ⅱ 10:25　11:35	Ⅲ 12:30　13:40	Ⅳ 13:55　15:05	Ⅴ 15:15　16:25	Ⅵ 16:35　17:45
第6週	5／12 月	(講義) 人体の成り立ち-11 人体と外部の関連（２）人と熱 （統合教育学修センター基礎科学　山口）	(講義) 人体の成り立ち-12 人体と外部の関連（３）　人と食品衛生・食中毒 （衛生学公衆衛生学・環境産業医学　蒋池）	(講義) 人体の成り立ち-13 人体と外部の関連（４）　生物の多様性 （衛生学公衆衛生学・環境産業医学　蒋池）	(講義) 基本的・医学的表現技術-4 大学生としての表現技術の基礎（１）読解と論理 （統合教育学修センター基礎教育学　辻村）	(講義) 基本的・医学的表現技術-5 大学生としての表現技術の基礎（２）　－新聞記事を素材に－ （統合教育学修センター基礎教育学　辻村） （ゲストスピーカー）	
	5／13 火	(講義) AI・データサイエンスと医療-8 情報処理の概論、医学におけるアプリの利用、開発(プログラミング) OSの種類とプログラミング言語 （生理学(旧分子細胞生理学)　吉田）	(講義) 細胞の成り立ち-11 細胞周期・細胞分裂 （統合教育学修センター基礎科学　浦瀬）	(テュートリアル・TBL) 自己学修	(テュートリアル・TBL) PBLテュートリアル 14:00～15:40 課題2-2		(テュートリアル・TBL) 15:50～17:00 自己学修
	5／14 水	(講義) 国際コミュニケーション Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking （統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野）		(講義) 細胞の成り立ち-12 小胞体・ゴルジ体・リソソーム （統合教育学修センター基礎科学　石井）	(講義) 人体の成り立ち-14 人体と外部の関連（５）　人と放射線 （放射線腫瘍学　大松）	(選択科目)※予定 15:20～16:30	(選択科目)※予定 16:45～17:55
	5／15 木	(講義) 人体の成り立ち-15 人体と外部の関連（６）　人と音 （統合教育学修センター基礎科学　山口）	(講義) 人体の成り立ち-16 人体と外部の関連（７）　人と光 （統合教育学修センター基礎科学　山口）	(実習) 「人体の成り立ち」「細胞の成り立ち」 ラットの解剖１（前班）/細胞/細胞研究法１（後班） （統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬） （統合教育学修センター基礎教育学　土井） （衛生学公衆衛生学・環境産業医学　廣田、宮山） （顕微解剖学・形態形成学　石津、菊田、望月、横溝、矢作） （総合医科学研究所　永野）			
	5／16 金	(講義) 細胞の成り立ち-13 ペルオキシソーム・細胞質基質・タンパク質の輸送 （統合教育学修センター基礎科学　石井）	(講義) 細胞の成り立ち-14 ミトコンドリアと葉緑体１ （統合教育学修センター基礎科学　越野）	(テュートリアル・TBL) 自己学修	(テュートリアル・TBL) PBLテュートリアル 14:00～15:40 課題2-3		(テュートリアル・TBL) 15:50～17:00 自己学修
	5／17 土						

令和7年度　Segment1　講義・実習時間割表

		Ⅰ 09:00　10:10	Ⅱ 10:25　11:35	Ⅲ 12:30　13:40	Ⅳ 13:55　15:05	Ⅴ 15:15　16:25	Ⅵ 16:35　17:45
第7週	5／19 月	(講義) 細胞の成り立ち-15 ミトコンドリアと葉緑体２ （統合教育学修センター基礎科学　越野）	(講義) 人体の成り立ち-17 人体と外部の関連（８）人と食品・嗜好品 （統合教育学修センター基礎科学　越野）	(実習) 「人体の成り立ち」「細胞の成り立ち」 ラットの解剖２（前班）/細胞/細胞研究法２（後班） （統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬） （統合教育学修センター基礎教育学　土井） （衛生学公衆衛生学・環境産業医学　廣田、宮山） （顕微解剖学・形態形成学　石津、菊田、望月、横溝、矢作） （総合医科学研究所　永野）			
	5／20 火	(講義) 人体の成り立ち-18 人体と外部の関連（９）微生物との共存 （微生物学免疫学　大坂）	(講義) 人体の成り立ち-19 人体と外部の関連（10）　人と廃棄物 （衛生学公衆衛生学・環境産業医学　藤木）	(テュートリアル・TBL) 自己学修	(テュートリアル・TBL) PBLテュートリアル 14:00～15:40 課題2-4		(テュートリアル・TBL) 15:50～17:00 自己学修
	5／21 水	(講義) 国際コミュニケーション Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking （統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野）		(講義) 細胞の成り立ち-16 細胞から組織へ （統合教育学修センター基礎科学　浦瀬）	(講義) 細胞の成り立ち-17 細胞と疾患 （統合教育学修センター基礎科学　石井）	(選択科目)※予定 15:20～16:30	(選択科目)※予定 16:45～17:55
	5／22 木	(講義) 「至誠と愛」実践学修-7 医療倫理原則（１）「生と死の倫理的問題」 （精神医学　西村）	(講義) 体液と生体の恒常性-1 科目の概要、ホメオスタシス、体液の区分と組成 （薬理学　松浦）	(行事) **「至誠と愛」の実践学修** **吉岡彌生記念講演会口** **※配信とするか未定** （微生物学免疫学　柳澤）			
	5／23 金	(講義) 基本的・医学的表現技術-6 大学生としての表現技術の基礎（３）　-事実と意見- （統合教育学修センター基礎教育学　辻村）	(講義) 基本的・医学的表現技術-7 科学的表現技術の基礎(1)　-図表の作成- （法医学　町田） （統合教育学修センター基礎教育学　辻村）	(講義) 基本的・医学的表現技術-8 科学的表現技術の基礎（２）　-図表に基づく説明文- （統合教育学修センター基礎教育学　辻村）	(テュートリアル・TBL) PBLテュートリアル 14:00～15:40 課題3-1		(テュートリアル・TBL) 15:50～17:00 自己学修
	5／24 土						

令和7年度　Segment1　講義・実習時間割表

		Ⅰ 09:00　10:10	Ⅱ 10:25　11:35	Ⅲ 12:30　13:40	Ⅳ 13:55　15:05	Ⅴ 15:15　16:25	Ⅵ 16:35　17:45
第8週	5／26 月	(講義) 体液と生体の恒常性-2 血液ガス、酸と塩基 (生理学(旧分子細胞生理学)　中村(茂泉))	(講義) 人体を構成する物質-1 分子から見た生命(オリエンテーション) 分子の形(化学結合) (生化学　中村)	(実習) 「細胞の成り立ち」 体細胞分裂 /ヒトの染色体(後班) (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬) (顕微解剖学・形態形成学　石津、横溝、菊田、望月、矢作)			
	5／27 火	(講義) 体液と生体の恒常性-3 血液の酸塩基平衡１ (生理学(旧分子細胞生理学)　中村(茂泉))	(講義) 人体を構成する物質-2 分子の持つエネルギー、化学反応とエネルギー (統合教育学修センター基礎科学　中村)	(テュートリアル・TBL) 自己学修	(テュートリアル・TBL) PBLテュートリアル 14:00～15:40 課題3-2		(テュートリアル・TBL) 15:50～17:00 自己学修
	5／28 水	(講義) 国際コミュニケーション Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking (統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) 体液と生体の恒常性-4 血液の酸塩基平衡2 (生理学(旧分子細胞生理学)　中村(茂泉))	(講義) 体液と生体の恒常性-5 血液の酸塩基平衡3 (生理学(旧分子細胞生理学)　中村(茂泉))	(選択科目)※予定 15:20～16:30	(選択科目)※予定 16:45～17:55
	5／29 木	(講義) 人体を構成する物質-3 栄養素と食品 Ⅰ (統合教育学修センター基礎科学　越野)	(講義) 人体を構成する物質-4 栄養素と食品 II (統合教育学修センター基礎科学　越野)	(実習) 「人体の成り立ち」「細胞の成り立ち」 ラットの解剖１（後班）/細胞/細胞研究法１（前班） (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬) (統合教育学修センター基礎教育学　土井) (衛生学公衆衛生学・環境産業医学　廣田、宮山) (顕微解剖学・形態形成学　石津、菊田、望月、横溝、矢作) (総合医科学研究所　永野)			
	5／30 金	(講義) 体液と生体の恒常性-6 拡散と浸透 (統合教育学修センター基礎科学　山口)	(講義) 「至誠と愛」の実践学修-8 生命倫理の基礎：生命と「いのち」・人と人間を考える (母子総合医療センター　田畑)	(テュートリアル・TBL) 自己学修	(テュートリアル・TBL) PBLテュートリアル 14:00～15:40 課題3-3		(テュートリアル・TBL) 15:50～17:00 自己学修
	5／31 土						

令和7年度　Segment1　講義・実習時間割表

		Ⅰ 09:00　10:10	Ⅱ 10:25　11:35	Ⅲ 12:30　13:40	Ⅳ 13:55　15:05	Ⅴ 15:15　16:25	Ⅵ 16:35　17:45
第9週	6／2 月	(講義) 人体を構成する物質-5 タンパク質 I　アミノ酸の種類、構造、性質 (統合教育学修センター基礎科学　中村)	(講義) 人体を構成する物質-6 タンパク質 II　タンパク質の構造、タンパク質の性質 (統合教育学修センター基礎科学　越野)	(実習) 「人体の成り立ち」「細胞の成り立ち」 ラットの解剖２（後班）/細胞/細胞研究法２（前班） (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬) (統合教育学修センター基礎教育学　土井) (衛生学公衆衛生学・環境産業医学　廣田、宮山) (顕微解剖学・形態形成学　石津、菊田、望月、横溝、矢作) (総合医科学研究所　永野)			
	6／3 火	(講義) 体液と生体の恒常性-7 浸透と浸透圧 (統合教育学修センター基礎科学　中村)	(講義) 人体を構成する物質-7 タンパク質 III　タンパク質の機能 (統合教育学修センター基礎科学　越野)	(テュートリアル・TBL) 自己学修	(テュートリアル・TBL) PBLテュートリアル 14:00～15:40 課題3-4		(テュートリアル・TBL) 15:50～17:00 自己学修
	6／4 水	(講義) 国際コミュニケーション Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking (統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) 体液と生体の恒常性-8 イオンの拡散と膜透過、イオン平衡 (統合教育学修センター基礎科学　中村)	(講義) 基本的・医学的表現技術-9 科学的表現技術の基礎（３）　-論理的な文書の作成- (統合教育学修センター基礎教育学　辻村)	(選択科目)※予定 15:20～16:30	(選択科目)※予定 16:45～17:55
	6／5 木	(講義) 体液と生体の恒常性-9 膜電位 (薬理学　松浦)	(講義) 体液と生体の恒常性-10 Kイオンのホメオスタシス (薬理学　松浦)	(実習) 「細胞の成り立ち」 体細胞分裂/ヒトの染色体(前班) (統合教育学修センター基礎科学　石井、浦瀬) (顕微解剖学・形態形成学　石津、横溝、菊田、望月、矢作)			
	6／6 金	(講義) 人体を構成する物質-8 糖質 I　単糖の種類と構造、単糖の性質 (統合教育学修センター基礎科学　中村)	(講義) 人体を構成する物質-9 糖質 II　二糖類、多糖類の構造と性質、重要な糖類 (生化学　新敷)	(講義) 人体を構成する物質-10 糖質 III　糖類の機能と調節、糖質の異常と疾患 (生化学　新敷)	(テュートリアル・TBL) PBLテュートリアル 14:00～15:40 課題4-1		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	6／7 土						

令和7年度　Segment1　講義・実習時間割表

		Ⅰ 09:00　10:10	Ⅱ 10:25　11:35	Ⅲ 12:30　13:40	Ⅳ 13:55　15:05	Ⅴ 15:15　16:25	Ⅵ 16:35　17:45
第10週	6／9 月	(講義) 人体を構成する物質-11 無機イオンと微量元素 (統合教育学修センター基礎科学　中村)	(講義) 体液と生体の恒常性-11 Caイオンのホメオスタシス (生理学(旧分子細胞生理学)　中村(茂泉))	(実習) 「人体を構成する物質」-1 グループA：血清タンパク質の定量分析 グループB：（講義動画配信）血清脂質の成分分析 (統合教育学修センター基礎科学　中村、越野) (生化学　中村、田中、槇原、新敷、瀧澤、千村)			
	6／10 火	(講義) 体液と生体の恒常性-12 細胞外液の調節1 (生理学(旧分子細胞生理学)　中村(茂泉))	(講義) 体液と生体の恒常性-13 細胞外液の調節2 (生理学(旧分子細胞生理学)　中村(茂泉))	(テュートリアル・TBL) 自己学修	(テュートリアル・TBL) PBLテュートリアル 14:00～15:40 課題4-2		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	6／11 水	(講義) 国際コミュニケーション Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking (統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) 人体を構成する物質-12 脂質 Ⅰ　脂質の分類、構造と性質（1） (統合教育学修センター基礎科学　中村)	(講義) 人体を構成する物質-13 脂質 II 脂質の分類、構造と性質（2） (統合教育学修センター基礎科学　中村)	(選択科目)※予定 15:20～16:30	(選択科目)※予定 16:45～17:55
	6／12 木	(講義) AI・データサイエンスと医療-9 プログラミング Ⅰ (Google colab.の使用法、アルゴリズムとは) (生理学(旧分子細胞生理学)　出嶋)	(講義) AI・データサイエンスと医療-10 プログラミング II (Python実践演習) (総合医科学研究所　末廣)	(実習) 「人体を構成する物質」-2 グループB：血清タンパク質の定量分析 グループA：レポート作成 (統合教育学修センター基礎科学　中村、越野) (生化学　中村、田中、槇原、新敷、瀧澤、千村)			
	6／13 金	(講義) 人体を構成する物質-14 ヌクレオチド　種類と構造、役割 (統合教育学修センター基礎科学　越野)	(講義) 人体を構成する物質-15 核酸　基本構造と役割 (統合教育学修センター基礎科学　越野)	(テュートリアル・TBL) 自己学修	(テュートリアル・TBL) PBLテュートリアル 14:00～15:40 課題4-3		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	6／14 土						

令和7年度　Segment1　講義・実習時間割表

		Ⅰ 09:00　10:10	Ⅱ 10:25　11:35	Ⅲ 12:30　13:40	Ⅳ 13:55　15:05	Ⅴ 15:15　16:25	Ⅵ 16:35　17:45
第11週	6／16 月	(講義) 人体を構成する物質-16 脂質 III 脂質の機能と調節 (生化学　新敷)	(講義) 人体を構成する物質-17 ホルモン序論 (生化学　中村)	(実習) 「人体を構成する物質」-3 グループA：動物細胞からのDNAの抽出と検出、DNAを構成する塩基成分の分析 グループB：レポート作成 (統合教育学修センター基礎科学　中村、越野) (生化学　中村、田中、槇原、新敷、瀧澤、千村)			
	6／17 火	(講義) 基本的・医学的表現技術-10 総括　-医学的な表現技術に備えて- (法医学　木林) (統合教育学修センター基礎教育学　辻村)	(講義) 人体を構成する物質-18 脂溶性ビタミン (統合教育学修センター基礎科学　越野)	(テュートリアル・TBL) 自己学修	(テュートリアル・TBL) PBLテュートリアル 14:00～15:40 課題4-4		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	6／18 水	(講義) 国際コミュニケーション Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking (統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) 人体を構成する物質-19 水溶性ビタミン (統合教育学修センター基礎科学　越野)	(講義) 人体を構成する物質-20 消化と吸収 (生化学　新敷)	(選択科目)※予定 15:20～16:30	(選択科目)※予定 16:45～17:55
	6／19 木	(講義) 体液と生体の恒常性-14 脱水、浮腫、補液 (薬理学　松浦)	(講義) 体液と生体の恒常性-15 体液間の物質交換と液体の移動 (生理学(旧分子細胞生理学)　中村(茂泉))	(実習) 「人体を構成する物質」-4 グループB：動物細胞からのDNAの抽出と検出、DNAを構成する塩基成分の分析 グループA：（講義動画配信）血清脂質の成分分析 (統合教育学修センター基礎科学　中村、越野) (生化学　中村、田中、槇原、新敷、瀧澤、千村)			
	6／20 金	(講義) 人体を構成する物質-21 生体における重要な化学反応I　ATPの関与する反応のしくみ (統合教育学修センター基礎科学　中村)	(講義) 人体を構成する物質-22 生体における重要な化学反応II 酵素反応の種類としくみ (統合教育学修センター基礎科学　中村)	(ワークショップ・講義) 「至誠と愛」実践学修-9,10,11 行動科学(1)「人の心理と行動(1)(2)(3)」 (精神医学　筒井)			
	6／21 土						

令和7年度　Segment1　講義・実習時間割表

		Ⅰ 09:00　10:10	Ⅱ 10:25　11:35	Ⅲ 12:30　13:40	Ⅳ 13:55　15:05	Ⅴ 15:15　16:25	Ⅵ 16:35　17:45
第12週	6／23 月	(講義) AI・データサイエンスと医療-11 AIについて（機械学習、ニューラルネット、どんなことが出来るか、医療への応用例） （総合医科学研究所 末廣）	(講義) AI・データサイエンスと医療-12 AI実践編（Pythonで実際に簡単な学習と判別を体験） （総合医科学研究所 末廣）	(実習) 「人体を構成する物質」-5 (講義動画配信)電気泳動によるヒト血清タンパク質の成分分析 （統合教育学修センター基礎科学　中村、越野） （生化学　中村、田中、槇原、新敷、瀧澤、千村）			
	6／24 火	(講義) AI・データサイエンスと医療-13 データベースについて（データベースの説明、利用例） （総合医科学研究所 赤川）	(講義) 「至誠と愛」実践学修-12 自省と気付き(1)「プロフェッショナル～医師になるということ～」 （統合教育学修センター基礎教育学　西井）	(講義) 体液と生体の恒常性-16 体温調節 （薬理学　青木）	(講義) 細胞の基本機能-１ 科目の概要 （生化学　中村）	(講義) 細胞の基本機能-2 細胞膜の基本機能 （統合教育学修センター基礎科学　越野）	
	6／25 水	(講義) 国際コミュニケーション Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking （統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野）		(講義) 細胞の基本機能-3 膜輸送１：受動輸送 （生化学　中村）	(講義) 細胞の基本機能-4 膜輸送２：能動輸送 （生化学　中村）	(選択科目)※予定 15:20～16:30	(選択科目)※予定 16:45～17:55
	6／26 木	(講義) 細胞の基本機能-5 小胞輸送1:種類と役割 （総合医科学研究所 田邊）	(講義) 細胞の基本機能-6 小胞輸送2:被覆タンパク質 （総合医科学研究所 田邊）	(講義) 細胞の基本機能-7 小胞輸送3:細胞骨格・モータータンパク質 （総合医科学研究所 田邊）	(講義) 細胞の基本機能-8 小胞輸送4:低分子量GTPase （総合医科学研究所 田邊）		
	6／27 金	(講義) 細胞の基本機能-9 タンパク質の品質管理 （生理学(旧分子細胞生理学)　中村(茂泉)）	(講義) 細胞の基本機能-10 オートファジーとプロテアソーム （生理学(旧分子細胞生理学)　出嶋）	(講義・ワークショップ) 「至誠と愛」実践学修-13 医療倫理原則（2）「インフォームドコンセント／アセント(1)」 （総合診療科　竹村）	(講義・ワークショップ) 「至誠と愛」実践学修-14 医療倫理原則（2）「インフォームドコンセント／アセント(2)」 （総合診療科　竹村）	(講義) 「至誠と愛」実践学修-15 コミュニケーション(3)「マナーの実践（総論）」 （日野原）（学生健康管理室　横田）	
	6／28 土						

令和7年度　Segment1　講義・実習時間割表

		Ⅰ 09:00　10:10	Ⅱ 10:25　11:35	Ⅲ 12:30　13:40	Ⅳ 13:55　15:05	Ⅴ 15:15　16:25	Ⅵ 16:35　17:45
第13週	6／30 月	(講義) 細胞の基本機能-11 細胞骨格1:微小管 (生化学　槇原)	(講義) 細胞の基本機能-12 細胞骨格2:アクチンフィラメント、中間径フィラメント (生化学　槇原)	(講義) 細胞の基本機能-13 細胞－細胞間接着 (統合教育学修センター基礎科学　越野)	(講義) 細胞の基本機能-14 細胞－基質間接着 (統合教育学修センター基礎科学　越野)	(講義) 細胞の基本機能-15 細胞分裂1:細胞分裂と細胞分化 (生化学　槇原)	
	7／1 火	(講義) AI・データサイエンスと医療-14 ビッグデータについて（管理、利用、その他大手クラウドサービスによる実例紹介） (総合医科学研究所　赤川)	(講義) AI・データサイエンスと医療-15 臨床応用 (先端生命医科学研究所　正宗)	(講義) 細胞の基本機能-16 細胞分裂２:がん (先端生命医科学研究所　出口)	(講義) 細胞の基本機能-17 幹細胞 (生化学　槇原)	(講義) 細胞の基本機能-18 老化とアポトーシス (生理学(旧分子細胞生理学)　中村(茂泉))	
	7／2 水	(講義) 国際コミュニケーション Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking (統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)		(講義) 細胞の基本機能-19 細胞機能研究法 (生理学(旧分子細胞生理学)　出嶋)	(講義) 「至誠と愛」実践学修-16 チーム医療(1)「医師の役割と医療の実際」 (統合教育学修センター基礎教育学　西井)	(選択科目)※予定 15:20～16:30	(選択科目)※予定 16:45～17:55
	7／3 木						
	7／4 金						
	7／5 土						

令和7年度　Segment1　講義・実習時間割表

		Ⅰ 09:00　10:10	Ⅱ 10:25　11:35	Ⅲ 12:30　13:40	Ⅳ 13:55　15:05	Ⅴ 15:15　16:25	Ⅵ 16:35　17:45
第14週	7／7 月						
	7／8 火		(試験) 人体の成り立ち 10:00-11：30 (解剖学・神経分子形態学　藤枝)				
	7／9 水	(講義) 国際コミュニケーション Medical English Reading & Writing; Listening & Speaking (統合教育学修センター基礎教育学　佐藤、山本ﾗｳﾞｪﾅ、エルヴィン、スタウト、細谷、ウォン、大野)				(選択科目)※予定 15:20～16:30	(選択科目)※予定 16:45～17:55
	7／10 木						
	7／11 金		(試験) 細胞の成り立ち 10:00-11:30 (統合教育学修センター基礎科学　石井)				
	7／12 土						

令和7年度　Segment1　講義・実習時間割表

		Ⅰ 09:00　10:10	Ⅱ 10:25　11:35	Ⅲ 12:30　13:40	Ⅳ 13:55　15:05	Ⅴ 15:15　16:25	Ⅵ 16:35　17:45
第15週	7／14 月		(試験) 人体を構成する物質 10:00-11：30 （生化学　中村）				
	7／15 火						
	7／16 水		(試験) 体液と生体の恒常性 10:00-11：30 （薬理学　松浦）				
	7／17 木						
	7／18 金		(試験) 細胞の基本機能 10:00-11：30 （生化学　中村）				
	7／19 土						

令和7年度　Segment1　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第16週	7／21 月	海の日					
	7／22 火						
	7／23 水						
	7／24 木						
	7／25 金						
	7／26 土						